

第七十三回帝國議會
衆議院

陸上交通事業調整法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
陸上交通事業調整法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月十日(木曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 星島 二郎君

理事清水徳太郎君 理事紅露 昭君

理事佐藤洋之助君

堤 康次郎君 中井川 浩君

松永 東君 堀内 良平君

坂下仙一郎君 山田 清君

小平 重吉君 小笠原八十美君

深澤豊太郎君 匹田 銳吉君

上田 孝吉君 田中 好君

増永 元也君 井阪 豐光君

安藤 孝三君 淺沼稻次郎君

永江 一夫君 道家齊一郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務政務次官 勝田 永吉君

内務省土木局長 安藤狂四郎君

内務省計畫局長 松村 光磨君

鐵道政務次官 田尻 生五君

鐵道參與官 金井 正夫君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省運輸局長 山田新十郎君

鐵道省建設局長 平山復二郎君

鐵道省工務局長 阿曾沼 均君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
司法書記官 堀内信之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
陸上交通事業調整法案(政府提出)

○星島委員長 前會ニ引續イテ開會致シマス、昨日中シマシタヤウニ今日ハ主トシテ

逐條のニ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デスカ、第一條、第二條ト初カラ順ラ

追ウテヤリマスカ

○紅露委員 議事進行ニ關シマシテ、一寸發言シタインデスガ御許ヲ願ヒマス

○星島委員長 紅露君

○紅露委員 洵ニ委員長ニ申上ゲニクイコトデアリマスシ、又政府委員ニモ一寸御氣

ノ毒ナノデアリマスガ、昨日ノ夕刻以來、委員會ノ空氣ハ非常ニ惡化シテ居リマス、其原因ヲ、私ハ至ッテ率直ニ申ス人間デアリマスガ、一應御傳ヘラシテ、委員長ノ反省ヲ促シ、同時ニ政府ノ御意向ヲ伺ヒ且ツ其反省ヲ促シタイト思フノデアリマス、昨日ノ夕刻以來非常ニ惡化シタト云フコトハ、

私モ一寸伺ツタノデアリマスガ、殊ニ今日ノ食堂ニ於ケル委員ノ方々ノ御意向ヲ伺ッテ見テモ、委員長不都合ナリト云フヤウナ聲モ聽クノデアリマス、ソレハ委員長ハ鐵道省ニ會ッテ參與官トシテ御在任デアツカラ、役所ニモ御知合ノ方モアルデアラウ、隨テ

審議ヲ進メルト云フコトニ御努力ニナルコトハ諒トスル、併ナガラ紅露ガ一番最初ニ

議事進行ノ發言ヲシテ、大臣ハ忙シイカラ成ベク大臣ノ質問ヲ先ニ皆ガ順次ヤツタラドウカ、サウシテ尙ホ逐條ニ付テ、審議シテ行クヤウニシタラドウカト云フヤウナ發言ヲ致シタノデアリマス、別ニ動議トシテ出シタノデアリマスガ、委員長モ諒トセラレテ委員各位ニ御諮ニナツタ、所ガ皆サシモ御同意下スツテ大臣ノ質問ヲ順次ヤツタ譯デアリマス、然ルニ委員長ハ昨日公然デアアリマセヌ、速記ニハアリマセヌケレドモ、斯様ナコトヲ仰シヤラレテ居ル、モウ大體質問モ終了シタカラ、昨日ノ言葉ニ明日、即チ今日ノ我黨ノ政務調査會ニデモ掛ケヨウデハナイカト云フヤウナコトヲ言ハレタ、私モ一寸ヲカシナ感ジラシタケレドモ、默ッテ聽イテ居タノデアリマス、ソレ

以來委員會ノ空氣ハ非常ニ惡化シタト思ヒマス、現ニ民政黨ノ方カラモ、私ノ方ヘ私ガ理事ヲ致シテ居リマスル關係上修正案モ二三來テ居リマス、又我黨ノ方ノ人デモ附帶決議ヲスルト云フノデ、其意思表示モ佐藤理事ト私ニアリマシタ、又今朝來修正スベキモノデアルト云フ意見モ私理事ヲ致シテ居リマスル關係上聽キマシタ、殊ニ或ル委員ノ如キハ、我黨ノ政務調査會長ニデシタカ會ノ理事ニカ知りマセヌガ、委員長不都合デアアル、他ノ法案ト比較シテモ電力法案ニ殆ド匹敵スルヤウナ重大ナ法案デアルニ拘ラズ、午前十時カラ會議ヲ開カズシテ一時ヨリ僅ニ五時マデ數時間ニ日ヤツテ、サウシテ委員長ハ吾々委員ノ發言ヲ阻止スルヤウナ態度ヲ非公式ニモセヨ不謹慎ニスルト云フコトハ不都合デアアル、サウ云フヤウナコトヲヤルナラバ、代議士會デ一人デモ頑張ツヤルゾト云フヤウナコトヲ我黨ノ政務調査會ニ持込シタ人モアルト云フコトヲ私ハ聞イタノデアリマス、委員長ハ是ハ冗談デサウ云フコトヲ仰シヤツタノカ、或ハ本當ニサウ云フヤウナ氣持デ吾々委員ノ發言ヲ封ジテサウシテ此案ヲ通サウト云フヤウ

ナ御決心デ臨ンデ居ラレルノデアルカ、是モ私ハ聴キタイ、又私ハ田尻政務次官ニ對シテモ、非常ニ連絡ト云フコトニ付テ不滿ガアルノデアリマス、現ニ私が食堂デ此法案ガ出ルカ出ナイカト云フコトヲ伺ッタノデアリマス、所ガ其時ニ政務次官ハ曖昧ナ態度デ居ラレタ、僅ニ二三時間ヲ出デズシテ大臣カラ私ハ私ノ方ノ控室デ伺ッタノデアリマス、何ガ故ニサウ云フ風ニ祕密ニサレルノデアルカ、電力管理案ニシテモ、總動員法ニシテモ數箇月前カラ法案ヲ提案スルト云フコトヲ言明シ、又内容スラモ發表シテ居ルデヤアリマセスカ、政務次官ハ一體ナゼサウ云フコトヲ吾々ニ爲サルノカ、吾々ニ連絡ヲ取ルコトガ政務次官ノ役目デヤナイノデスカ、私共ハ同ジ七和會ニ屬シ、同ジ政黨ニ屬シテ居ルノデアリマスカラ、成ベクサウ云フヤウナ案ニ付テハ、提案スルナラバ内容モ明シテ戴キ、又斯ウ云フヤウナ要綱デアルト云フヤウナコトヲ伺ッデ、役所ノ祕密ニ關スルコトナラバ私共伺ハナイデモ宜シウゴザイマスケレドモ……、兎ニ角サウ云フヤウデ空氣ガ今現ニアルノデアリマス、此點ニ對シテ私ハ委員長ニ御注意ヲ促シ、同時ニ尙ホサウ云フヤウナ御態度デ今後臨マレルノデアルカ、又政務次官

モサウ云フヤウナ御態度デ吾々ヲ冷遇ナサルノカ、其點モ一ツ伺ッテ見タイ、同時ニ又總動員法ニシテモマダ大臣ニ對スル質問モヤッテ居ルノデヤアリマセスカ、又電力管理法案ノ如キハ三十回ニ互ッテ委員會ヲ開カレテ居ル、サウ云フヤウナ他ノ重要法案ト比較シテ見テモ、而モ他ノ法案ハ朝ノ十時カラ夜ノ十時、十一時マデヤッテ居ル、僅ニ一時カラ始メテ五時マデ二日ヤッテ、直グニ之ヲ打切ッテ政務調査會ニ掛ケルト云フヤウナコトハ、私ハ衆議院ノ權威ニモ關スルト思フ、殊ニ又昨日モ申上ゲマシタヤウニ、軌道營業ニ從事スル人モアリ、「バス」ノ營業ニ從事セラレテ居ル方モアル、又サウ云フ事業ニ御關係ノ方モアル、相當此問題ハ重大ナ問題ナンデアリマスカラ、私ハ寧ロ審議ヲ盡シテ、誰モ此案ヲ阻止シヨウトカ、又此案ニ反對シテ潰サウナント云フヤウナ者ハ一人ダッテナイデヤアリマセスカ、ソレダノニサウ云フヤウナ態度デ政府モ委員長モ臨マレルト云フナラバ私共モ考ヘナケレバナラス、此點ニ對シテ私ハ一言御注意ヲ促シテ置キマス

○星島委員長 折角御親切ナ御注意ニ對シマシテ委員長カラ一寸釋明致シマスルガ、私ハ決シテ之ヲ急イデ、無理ヤリニ強制的ニ審議ヲ進メヨウトハ思ウテ居リマセス、現ニ昨日會議ノ終リガケニ、大體道家君ヲ除イテハ全部ノ方ガ大臣ニ對スル御質問ハ終ッタヤウデアリ、又ソレハ御承認アル、今日ハ逐條審議ニ移ッテ宜シイ、大體斯ウ云フ御意向デアリマシタカラ左様取計ッタノデアリマシテ、政務調査會ニハ中間報告ヲシタイト云フノデ私ハ理事ニ申上ゲタノデアリマス、所ガ今日ハ中間報告ノ時期ニ至リマセスカラソレヲ致シテ居リマセス、ドウカ誤解ノナイヤウニ、私ハ決シテ壓制的ニ無理ヤリニ進メヨウト云フ意向ハ全然ゴザイマセスカラ其點誤解ノナイヤウニ願ヒタイ

○堤委員 只今紅露君ノ議事進行ノ御話御尤ナ點モアリマス、議事ヲ慎重審議スルト云フコトハ是ハ必要ナンデス、殊ニ本會議及ビ委員會ニ於テ紅露君ノ御議論ヲ私拜聴致シマシタガ、至極御尤ダト思ッテ居ルノデアリマス、慎重審議スルコトハ固ヨリ必要デアアル、併ナガラ大體此立法院ガ今度ノ議會ニ對シテノ根本ノ態度ハ、ドウ行クガ宜イカ、私共ノ考デハ大體ノ見透ヲ付ケテ通スモノハ通ス、是ハイカスト云フモノハ直ス、大體ノ見透ガ付イテ通スト云フコトデアレバ、マア餘リ小サイコトヲ言ハナイデ通ス、今ノ時局ト云フモノハ私ハ一ツノ立法院ガ行政府ニ對シテノ教育時代ダト思ッテ居ル、何處カ妙ナ所ニ隠然タル力ガアッテソレガ無理ヤリニ押シテ行クト云フヤウナ空氣ガアル、是ハ甚ダ善クナイコトデアルガ、電力管理案トカ總動員トカ云フモノガ中々喧シイト云フコトハ、是ハ憲法ヲ中心トシテ其「イデオロギー」ニ出發シテ居ルヤ否ヤト云フ點ガ論議ノ中心ニナッテ居ル、私ハ斯ウ云フコトハドコ迄モ強クヤラナケレバイカスト思フ、併ナガラ本案ノ如キハ「イデオロギー」カラ出發シテ居ルノデハナシニ、寧ロ民間カラ其必要ヲ痛切ニ感ゼラレテ居ルノデアッデ、寧ロ當局ノ成案ガ遅キニ失スルノデハナイカト云フヤウナ意見モ多數聽クノデアリマス、ソレガ全部ダトハ申シマセスガサウ云フ意見モ多數聽イテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ慎重審議スルコトハ紅露君ノ御話ノ通り非常ニ贊成デアリマス、併ナガラ慎重審議ノ結果通スト云フ見透ガ付イタナラバ、小サイコトハ餘リ言ハナイデサット氣持好ク通ス、惡イモノハウントヤラナケレバナラス、ダカラ丁度腕白小僧ヲ教育スルヤウニ立法院ガ行政府ヲ教育シテ行クトガ必要デナイカト思フ、私委員長ニ其コトヲ申上ゲタコトモ

アリマス、ソレカラ民政黨ニ於テハ之ヲ修正
スルトカナントカ云フコトノ意見ハ決ッテ
居リマセヌ、或ハ民政黨ノ中デ個人的ニ誰
カサウ云フ御話ガアツカ知レマセヌケレ
ドモ、私ハ一向ソレヲ承知シテ居リマセヌ
シ、慎重審議スルト云フ點ハ洵ニ結構デア
リマスガ、大體見透ガ付ケバサツト行クコ
トガ宜クハナイカト斯ウ云フヤウナ感ジラ
持ッテ居ルノデアリマスカラ、委員長ハドウ
カサウ云フヤウナ氣持モアルト云フコトヲ
諒トセラレマシテ、議事ヲ進行サシテ戴キ
タイト思フノデアリマス

○星島委員長 御親切ナル御忠告ヲ感謝シ
マス

○田尻政府委員 只今紅露君ト私トノ私的
談話ニ付テ、甚ダ不誠意デアルト云フコト
ト、ソレヲ以テ政府ノ態度デアルト云フヤ
ウナ風ニ御話ニナリマシテ、洵ニ心外ニ存
ジマスノデ、一應釋明サシテ戴キマス、實
ハ紅露君ト食堂デ偶然會ヒマシテ、交通統
制、是ハ昨年田中君カラ御提案ニナッタア
ノ問題ニ付テ一寸話ガ出マシタ際ニ、私ハ
マダ其當時マデハ事務當局カラ、交通統制
ニ關スル法律ヲ此議會ニヒヨットスルト出
スコトニナルカモ知レヌ、今色々準備ヲ進
メテ居ルガト云フ位ノコトデ、内容等ニ付

テハ全ク承知致シマセヌノデ、而モ是ハ絶
對秘密ニ願ヒタイト云フコトデアツタ爲ニ、
紅露君トハ非常ナ懇意ノ仲デアアルニモ拘ラ
ズ、マア役人根性ト云ヒマスカ、秘密ハ秘
密トシテ守ルベキデアラウト云フコトデ、
其際ハハッキリシタ内容モ知リマセヌカラ
其コトヲ申上ゲナカッタノデアリマス、大臣
ガ後、デ二三時間後ニ言ハレタト云フコトデ
アリマスガ、大臣ハ大臣トシテ又御考ガアッ
タト思ヒマスケレドモ、併ナガラソレダケ
デ以テ政府ノ態度ガ議員ニ對シテ、或ハ政
黨ニ對シテ甚ダ冷淡デアルトカ、不誠意デ
アルトカ云フ風ニ御考ヘ下サルコトハ洵ニ
私遺憾ニ存ジマスノデ、ドウカ其點ハ一ツ
惡シカラズ、今日國家ノ爲ニ此法案ヲ出シ
テ、サウシテ雙方眞劍ニヤツテ行カナケレバ
ナラヌ立場ニ居ルノデアリマスカラ、少ク
トモ政府トシテサウ云フ冷淡ナ考ヲ持タナ
イト云フコトデ、御諒解ノ上ニ議事ヲ進メ
テ戴キタイト思ヒマス

○星島委員長 ソレデハ大體ニ於テ全部各
條的ト云フコトデナクテモ、宜シイケレド
モ、大體第一條カラ逐ッテ進ンデ行ッタラド
ウカト思ヒマス

○清水委員 私ハ大臣ニ對シテ御尋スルコ
トダケハ一應済シダノデアリマスガ、併シ

速記録ヲ見タ上デ更ニ大臣ニ御話スルコト
ガアルカモ知レナイト云フコトヲ昨日質問
ノ際ニ申上ゲテ居ッタノデアリマス、ソレ
カラ今質問スル前ニ當リマシテ、私ハ鐵道
政務次官ニ御尋シタイノデスガ、今日ノ中
外新聞ヲ見マシタ所ガ、紅露君ノ質問ニ對
シテ政務次官答ヘテ曰ク、此度ノ提案ノ此
法律案ヲ行フノハ六大都市ニ限ル、ト云フヤ
ウナ記事ガ出テ居リマシタガ、サウ云フ御
答辯ヲ私ハ聽イテ居ラスノデス、昨日ノ大
臣ノ御答辯ニ依リマス、必要ナ部分カラ
差當ッテヤルト云フヤウニ聽イテ居リマシ
タガ、ドチラガ本當デスカ、新聞ニ言ッテ
居ルヤウナコトヲ聽イテ居ナイノデスガ、
ドウシテア、云フ記事ガ出ルニ至リマシタ
カ、私ハ不思議ニ思ッテ居ルノデスガ、御尋
致シマス

○田尻政府委員 私ハマダ中外新聞ニ載ッ
テ居ル記事ヲ見マセヌデスガ、只今ノ御質
問ニ依ッテ初メテ承知致シタノデアリマス、
紅露君カラ私ニ對シテハ左様ナ御質問モア
リマセヌシ隨テ私カラ答辯シタ記憶モ事
實モナイト思ヒマスガ唯淺沼君カラ大臣ガ
マダ御見エニナラス前ニ、其點ニ觸レテ此
案ハ何レノ地區カラ發動スルカト云フヤウ
ナ御質問ガアリマシタ、サウシテ相當ニ具

體的ニ御答シナケレバナラスヤウナ御質問
ノヤウニ拜聽致シマシタノデ、マダ發動スル
區域ニ付テハ今後内務省其他ノ關係方面ト
能ク協議シタ上デナケレバ分ラヌノデ、鐵
道省トシテモ具體的ニ何等考ヘラ持ッテ居
ナイ、併ナガラ本法ガ成立ノ曉ハ公益ノ増
進ヲ圖リ、又各種交通ノ健全ナル發達ヲ圖
ル爲ニ調整スル必要ノアル地域ト云ヘバ、
先ヅ六大都市アタリガ豫想サレルヤウニ考
ヘテ居リマス、斯様ニ申上ゲタダケデア
リマス、ソレデ十分デアアルカドウカ、一應
ソレダケ御答致マシス

○清水委員 サウシマス、ト六大都市ヲ先ニ
スルト云フ譯デモナイデスナ、外ノ方面ニ
必要ガアレバ六大都市ヨリモ早クヤルコト
モアル譯デセウ

○田尻政府委員 御言葉ノ通りデアリマス
○清水委員 先ヅ私ハ此條文ノ中デ最モ疑
問ト思ハレル點カラ、必シモ調停ヲ逐ハナ
イデ、一ツ御尋致シマスガ、昨日紅露君モ力
説サレテ居リマシタガ、第十二條デゴザイ
マス、第十二條ノ取締役其他ノ役員ヲ解任
スルトカ、免許又ハ特許ノ全部又ハ一部ヲ
取消ストカ云フヤウナ制裁ヲ加ヘル場合ハ
ドンナ場合デアリマスカ、少シ具體的ニ御
示シヲ願ヒタイ

○田尻政府委員 十二條ニモ掲ゲテアリマ

ス通り交通事業者ガ此法律自體ニ違反シタ場合、又ハ此法律ニ基イテ制定サレマスル勅令又ハ省令ニ違反シタ場合、又ハ本法ニ基イテ爲ス所ノ處分ニ違反シタヤウナ場合ヲ指スノデアリマシテ、例ヘバ本法ニ違反シタト云フコトニナリマスレバ、第三條ノ第一項ニ交通事業者ハ大臣ノ指定スル期間内ニ協定ヲ爲シタルトキハ之ガ認可ヲ申請スベシト云フコトニナッテ居ルノニ認可ノ申請ヲシナイト云フヤウナ場合等デアリマス、サウ云フコトヲ豫想致シテ居ル次第デアリマス

○清水委員 ソレダケノコト位ナラバ、私

共ハ條文ヲ見テ直グ分ルノデス、私共此條文ヲ見タダケデ分ラヌカラ御尋スルノダカラ、具體的ニ御示シテ願ヒタイト云フコトハ、條文ヲ示セト云フノデハナイ、私共ハ條文ハ心得テ居リマス、故ニ具體的ノ事實ヲ御示シ願ヒタイト云フノデス、政務次官デナクテモ他ノ政府委員デモ宜シイ

○鈴木政府委員 今此罰則ヲ適用スル場合

ノ具體的事實ヲ何カ例ヲ引イテ話セト、斯ウ云フヤウナ御問ノヤウニ存ズルノデアリマスガ、是ハ昨日申上ゲマシタヤウニ、今日ノ地方鐵道法、軌道法及ビ自動車交通事

業法ニアリマスル規定ヲ持ッテ來マシテ、萬

ガ一斯ウ云フ罰則ヲ適用スル時ガアルノデハナイカト云フコトヲ豫想シテ書イテ居ルノデアリマシテ、今マデ鐵道ガ地方鐵道法其他ガ布カレマシテカラ相當年月ガ經ッテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ罰則ヲ適用シタコトハ實際ハナイノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ吾々ト致シマシテモ本法律ヲ施行シテ行キマス際ニ於テ、交通調整委員會ノ意見其他ニ依ッテ圓滿ニ事ヲ運ビ得ルモノダト思ッテ居リマスカラ、斯ウ云フ罰則ヲ實際ニ適用スルコトハナイノデハナイカ、而モサウ云フ事態ガアッテモ、事業其モノハ非常ニ公益的ノ仕事ヲヤッテ居ルノデアリマスカラ、徒ニ直グ取消ナンカヤリマシタ時ニハ、公衆ニ不便ヲ及ボス場合モアル、ソレ等ノコトヲ能ク比較考量シテシナケレバナラヌ行政處分ダト思ヒマスルカラ、吾々ト致シマシテハ萬ガ一斯ウ云フ罰則ガナケレバナラヌヤウナ事態ガ起ルト困ルト思ヒマシテ置イタノデゴザイマシテ、今此罰則ノ適用サレル例ヲ具體的ニ申セト言ハレマシテモ、一寸困ルノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○田尻政府委員 先程ノ答辯デ御不滿ノヤ

ウデアリマシテ、餘リ抽象的デアルト云フ御話デアリマスガ、私ノ先程申上ゲマシタコトヲ多少具體化シテ見マスナラバ、例ヘバ第二條ノ一項ノ第三號デ事業ノ共同經營ヲヤレト云フコトノ命令ヲ受ケタニモ拘ラズ、其命令ニ從ッテ大臣ノ指定スル期間ニ協定モ何モシナイデ放ツカラカシテ置クト云フヤウナコトハ、ヤハリ一ツノ具體的ノ事例ニナリハシナイカ、斯様ニ考ヘマス

○清水委員 ドウモ今提案者ノ説明ナドヲ

聽イテ居リマス、餘リ能ク事實ヲ研究セナイデ提案サレタヤウナ感じヲ私共ニ與ヘルノデゴザイマス、甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、斯ウ云フ大キナ制裁ヲ加ヘルノニ具體的ノ事實ヲ其提案者自ラガ想像セナイデ提案シテ、單ニ威嚇的ノ規定ノヤウナ御説明ヲナサルト云フコトハドンナモノデスカ、サウ云フコトナラバ、斯ウ云フ威嚇的ノ規定ガアル爲ニ寧ロ調整スルコトニ應ズルヤウナ氣配ヲスル、調整ノ相談ニ與ルコトガ危險ダト云フヤウナ感じヲ與ヘテ、ウツカリ途中デ逃出スト制裁ヲ受ケルカモ知レヌト云フヤウナ感じカラ尻込ミシテ、進ンデ調整法ノ調整ニ從ハウト云フ、勸告ニ應ジョウト云フ氣分ガナクナリハセヌカト云フヤウナ感じガ致スノデアリマスガ、當局ハドウデスカ

○田尻政府委員 此調整ヲナス場合ハ第二

條ノ第一項ニ明文ガアリマス通り公益ノ増進トソレカラ事業者ノ爲ニモ事業ヲ堅實ナラシムル所以デアルト云フコトデ調整委員會ニモ諮問シマシテ、十分慎重ニ決定致シマシテ、之ヲ事業者ニ命ズルノデアリマシテ、今日ノ實情ト致シマシテモ、此調整法ヲ發動スル必要ニ迫ラレテ居ルヤウナ方面デハ、大體ニ於テ調整ノ必要ヲ認メラレテ居ルヤウニ業者自體モ考ヘテ居ラル、ヤウナ實情デアリマスノデ、此規定ガアルガ爲ニ却ッテ嫌ナ氣持ヲ起サレルト云フヤウナコトハナイデハナイカ、目的ハ飽ク迄調整スルト云フコトデアリマス、併ナガラ全ク命令ニ違反シタ場合ニ全然罰則ガナイト云フコトモ徹底ヲ期スル所以デアリマセヌカラ、斯ウ云フ罰則ヲ設ケテアルヤウナ次第デアリマス

○清水委員 ソレナラバ昨日モ紅露君ガ言

ハレタヤウニ安心ヲ與ヘル爲ニ、サウシタ具體的ノ事實モ餘リハッキリ言ヘナイ位ナモノナラバ、大事ヲ取ッテ其處分ヲスル前ニ調整委員會ニ諮ッテ、ソレカラスルヤウニ慎重ナ手續ヲ執ルコトニシテ置イタラバ、寧ロ安心ヲ與ヘルンデヤナイカト云フヤウナ感じガスル、私修正案ヲ出サウト云フノ

デヤナイ、今ハ質問シテ居ルノデスカラ、議論シテ居ルノデヤアリマセヌガ、サウ云フ感ジヲ起サセルノデスガ、ドウデゴザイマセウカ

○田尻政府委員 只今清水サンノ御意見モ一ツノ御意見カト思ヒマスルガ、政府トシテ本條文ヲ設ケマシタ趣旨ハ先程カラ申上ゲタ通りデ御諒承ヲ願ヒマス

○清水委員 陸上交通事業調整法施行令草案要綱ト云フ中ニ斯ウ云フコトガ書イテアリマスガ、主務大臣ト云フノハ誰カト云フコトニ付テデアリマスガ、地方鐵道事業ニ付テハ鐵道大臣デアル、是ハ異議ノナイコトト思ヒマス、ソレカラ軌道事業ニ付テハ鐵道大臣及ビ内務大臣トアルノモ、是モ道路ノ關係デ兩方共通ノコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、自動車運輸事業ニ付テハ主務大臣ハ鐵道大臣トスルコトトシテアルノデアリマスガ、此點ニ付テ私共實ハ不安ヲ感ズルノデアリマス、今カラ十年モ經ツタ後ナラバサウデモナイケレドモ、今日ノ鐵道省ノ監督局ノ人方ニ自動車運輸事業ヲ全部才任セスルコトガ不安ヲ感ズル、斯ウ云フノデアリマス、ソレハ私ニ信任シナイノデヤナイ、歴史ガ遺憾トモスルコトノ出來ナイ事情ニナツテ居ルノデアリマス、御承知デモア

リマセウガ、自動車ノ最初ノ認可權ト云フモノハ地方廳、縣知事ニアツテ、其縣知事ノ下ニ居ル警察部長ガ主トシテ扱ツテ居タノデアリマス、其起リハ人力車ト云フモノノ取締ノ關係ガ主トナツテ警察ノ方デ認可スルコトニナツテ居タ關係上、人力車カラ發達シテ人力車ヲ營業シテ居ルヤウナ人ガ初メテ自動車營業ヲ願出タモノダカラ、ヤハリ結局ソレハ「バス」ニシテモ、「タクシー」ニシテモ警察ノ方ノ管轄ニシタ方ガ宜イト云フ便宜上カラ起ツテ來タモノデアラウト思フノデアリマス、所ガ御承知デモアラウガ、中々警察ト云フモノハ分リガ宜イ人モアリマスケレドモ、權柄ヅクデ恐ロシクワカラズヤガ多イ、上官ノ命令ナラ徹底的ニヤリマスガ、又迎合スル場合ナドハ無理シテデモヤリマスガ、民間ノ心持ヲ察シテヤルト云フコトニナルト、實際オ粗末ナモノデ、御話ニナラスモノデアリマス、サウ言ヘバ私共モ實ハ忸怩タルモノガアルガ、十年モ民間ニ下ツテ見テ、昔ハモノヲ思ハザリケリト云フ感ジガスルノデアリマス、實ニ恐入ツタモノデ、憤慨シテ見ルケレドモ、權柄ヅクデヤラレルト實ニ困ルト云フヤウナコトガ多イ、其時ニ恐ラクハ土木出張所長ニデモソレヲ許サユニスレバ道路關係カラシ

テ非常ニ宜カッタケレドモ、サウ云フ風ニシテズツト發達シテ來タ、私ハ自ラ體驗シタコトガアル、大正十一年デゴザイマスガ、奈良縣ノ警察部長トシテ參リマシタ時ニ、私共ハソレマデ栃木縣デ今ノ學務部長ノ位置ニ居リマシタ際ニハ自轉車デ自分ガ管内ヲ視察シテ歩イテ居タノガ、今度奈良縣ニ參リマシテカラハ自ラ自動車ニ乗ツテ管内ヲ視察スルヤウニナツタノデアリマス、サウ云フ初メテ自動車ノ行ハレルヤウナ時代ニナツテ、各方面カラ乗合自動車ノ出願ガ來ル、其時ニ私ハ、是ハ恐ロシイコトニナルカモ知レスカラ——自ラ拵ヘタ言葉デアリマスガ、一路線一營業者主義ト云フ言葉ヲ作リマシタ、大正十一年デアリマス、是ハドウモサウシナイト勉強シナイ、賃銀ヲ安クスル、設備ヲ良クスルト云フノニハ多少儲カラナクテハ出來ヌ、ソレニハドウシテモ競争者ガアツテハマヅイシ、發達ノ道程ニアルノダカラ寧ロ相當資力ノアル、堅實ナ眞面目ナ良イ人ニ許スコトニシテ、一路線一營業者主義ト云フコトヲヤカマシク言ツテ、奈良縣デ自分ガ徹底シテ行ツタ、ソレカラ宮崎縣ニ參リマシタ所ガ、大分ソレガ困難ニナツテ參リマシタ、今ノ話ハ大正十一年カラ十二年デアリマスガ、十二年カラ十三年ニ掛ケテ

宮崎縣デ其主義ヲ行ハントシタ所ガソロ／＼故障ガ出來タ、ケレドモ徹底出來マシタ、ソレカラ大正十三年カラ十四年ニ、今ノ私ノ選舉區デアリマス山形縣ニ參リマシテ、其縣デヤラウトシタ所ガ、モウ政黨ノ全盛時代デアリマシテ、私共ハ兩方ノ政黨カラ其出願ニ付テ散々イデメラレマシテ隨分惱ミマシタ、一路線一營業者主義ヲ頑張ッデマア努メテヤルヤウニシタノデスガ、ナカ／＼思フニ委セナイモノガアツテ齒ヲ食ヒシバツタコトハ一方ナラヌノデアリマス、今ニシテ思フノデスガ、私モマダ至ラヌ所ハアリマシタガ、其當時ノ内務當局ガ、自動車ニ付テ土木局ナリ、警保局ニ自動車課ヲ拵ヘテサウシテ全國的ニ大體ニ於テ一路線一營業者主義——特殊ノ事情ノアル所ハ別トシテサウ云フ風ニ進ンデ來タラ宜カッタノデス、宜カッタノダガ、ナカ／＼サウ參ラス、一路線一營業者主義ヲ内務省サヘヤラナクッタモノヲ今鐵道省ガヤラウト云フコトハ非常ニ困難デアル、ナゼカト云フト、内務省ノヤウデアアルナラバ系統的ニ各縣ニ手足ヲ持ツテ居ル、電話一ツデモ出來ル、手紙一本デモ出來ル、然ルニ從來鐵道省ハ鐵道ノ營業ヲシ、監督局ハ地方鐵道ノ監督ヲシテ居リマシタノデ、自動車ニ付テハ各縣ノ事情

ガ分ラナイ、分ルヤウナ手足ガ無い、サウ云フ人ニ今モ尙ホ委シテ居ルト云フコトハ一寸話ガ中途デアリマスガ、其頃カラ長イ月日ガ経ッテ居リマスカラ一寸御記憶ガアリマセスガ、後デ政府委員カラ御答ヲ願ヘバ分ルノデスガ、鐵道省ニ移リマシテカラ日ガ浅イ、又鐵道省モ運輸事務所トカ、保線事務所トカ、地方ニアリマスケレドモ、サウシタ所ノ御方々ガ直接一般ノ「タクシ」ナリ「バス」業者ナリニ付テ餘リ能ク御知識ガナイシ、又ソレハ系統的ニ監督局ノ關係ガアル譯デモナイノデアルカラ、其點ハ非常ナ困難ガ來サレル譯デアル、サウスルト現在ノ組織デ恐ラクハ各地方別ニ誰ソレハドノ縣トドノ縣ヲ受持ツ、誰ソレハドノ縣トドノ縣ヲ受持ツト云フヤウニ人ニ依ッテ大體受持ヲ決メテ精通スルヤウニ養成シテ居ルコトト思フ、併ナガラ机ノ上ノ仕事ニ追ハレテ、現場ニ出張シテ親シク其邊ノ事情ヲ知ルト云フコトハ容易デナイ、而モ時々刻々變ッテ行ク事情ハ中々分ラナイ、分ラナイ人ガ斯ウ云フ調整法ヲヤル時ニハドウセ地方廳ノ意見ヲ聽カナケレバ分ラヌデハナイカ、斯ウ云フ感じガスルノデアリマス、私ハ是ダケヲ詳シク申上ゲマシタノハ心配デアルカラ、實情ハ斯ノ如キ歴史デス

ウナッテ居ルノデアルカラト云フコトヲ御參考ニ申シテ、其困難ナ不安ナ點ヲ御尋スルノデアリマス、御意見ハドシナモノデアリマセウカ、監督局長カラ御答ヲ願ヒマス

○鈴木政府委員 只今清水サンカラ自動車ニ關スル色々ノ御尋ガアリマシタガ、此調整ヲ致シマス際ニ此調整ノ計畫ヲ決定致シマスルマデハ是ハ自動車モ御話ノ通りニ御調整ニ關スル限リニ於キマシテハ内務大臣ト鐵道大臣ト決定致スノデアリマス、ソレカラ調整命令ヲ出シマスマヤウニナリマシテカラハ、モウ既ニ普通ノ狀態ニ屬シマスルモノデ、大體ニ於キマシテ普通ノ事務ノヤウニ取扱ッテ參ルノデアリマスガ、ソレモ自動車ノ營業ニ付キマシテハ茲ニ「鐵道大臣トス」ト書イデアリマス爲ニ、或ハ誤解ヲ御招キニナツタノカトモ思ヒマスルガ、現在ニ於キマシテモ免許ノヤウナモノハ内務大臣ト協議シテ居ルノデアリマス、ソレカラ自動車ニ關スルモノハ、コチラニ書類ガ參リマス時ニ地方長官ノ意見ニ附シテ參リマスノデ、吾々ノ方ハ其意見ヲ能ク調べテサウシテ免許其他ノコトヲヤルノデアリマス、ソレデアリマスカラ實際ニ於キマシテハ今清水サンガ御心配ナサイマシタヤウナ弊害ノナイヤウニ處置シテ居ルト大體御諒

承下サイマシテ結構ダト思ヒマス

○清水委員 此交通事業調整委員會ハ何處ニ所屬スルノデスカ、此草案デハマダハッキリ分リマセスガ、何處カニアリマシタカ

○田尻政府委員 此委員會ハ内閣ニ屬スルコトニナッテ居リマス

○清水委員 ソレハドウ云フ規定カラサウ來ルノデスカ

○田尻政府委員 此法文ニハ直接サウ云フコトハ現ハレテ居リマセスガ、第四條デ此委員會ニ關スル規定ハ勅令デ定メルコトニナッテ居リマシテ、只今政府デ考ヘテ居ル所デハ内閣ニ所屬セシムルヤウニ規定ヲ設ケル積リデ居リマス

○清水委員 第五條ノ「第二條第一項ノ規定ニ依リ決定シタル調整ノ區域内ニ於ケル陸上交通事業經營ノ免許又ハ特許ニシテ重要ナルモノハ」トアリマスガ、此重要ナルモノハト云フ標準ハドウ云フヤウナ標準デ重要ダト云フコトヲ決メルノデアリマスカ

○田尻政府委員 第五條ニ規定シテアリマス「重要ナルモノ」ト云フノハ詰リ調整區域ニ於テ調整ヲ決定セラレマシタル交通事業ニ重大ナル影響ヲ及ボスモノト云フ風ニ解釋シテ居リマシテ、結局ハ主務大臣ノ一應ノ認定ニ依ッテ交通事業調整委員會ノ意

見ヲ徵スルコトニナルト思ヒマス

○清水委員 其認定ノ標準ハドノヤウナコトヲ主ニシテヤラレルノデアリマスカ

○田尻政府委員 是ハ調整ノ區域ニ依ッテ、調整ノ内容モ必シモ同一デアリマセスノデ、今具體的ニ、斯ウ云フ場合ト云フコトヲ的確ニ申上ゲルコトハ洵ニ困難デアリマシテ、常識的ニ主務大臣ノ認定ニ御任セシテ戴クト云フ外ナイカト思ヒマス

○清水委員 サウシマスト、主務大臣ガ交通事業調整委員會ノ意見ヲ徵スルモ徵シナイモ御自由デアル、主務大臣カラ見テ、是ハ重要デナイ、併シ委員會ノ方カラ見レバ重要ダト思ハレル場合デモ、主務大臣ハ委員會ガ面倒臭イコトバカリ言フカラ、是ハ重要デナイカラ意見ヲ徵サナイデヤラウト云フコトニナル憂ガアリマスガ、如何デセウカ

○田尻政府委員 大體調整ヲ爲シマスル場合ニハ、既ニ第二條ノ第一項ニ依リマシテ慎重ニ決定致スノデアリマスルカラ、其慎重ニ決定サレタ調整ニ對シテ、重大ナル影響ヲ及ボスモノト云フ風ニシテ、主務大臣ニ一任サレテモ、主務大臣ガ全然信頼ガ出來スト云フコトニナリマスレバ已ムヲ得マセスケレドモ、既ニ公益上ノ關係カラ、又

交通事業ノ健全性ヲ確保スル意味カラ誠意ヲ以テヤリマシタ以上、ソレニ重要ナル影響ヲ持ツモノダト云フコトノ認定位ハ主務大臣ニ一任シテモ差支ナイデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○清水委員 交通事業調整委員會ノ組織ハ、

所屬ガ内閣デアル、詰リ内閣總理大臣ノ監督ニナル譯デスガ、サウスルト、人選サヘ宜クナレバ中々強硬ナ態度デ、主務大臣ト意見ヲ異ニスル場合ガアリ得ル譯デス、ソレノ所屬ガ主務大臣ニ屬シテ居レバ、猫ノヤウニナルコトガアリマスルケレドモ、從來ノ斯ウシタ委員會ト云フモノハ、唯多クノ場合ニ於テ委員ニ列ナルダケノ場合ガ多イ、私共屢、ソレヲ見テ居リ體驗モシテ居リマスガ、マルデ提案其儘立ツタリ坐ツタリスルヤウナコトガナイヤウニスル爲ニハ人選ヲ宜クシナケレバナラス、サウシテ所屬ヲ總理大臣ニスルト云フコトハ洵ニ結構デアル、サウナッテ來ルト又主務大臣トノ意見ノ衝突ガアリ得ル譯デアリマス、ソコデ私ハサウ云フコトヲ豫期シテ、サウシタ場合ニ處スル爲メ、或ハ何カ樞密院ニ 陛下ガ御諮リニナラレヤウナ場合ニ豫メ斯ウノ斯ウ云フヤウニ規定シテ——是ハ比較ガ少シ畏多イト思ヒマス、ソレトハ違ヒマスガ、凡ソ之

ニ限ツタコトハナイケレドモ、交通事業調整委員會ニ掛ケルヤウナコトニ付テハ、内規デモ宜イガ、拵ヘテ置ク必要ガアルカモ知レナイ、又勅令デ出セレバ出シタ方ガ宜イト思ハレルノデアリマスガ、如何ナモノデアリマスカ

○田尻政府委員 此調整委員會ノ意見ヲ徵スル場合ハ、法文ニモ明記シデアリマス通リデアリマシテ、更ニ只今御意見ノヤウナコトニ付テ、豫メ規定ヲ設ケテ置クコトガ必要デアルカドウカト云フコトニ付テハ、篤ト考究致シタイト思ヒマス

○清水委員 第八條ノ登錄稅ニ付テ御尋致シマス、此登錄稅ノ率ヲ茲ニ決メデアリマスガ、此標準ハドウ云フ點ヲ標準トシテ御決メニナツタノデアリマスカ、金錢ノ場合、動産ノ場合、不動産ノ場合、不動産取得ノ場合ト云フヤウナコトニ付テ違ツテ居リマスシ、一般ノ登錄稅トモ違ツテ居ル、大體分ラヌデモナイノデスケレドモ、其理由ト標準ニ付テ御分リデアルナラバ聞キタイ

○勝田政府委員 登錄稅ノコトデアリマスカラ、主トシテ不動産ノ取得ニ關スル税金ト心得テ居リマス、大體斯ウ云フ場合ニ特殊會社ニ對シテ免稅又ハ、減稅致シマスノニ三ツノ態樣ガ從來アツタノデアリマスガ、

此中大體似通ツテ居リマス日本通運株式會社ニ對スル減免稅率ニ從ヒマシテ規定致シタノデアリマス

○清水委員 餘リ自分一人デ何モ彼モ聽ク

ト云フコトニナリマスト一日アツテモ足りナイノデアリマスカラ、サウシタコトハ他ノ委員ノ方ニ御迷惑ヲ掛ケマスシ、銘々御考ガアリマセウカラ、皆様ノ御質問ヲ聽イタ上デ、更ニ鐵道大臣ナリ内務大臣ナリニ御尋スルコトモアラウカト思ヒマス、又監督局長其他ノ方ニモ御尋スルコトガアラウト思ヒマスガ、私ノ質問ハ大體打切りマシテ若干ノ部分ヲ留保シテ、速記録ヲ見タ上デ更ニ質問スルコトガアルカト思ヒマス、一昨日ノ速記録ハマダ出テ居リマセヌシ、私ガ早ク歸ツタ爲ニ、此委員會ノ御質問ヲ諒解シテ居リマセヌカラ、其上デ致シタイト思ヒマス、成ベク重複シタコトヲ質問シタクナイモノデアリマスカラ、是デ打切りマス

○星島委員長 紅露君

○紅露委員 ソレデハ私ハ逐條ニ付テ詳細ニ御尋致シタイト思ヒマス、私ガ先程議事進行ニ付テ申上ゲマシタガ、堤君カラ御意見見モ出タヤウデアリマシテ、至極御尤ト思ヒマス、私モ決シテ此法案ノ不成立ヲ希望シテ居ルノデアリマセヌデ、本會議デモ

申述ベマシタ如ク、又一昨々日以来本案ノ成立ニ付テハ努力致シテ居ルノデアリマス、兎角人ニズケノ言フ者ハ憎マレマスノデ、私ガ憎マレルコトヲ承知デ唯委員長ノ御注意ヲ促シ、政府ノ御注意ヲ促シタダケデアリマシテ、他意アル譯デハアリマセヌ、人ノ氣持ヲ惡クスルコトヲ承知デ、私ハ唯委員會ノ一角ニサウ云フ空氣ガアルト云フコトヲ申上ゲマシタノデ、決シテ法案ノ不成立ヲ望ンデ居ル者デハアリマセヌ、此點私カラモ御諒承ヲ願ッテ置キマス

ソレデ質問ニ入りマス前ニ、私ノ方ノ黨デ纏メマシテ資料ヲ要求シテアルノデアリマスガ、未ダニ政府私ノ方カラ私共ヘ御提出ガナイノデアリマスガ、出來マシタダケデモ宜シウゴザイマスカラ、一ツ御願シタイト思ヒマス、其資料ニ付テ御尋シタイ點モアルノデアリマス、ソレカラ尙ホ今日一ツ私カラ特ニ御願シタイノハ、此各地方鐵道或ハ軌道若クハ乗合自動車、其他勅令ヲ以テ指定スルト云フノガアリマスガ、是ハ今茲デ問題ニナツテ居リマセヌカラ宜シウゴザイマスガ、斯ウ云フヤウナモノヲ各業者別ニ、又會社毎ニ——全部ニシマシタ所デモ幾ラモナイヤウデアリマスカラ、其會社ガドウ云フヤウナ事業ヲ經營シテ居ルカ、所謂附帶事業ト

申シマス、兼營シテ居ルガ、ソレヲ一ツ御調ヲ願ヒタイノデアリマス、サウシテ附帶事業毎ニ資本金、ソレカラ配當トカ、投資額ト云フヤウナモノヲ、御調ヲ願ヒタイと思ヒマス、其資料ヲ私昨日要求シテ置ケバ、今日ノ質問ニ非常ニ役立ッタノデアリマスガ、失念致シテ居リマシタノデ、仕方ガアリマセヌカラソレヲ要求シテ置キマス、成ベク早く御提出ヲ願ヒタイと思ヒマス、ソレカラ尙ホモウ一ツ質問ニ入りマス前ニ、是ハ政府ニ是非何ッテ置キタイノデアリマスガ、實ハ此法案ト殆ド内容ヲ同ジウシマシテ、此法案ヨリハ寧ロ強イ——私共モ統制力ノ強イコトハ望ミマスガ、法案ガ議員ヨリ本院ニ提出ニナツテ居リマス、此法案ハ昨年モ議員提出トシテ議院ニ御提案ニナツタノデアリマス、提案者ハ我黨ノ田中君ト綾部君デアリマシタガ、私共統制ソレ自體ニハ反對シナイノデアリマシタケレドモ、其法案ノ制定ノ重點ヲ何處ニ置クノカト云フコトヲ御尋シタ所ガ營業者ノ保護ニ重點ヲ置クノダト云フヤウナ御答辯ガアリマシテ、私朝カラ夜マデ理論闘争ヲ致シマシテ、ドウ云フ譯デシタカ、翌日カラ提案者モ委員長モ御見エニナリマセヌデ、到頭委員會ヲ御開キニナラナイデ、委員會ガ潰レテ

シマッタノデアリマス、其法案ト又殆ド同ジモノガ此議會ニ出テ居ルノデアリマス、吾々ハ此法案ノ審議ヲシテ居ル、又一面之ト同ジヤウナ、寧ロ是ヨリ強イヤウナ法案ガ、議員提出デ出テ居ル、洵ニ變ナモノデアリマスガ、政府ハ、昨年議會ニ議員提出トシテ提出ニナリマシタ法案ト殆ド同一ノ法案ガ出タ時ニ、田尻政務次官ナリ、内務省ノ政府委員ノ方モ確ニ御答辯ガアツヤウデアリマスガ、此法案ヲ審議シテ行クコトハ宜シウゴザイマスガ、一體此議員提出ニ係ル法案ニ付テ、ドウ云フヤウナ御態度デ臨ムノカ、又ソレモ之ニ併託シテ審議シテ行クノカ、ソレトモ是ガ通レバ議員提出ノ方ハ反對スルノカ、兩方トモ成立セシメルノカ、是ハ内務及ビ鐵道兩政府委員カラ一ツ御答辯願ッテ置キタイと思ヒマス

○勝田政府委員 議員提出ノ法律案デ、昨年来引續イテ出テ居リマス之ト類似ノ法案ノアルコトハ承知致シテ居リマス、政府ト致シマシテハ只今御審議ヲ願ッテ居リマスル法案ノ通過ヲ、無論希望スルノデゴザイマシテ、若シ此法案ガ兩院ヲ通過致シマシテ、法律ニナツテ施行セラレマス曉ニ於キマシテハ、恐ラク議員提出ノ法案モ、大體似通ツ點モアルノデアリマスカラ、之ニ吸

收セラレルヤウナコトニ實際ナルノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ實際問題デアリマス、隨テア、云フヤウナ法案ヲ御出シナリマシタ議員諸君モ、此法律案ガ通りマスレバ、大體之デ御満足致サレルノデハナイカ、斯様ニ思料致スノデアリマス、尙ホ此議員提出法案ノ御取扱ニ付キマシテハ、是ハ政府ノ方デ彼此申スベキ筋合デゴザイマセヌカラ、此點ニ對スル答辯ハ差控ヘマス

○紅露委員 今審議致シテ居リマス此陸上交通事業調整法案ハ、寧ロ鐵道省ガ主タル主管官廳デアリマスガ、鐵道當局ノ御意見モ此際伺ヘレバ結構ト思ヒマス

○田島政府委員 只今勝田政府委員カラ御述ニナツタト同様ノ意見デアリマス

○紅露委員 サウ致シマス、私ノ聽違ヒカモ知レマセヌガ、結局此法案ハ議院トシテ取扱ッテ行クノデアル、政府ハソレニ付テ容喙スルコトハ出來ヌノダ、斯ウ云フ風ナコトニナルト、議院ニ提案サレテ居ルノデアリマスカラ、何レ上程ニナツテ來ルト思ヒマスガ、私ノ伺ッテ居リマスノハ、審議ノ方法トカ、或ハ吸收サレラウトカ、或ハ又議員ガソレヲ撤回スルダラウトカ、サウ云フコトヲ伺ッテ居ルノデハナクシテ、

此法案ヲ吾々一生懸命ニナツテ審議シテ居ルガ、是ヨリモツト強イ、モツト統制力ノアル——内容ハ多少不滿ナ點モアリマセウ、矛盾撞著シテ居ル點モアリマスシ脫落ノ點モアリマスシ、又實行不可能ナ條文モアリマスガ、少クトモ統制力ノ點ニ於テハ是ヨリ強イ、政府ガ提出シヨウガ、議員ガ提出シヨウガ、議院トシテ審議スル上ニ當ッテ是ヨリモ目的ヲ達スルコトニ於テ、ヨリ強イ法案ガ出テ居ルトスレバ、寧ロ是ハ審議ヲ中止シテ、強イ方ヲヤツラ宜イ、而モ其法案ハ是ヨリハ一般大衆ヲ保護スルト云フコトニ於テ、ヨリ以上私ハ好イ法文モアルト思フ、ドウモ此政府案ハ業者保護、業者ノ救済ト云フコトニ重キヲ置イテ居ルヤウニ思ハレル點ガ澤山アルノデアリマス、私共一體金持ハ嫌ヒダ、ドウシテモ一般大衆ヲ保護シナケレバナラス、業者モ斯ウ云フヤウナ非常時局ニハ勝手ナコトヲ言ハナイデ、本當ニ資産ノ半分デモ八分デモ投出スト云フヤウナ度胸デ、此際臨ンデ來ナケレバイカスト云フヤウナ考ヲ、私ハ持ッテ居ルノデアリマス、ソレデアルノニ此法案ト云フモノハ全クノ業者保護デ、何處ニ一條トシテ一般大衆ヲ保護スルモノガナイ、而モ此法律ノ根本精神デアル所ノ公共性ト云フコ

トヲ忘レテ居ルヤウナ、斯ウ云フ法案ヲ審議スルヨリハ、寧ロ議員提出ノ方ヲ上程シテ、審議シテ貰ツタ方ガ宜イト思フ、併シ是ガ先ニナツタノデアアルカラ併託ニナルカモ知レヌガ、政府ハソレガ併託ニナツタヤウナ場合ニ於テドウ云フ態度デ臨ムノカ、ドウ云フ考デ居ルノカ、御所見ヲ伺ッテ居ルノデ、此法案ノ取扱ヲドウスルトカ議院ガソレヲドウ扱フカト云フコトヲ伺ッタノデハナイ、ソレヲ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ

○田尻政府委員 議員提出法案ノ扱ヒニ付キマシテハ、政府ノ干涉スル限デアリマセヌ、隨テ議院ニオ委セシナケレバナリマセヌガ、唯此法案ハ既ニ審議ヲ願ッテ居リマスノデ、政府ト致シマシテハ、本法案ノ成立ヲ熱心ニ希望致シテ居ル次第ゴザイマス

○紅露委員 無論サウデス、成立不成立ト云フコトヲ伺ッテ居ルノデハナイノデス、兩方併託ニナツタヤウナ場合ニ、一體政府ハ此法案ノ成立ヲ望ムナラバ、結局言換レバ議員提出ハ排撃スルデアラウガ、此法案ヨリ好イ法案ガアツタラ、自分ノ法案ヲ撤回シテソレヲヤツタラ宜イ、ドウシテ此法案ダケ成立ヲ望ムデ、サウシテ議員提出ノ方ヲサウ排撃スルノカ、其理由及ビ御所見、ソレヲ伺ヘバ宜シイノデアリマス

○田尻政府委員 只今御述ニナリマシタ議員提出案ガ之ニ併託サレタ場合ニドウスルカト云フコトデアリマスルガ、今ノ所デハ假定ノ問題ト思ヒマスルノデ、其際ハ其際トシテ考究スルコトニ致シマシテ、只今政府ハ本案ヲ以テ妥當ナリトシテ、是ノ御審議ヲ願ッテ成立ヲ希望致シテ居ルト云フコトヲ申上ゲル外ナイカト思ヒマス

○紅露委員 私ノ質問ノ趣旨ニ觸レマセヌガ、ソレハ若シ併託ニナツタラ又其時ニ御尋スルコトニ致シマス、ソレデハ第一條ニ付テ私ハ御尋シタイ、是ハ洵ニ實行不可能ナ條文ト思フノデアリマス、何故カト申シマスルト、本法ニ於テ陸上交通事業ト云フ地方鐵道事業、軌道事業、自動車運輸事業ヲ言フノダ、其他將來必要ガアレバ勅令ヲ以テ指定スル事業モ入レルノダ、斯ウ仰シヤルノデスガ、私ハ本會議ノ質問デ成程斯ウ云フヤウナ事業ハソレデ宜シイ、併シ先程モ資料ヲ要求シマシタヤウニ、色々ナ附帶事業ヲヤツテ居ルモノガアル、サウ云フ附帶事業ハドウナサルノカト云フヤウナコトヲ伺ッテ見マシタ所ガ、大臣ノ御答辯ハ、斯ウ云フヤウニナツテ居ルノデス「其附帶事業ガ交通事業者ノ本業ニ依存シテ居ルト云フヤウナモノハ、此調整法ノ

中ニ入レテ行キタイ」ト云フヤウナ御答辯デスカラ結局依存ト云フ意義ハドシナ意味カ分リマセヌガ、常識的ニ考ヘルト、軌道業者ガ色々ナ事業ヲヤツテ居ル、或ハ地方鐵道ガ色々ナ事業ヲヤツテ居レバ、ソシナモノモ一緒ニ連レテ行クノダ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、偕テ連レテ行クト云フコトニナルト、此條文ニ何モ書イテ居ナイ、連レテ行カウトスルト軌道ハ差上ゲルケレドモ、コンナモノヲ私ノ方ニ置イテ行ッテハ、困ルカラト云ツタ場合ノ法文ガナイノデアリマス、ソレハドウ云フ所デドウ云フコトヲ根據ニシテヤツテ行クノカ、私ニハ分ラス

ノデアリマス、ソレデ先ヅ其問題ヲ解決シテ行ク順序トシテ、一體茲ニ其他勅令ヲ以テ指定スル事業トカ、或ハ交通事業トカ、地方鐵道事業トカ色々書イデアリマスガ、一體其事業ト云フモノヲドウ云フヤウニ定義シテ居ラレルノカ、ソレカラ交通事業トハ一體ドウ云フモノヲ言フノカ、其範圍ガハッキリシテ居レバ附帶事業モ一緒ニ連レテ行カレルノデアリマスガ、是ガハッキリシテ居ナイト云フコトニナルト爭ニナツテ、儲カルモノハ出サヌ、儲ラヌモノハ持つテ行ケト云フコトニナルト思ヒマス、是ハキツト爭ニナル、ソレガ五十萬圓、百萬圓ナラ宜

イシガ、何百萬圓出シテ居ル附帶事業ガアルトスレバ、儲カルモノダケハ企業者ガ取ル、出サヌト云フコトニナルト思フ、ソレデ先ヅ交通事業トハ何ゾヤ、此意義ヲ一ツハッキリ仰シヤツテ戴キタイ

○鈴木政府委員 事業ト申シマスルト、主觀的ニ見マスレバ、或ル仕事ヲバ集團的ニ反復的ニ繰返サレル所ヲ言フノデアリマシテ、之ヲ客觀的ニ見マスレバ、其行爲ヲ爲スニ必要ナル設備其他ヲ言フモノト考ヘルノデアリマス、勿論即刻私ガ思付キデ申シマシタ定義デゴザイマスカラ、言語上多少ノ缺點ガアルカモ知レマセヌガ、一應御看遁シ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ交通ト申シマスルト、廣義ニ申シマスレバ、通信ヲ含メルノガアルカモ知レマセヌガ、吾々ハ此際狹義ニ解シマシテ、人及ビ物ノ場所的移轉ヲ行フ所ノモノヲ交通、所謂運送ト同様ニ解釋シテ居ルモノデアリマス、サウシテ本法ニ於キマス所ノ交通事業ハ何カト申シマスレバ、第一條ニ書イデアリマス通り地方鐵道、軌道、自動車運輸事業其他勅令ヲ以テ指定サレル事業ダト御考置キ下サレバ結構ダト思ヒマス

○紅露委員 洵ニ驚キ入ツタコトヲ伺フモノデアリマス、苟モコンナ法律ヲ拵ヘニナ

ルノニ、思付テ初メテ言フ、サウスルト鐵道省ハ二十年モノ間、交通事業ノ意義、交通事業ノ定義、事業トハ何ゾヤト云フコトヲ御研究ニナラナカッタト私ハ思ヒマス、實ニ呆レ果テタモノト思ヒマスガ、ソレハ仕方ガアリマセヌ、アナタハ思付イテ直グ言ハレタ、私ハコンナヤウニ考ヘテ居ル、今度私カラ言ッテ見マスガ、是デ宜シウゴザイマスカ、私ハ事業ト云フモノヲ斯ウ云フヤウニ定義シテ居リマス、是ハ學者モ實際家モ大體斯ウ云フ意見ヲ持ッテ居ルノデス、此交通事業ニ關スル著書モ十四五冊讀破シテ見マシタガ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル、事業トハ經營形態ノ如何ヲ問ハズ繼續シテ一定ノ組織的機構ニ依ッテ行フ所ノ營利活動ノ總稱ダ、サウシテ交通事業ト云フノハ、一定ノ地域ニ於テ運送手段及ビ運送路ヲ利用シテ人及ビ物ヲ場所的ニ移動スル事業ヲ總稱スルノダ、斯ウ云フヤウニ大體學者モ實際家モ定義シテ居リマスガ、是デ鐵道省ハ如何デアリマセウ

○鈴木政府委員 大體結構ダと思ヒマス

○紅露委員 サウダト致シマスレバ、ドウモ本法ニ謂フ陸上交通事業ト云フモノハ、ヤハリ今監督局長ノ言ハレタヤウニ、運送ニ關聯スル事業デナケレバナラス、運送ニ關

聯シナイ附帶事業ヲ連レテ行クト云フト一體、ドノ條文デ連レテ行クノデスカ

○鈴木政府委員 吾々ハ兼業ト附帶事業トヲ區別シテ居リマスノデ、所謂交通事業ニ全然關係ナイモノハ、吾々ノ兼業ダト考ヘテ居ルノデアリマス、唯交通事業ト不可分ノ關係ガアリマシテ、其收益關係ガ交通事業ニ依存シテ居ルモノハ、其中ノ物品或ハ人ノ運送デナクテモ其事業ノ中ニ包含サレテ居ルモノダト解釋シテ居ルノデアリマス

○紅露委員 是ハ御笑ヒニナッテ居ル方モアリマセウケレドモ、私考ヘルニ、軌道トカ何トカ云フモノハ持ッテ行クケレドモ、附帶事業、關聯事業ノ中儲カルモノハ是ハ第一條ニ入リマセヌカラ、提供スルコトヲ拒ムト云フヤウナコトガキツト出來テ來ルト思フノデアリマスガ、ソレガ結局事業ノ中ニ包含サレルト云フコトニナルト、運送事業ニ直接關係ノアルモノ、斯様ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○鈴木政府委員 只今申上ゲマシタ如ク、交通事業ニ不可分ノ關係ガアリマシテ、收益關係ガソレニ依存シテ居ルモノダト御考下サイマスレバ結構ダと思ヒマス

○紅露委員 私人デ十分分リマセヌガ、依存ト云フノハドウ云フコトヲ云フノデア

リマスカ

○鈴木政府委員 例ヘバ交通事業ヲヤッテ行キマス爲ニ、其交通事業ノ所謂旅客輸送ノ成績ヲ舉ゲルト云フ目的デ以テ遊園地ヲヤッテ居ル場合ニ於テハ、遊園地其モノニ於テハ所謂獨立ノ事業ヲ爲シ得ナイ場合デモ、其收益關係ガ交通事業ニ依存シテ居ルモノト吾々ハ考ヘテ居ル

○紅露委員 サウスルト素人流ニ考ヘマスルト、交通事業ト獨立シテハ存在シ得ナイ事業、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○鈴木政府委員 大體所謂獨立シテ營業ヲ營メナイト云フコトハ、唯具體的事業ダケデ所謂收支ガ惡イカラ獨立シテ營メナイ事業トシテ交通事業ニ吸收サレタカト云フト、ソレハ一概ニ吸收サレルト申兼ネルト思ヒマスガ、兎モ角其事業ト云ヒマスカ、其仕事ガ交通事業ヲ本體トシテ、其營業ノ爲ニヤッテ居ル、又其事業ガ交通事業ノ收益關係カラヤッテ行クノダト云フヤウナ場合ニ於テハ吸收サレルモノト御考ヘ下サイマシテ結構ダと思ヒマス、大體紅露サンノ御考ト大差ナイト思フノデゴザイマス

○紅露委員 サウ致シマス、結局交通事業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

會通念上出來ナイト云フヤウナ事業、コンナ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○鈴木政府委員 サウ御考ヘ下サレバ結構デス

○紅露委員 諒承致シマシタ、ソレカラモウ一ツ簡單ニ伺ッテ置キマスガ、一體勅令ヲ以テ指定スル事業ト云フノハ大體政府デ御考ニナッテイラシヤルモノヲ具體的ニ御示シ願フトドンナモノデスカ

○鈴木政府委員 自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依リマスル運送事業デストカ、索道デストカ、無軌道電車、サウ云フヤウナモノヲ吾々ハ此處デ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ勅令デ指定スルカドウカト云フコトハ、其調整スル區域、其他ノコトヲ考ヘテ決メタイト考ヘテ居リマス

○紅露委員 第一條ハ能ク分リマシタ、ソレデハ第二條ニ入リマシテ御伺シマス、尙ホ皆サンカラ色々御質問ガ出テ居ルヤウデアリマシテ、私ハ幸ニ一寸モ休マズ、外出モセヌデ皆サンノ御質問ヲ十分伺ッテ居リマシタカラ、重複シタ點ハ一切避ケマシテ、少シモ觸レテ居ナイ點ダケニ付テ、伺ッテ行カウト思ヒマス、第二條ノ中デ一寸伺ヒタイノハ、「調整ノ區域」ト云フコトヲ書イテアリマスガ此區域ト云フノハ所謂行政區域

ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

業ニ直接關係ガアッテ、マア引離スコトガ社

ト無論一致シナイノデアリマセウガ、大體鐵道省デドウ云フ方面トカ、斯ウ云フ方面トカ云フ御豫想ト云フモノガアルノデゴザイマセウカ、唯其時ニ思著イテポットヤツテ行クモノデセウカ、例ヘバ東京市、或ハ

東京市ノ近郊ヲ一ツノ區域ニスルトカ、或ハ大阪ヲ二ツニ分ケテ南北ニスルトカ、サウ云フ大體ノ御調査ガ出來テ居ルノデゴザイマセウカ

○田尻政府委員 「調整ノ區域」ト申シマスルノハ、調整ノ必要ヲ認メマスル地域デアリマシテ、仰セノ通り必ズシモ行政區域ト一致スルモノデハナイト解シテ居リマス

○紅露委員 ソレカラ此「調整スベキ事業ノ種類」ト云フノハ、私共ハ素人考カラコンナヤウニ考ヘテ居ルノデス、例ヘバ乗合自動車ト乗合自動車、或ハ地方鐵道ト地方鐵道、或ハ軌道ト自動車業ト、云フヤウナ風ニ、所謂一條ニ云フ種類ヲ申スノデゴザイマスカ、ソレトモマダ何カ他ニ色々ノモノガ之ニ入ッテ來ルノデアリマスカ、尙ホ其處デ「範圍」ト云フノハ今一條デ御伺シマシタ地方鐵道、或ハ軌道、或ハ其中ノ一部分トカ、或ハ附帶事業モ入レルト云フヤウナ風ニナルノデゴザイマスカ、其種類ト範圍ノ御説明ヲ願ヒタイノデス

○田尻政府委員 事業ノ種類ニ付テハ只今御意見ノ通りデアリマス、其範圍ト申シマスト、例ヘバ地方鐵道、軌道等ニ付テ或ル區間ヲ意味シテ居ル譯デアリマス

○紅露委員 ソレカラ此第一項ノ第一號ノ「會社ノ合併又ハ設立」是ハモウ昨日カラ色色御質問モ出、又昨日實ハ委員會外ニ於テ司法省ノ政府委員ニモ聽イテ見マシテ、能ク分リマシタカラ一號ノ御質問ハ申上ゲマセ

ス、又第二條デハ三號以下ハ大シタコトハナイト思ヒマスガ、第二號ガ非常ニ重要ナモノト思フノデアリマス、是ハ是非伺ッテ見ナイト色々ノ疑問ガアルノデゴザイマス、最初鐵道省カラ司法省ヘ御出シニナリ、鐵道省カラ陸軍省、海軍省、或ハ遞信省、企

畫院、或ハ法制局ニ御出シニナツタ時ニハ、此合併モ設立モ命令事項ニ入ッテ居ッタクシイノデスガ、此法案デハ除カレタ、所ガ此「事業ノ讓受又ハ讓渡」是モ命令事項ニハナッテ居リマスガ、私ノ解釋カラ行キマスト是モ結局不可能ノ條文ニナルト斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、私ノ考ガ間違ッテ居ルカ、又ハ私ノ商法、民法ノ比較解釋ガ違ッテ居リマシタヲ御指摘ヲ願ッテ、誤ヲ正シテ戴キタイノデス、私ハ斯ウ云フヤウニ思フノデアリマス、事業ノ讓受又ハ讓渡ニ付テ昨日ド

ナタカラカ御質問ガアリマシタノニ對シテ、内務政務次官カラ慥カ斯ウ云フ御答辯ガアツタト思ヒマス、例ヘバ東京市ノ自治團體ガ路面電車ヲ經營シテ居ル、或ハ乗合自動車ヲ經營シテ居ル、其時分ニ之ヲ他ノ會社ニ合併セシメル、或ハ市ガ買收スル、サウ云フ場合ニ——是ハ命令事項デアリマスカラ

裁定デハアリマセス、勸告デモアリマセヌ——讓受若クハ讓渡ノ契約ヲシタ、所ガ其後ニ至ッテ市長ノ讓受若クハ讓渡ノ契約ニ反對ノ決議ヲ市會ガシタ場合ニハ、ソレハ一體ドツチガ效力ガアルノカ、言換ヘレバ市長ノ他ノ企業者トノ間ニ於ケル契約ヲ有效ト見テ、此法律ニ依ッテ處分ラドン——實

行シテ行ッテ宜イノカ、或ハ市會ガ反對ノ決議ヲシタラ市會ノ決議ニ從フノカト云フヤウナコトノ御質問ガアツタヤウニ思フノデス、之ニ對シテ内務政務次官ノ御答辯ハ、假ニ市會ガ反對ノ決議ヲシテモ、市長ガヤツタ所ノ讓受若クハ讓渡ノ契約ガ成立シテ居ルカラソレデヤッテ行クノダ、斯ウ云フ御答辯デアツタヤウニ私ハ伺ッタノデスガ、サウ云フ立前ニナッテ居ルノデスカ

○勝田政府委員 私ノ言葉ガ足りナカッタノデ、或ハ紅露君ニサウ云フ誤解ヲ起サセタカモ知レマセヌガ、市會トカ其他ノ決議

ガ此命令ヲ拘束スルカドウカ、斯ウ云フ御質問トシテ私ハ御答シタノデアリマス、サウ云フ決議ガアリマシテモ此命令ハ何等ノ拘束ヲ受ケナイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、隨テ只今例ニ御出シニナリマシタ市會ガ契約締結ニ反對ヲスルト云フコトデ、市長ガソレヲヤラヌト云フコトデゴザイマスレバ、實行ハ困難ニナッテ參リマセウ、併ナガラ此法律ニ依ッテ發シマスル命令ハ效力ヲ持ッテ

居ルノデアリマスルカラ、ヤハリ命令違反ト云フ結果ニナッテ來ルモノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○紅露委員 一寸受取り兼ネマシタガ、サウスルト市長ハ市會ニ掛ケル前ニ契約ヲシタ、市會ニ掛ケテ見タ所ガ、市會ハソンナ安イ値デ賣ッテハ困ル、一千万圓ナラ一千万圓デナケレバ駄目ダカラ、ソンナ讓渡契約

ハイカスト云フヤウナ反對決議ヲシタト致シマス、サウスルト市長ノ其讓渡契約ハ有效ナンドカラ命令ガ出セルト云フノデゴザイマスカ、其市會ノ決議ガ本法ノ命令ニ違反スルカラ、十二條ノ罰則デ、市長ガコンナニ契約シテ居ルデヤナイカ、ソレダノニ市會ガ反對ノ決議ヲスルトハ不都合ダ、ダカラ東京市ナラ東京市ノ路面電車、若クハ乗合自動車ノ免許ヲ取消シテシマフゾト

云フ命令違反トシテノ罰則ノ適用ガ出來ルト云フ意味デスカ

○勝田政府委員 恐ラク市長ハ市會ノ協賛ヲ經ナイデ契約ヲスルト云フコトハ事實上ナカラウト思ヒマスルガ、ソレハ事實問題デスカラ如何様デモ宜シウゴザイマス、此命令ガ出マシテ、而モ東京市、大阪市ト云フ自治體ガ命令ヲ遵奉シナイト云フコトデアリマスレバ、此命令ノ效果ハ或ハ發揚出來ナイカモ知レマセヌ、併ナガラソレニ對シマシテハ、已ムヲ得ヌ場合ニ於キマシテハ、此十二條ノ規定ガ動クカモ知レマセヌ、即チ命令其モノハ有效ナノデス、市會ガ異議ヲ言フ、承諾シナイト云フコトハ、個人デ申シマスレバ相手方ガ承諾シナイト云フコトト同ジコトデアリマス、市會ノ決議ト云フモノハ市ノ内部意思ヲ決定スル機關デアリマスカラ、個人デアリマシテモ、法人デアリマシテモ同ジコトト思ヒマス、サウ致シマス、東京市ガ其命令ニ從ハナイト云フ結論ニ到達スル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○紅露委員 是ハ重大ナコトニナルト思フノデアリマスガ、デハ此問題ハ一寸留保シテ置キマス、實ハ昨日監督局長ナリ政府委員ニ伺ヒ、議院外デ司法省ノ御意見モ伺ッタ

ノデアリマスガ、司法省ハ今モ司法省ノ事務官ガ見エテハッキリ斯様ニ仰シヤッテ居ルノデアリマス、會社ノ取締役ハ一般的代表權ガアルノデアアルケレドモ、株主總會ノ決議ヲ經ナイデ、假ニ讓渡契約ヲシテ居ル、後日株主總會ガ反對ノ決議ヲスレバ、其取締役ナリ社長ナリノヤッタ讓渡契約ト云フコトハ認メヌ、ソレデアルカラ結局サウ云フ場合ニハ、此讓受若クハ讓渡契約ハ無効ニナルノダト今モ態々言ッテ來テ吳レタノデアリマス、ソレダノニ法人ノ時ニハ會社ノ最高ノ意思タル株主總會ト、執行機關タル取締役トノ意思カ反セバ、ソレハイカヌノダト云フノデ罰則モ適用シナイ、ソレデアアルニ企業者ガ自治團體デアアル爲ニ、市長ガヤレバ市長ノ契約ハ有効ダ、後日市會ガ反對シテモ其市會ノ反對ヲ押切ッテ、場合ニ依レバ此罰則ヲ適用シテ、市ノ免許モ取消スゾ、市ノ路面電車モ運轉サセヌゾ、甚シキニ至ッテハ他人ヲシテ市ノ數千萬圓モ數億圓モ掛ケテ居ル電車事業ノ管理デモサセル、イケナケレバ役員デモ解任シテシマフゾト云フヤウナ罰則ガ適用サレルト云フコトニナリマス、司法省ハ洵ニ穩健ナ御解釋デ、取締役ガ讓渡契約ヲヤッテ置イテモ、後日株主總會ガ之ニ反對スレバソレハイケ

ナイ、出來ナイノダト云フ解釋ヲシテ居ルノニ、企業者ガ公共團體ナルガ故ニ、サウ云フエライ罰則ヲ適用シ、又命令違反ダトシテ、ドン／＼此裁定處分ヲ遂行シテ行クト云フコトニナルト、司法省ノ御解釋ト内務省ノ御解釋ガ大變違フヤウニ思フノデスガ、ソコノ御打合せハドウ云フ風ニナッテ居ルノデスカ

○勝田政府委員 私ハチットモ違ッテ居ラスト思ヒマス、繰返シテ申上ゲマスレバ、是ハ公共團體デモ株式會社デモ同様デアリマス、公共團體ニ對シマシテハ決議機關ガアル、市ニハ市會ト云フモノガアリマス、株式會社ニ於キマシテハ株主總會ト云フモノガアリマス、ソコデ株式會社ニ於キマシテハ取締役、公共團體ニ於キマシテハ市ノ理事者、又ハ其他ノ公共團體ノ理事者、ソレガ各代表者トシテ契約ヲ締結スルノデアリマス、其場合ニ株主總會、又ハ市會デソレヲ承認シナイト云フコトニナリマスルト、恐ラク讓渡契約ハ效力ヲ發生致シマス、併ナガラ一面ニ於キマシテ本法ニ依ル政府ノ命令ト云フモノハ、ソレニ依ッテ效力ヲ失フモノデハナイ、即チ株式會社ニ於キマシテモ、個人ニ於キマシテモ、又公共團體ニ於キマシテモ此命令ニ從ハナイト云フ結果

ニナル、是ハ個人デモ同ジデアリマス、隨テ命令違反ノ責任ヲ負ハナケレバナラスト云フコトニナルト思フノデアリマス、斯様な意味デアリマス

○紅露委員 サウ云フコトニナリマス、司法省ノ御解釋ノヤウニ株主總會ガ反對決議ヲスレバ其讓渡契約ハ無効ニナル、無効ニナレバ讓渡契約ハナカリシコトニナルノダカラ、此十二條ノ命令違反ノ效果ヲ生ジテ來ナイ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデアリマスケレドモ、市長ガ讓渡契約ヲシタ後、市會ニ掛ケタ、所ガ市會ガ反對シタ、サウスルト此命令ニ違反シテ居ルノダカラト云ウテ罰則ヲ適用サレルト云フコトニナルトソレハ非常ナコトニナルヤウニ思フノデスガ、私ノ考ヘ方ガ違フノデゴザイマスカ、モット平タク仰シヤッテ戴キタイ

○勝田政府委員 平タク言ヘト仰シヤイマスガ、私ハ平タク申シテ居リマス、或ハ是ハ紅露サンノ御聽達デヤナイカト思フノデスガ、私が申シテ居リマス通り、契約ガ無効ニナルト云フコトハ、契約ガナカッタノダカラ、此命令自體モ之ニ依ッテ命令ガナカッタモノデアルト云フ解釋マデハ來ナイ、命令ハ依然トシテアル、而モ當事者ガ其命令ヲ聞カナイ、斯ウ云フ形ニナルノデアリ

マスカラ、隨テソレニ依ル十二條ノ處分ハ受ケナケレバナラス、十二條ノ處分ガ出來ナイト云フノデヤアリマセヌ

○紅露委員 サウシマス、是ハ明日マデ

留保シテ置イテ、司法省ニモ、モウ一遍氣ノ濟ムヤウニ聞キマスガ、ドウモアナタノ仰シヤル通り行クト斯ウ云フヤウニ思フノデス、或ハ私ガ何カ考違ヲシテ居ルノカモ知レマセヌガ、裁定ト云フノハドウ云フコトヲスルノヤラ委員會ノ内容ハドウ云フヤウニナルノヤラ、裁定ノ效果ノ發生時期ト云フノハ何時カラナルノヤラ、裁定ノ效果ハ一體ドウ云フヤウニナルノヤラ、命令事項ノ内容ヲ資料ヲ戴ケマセヌカラ分リマセヌガ、私ハ斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル、或ハソレガ根本ニナッテ誤解ニナッテ居ルノカモ知レマセヌガ、茲ニ軌道ナラ軌道ト乗合自動車ガ錯綜シテ居ル、是デハイカヌカラ統制スル必要ガアルト鐵道大臣ガ考ヘタカラ、是ハ重要ナモノデナケレバ掛ケヌノデセウガ、重要ナモノダト思タカラ調整委員會ニ掛ケル、所ガドウセ統制スルト言タ所デ結局一方ニ合併サセルカ、新設會社ヲ作ルカ、一方ニ讓渡スルカ、讓受スルカ、斯ウ云フコトニナルガラウト思フ、甲ナラ甲、乙ナラ乙、丙ナラ丙ヲ、オ前ハ合併シテ

シマヘトカ、或ハ讓渡シテシマヘトカト云

フコトデ委員會ニ掛ケル、委員會ニ掛ケル必要ガアルカナイカト云フコトハ大臣單獨決メルノデス、サウシテ委員會ヲ召集シテ委員會ニ掛ケテ、其結果、成程斯ウ云フ混亂狀態デハイカヌカラ、ソレナラ甲ノ會社ニ皆買收サセヨウトカ、或ハ乙ヲ甲ニ買收サセタ方ガ宜イトカ、買收サストスレバ、建設費ガ五百万圓掛ッテ居ル、色々設備ニモ掛ッテ居ルカラ六百万圓ナラ宜イガラウ、一方ハ七百万圓ナラ賣ルトカト云フノデ、ソコデ協議ガ整ヘバ認可シテヤル、賣ルコトハ賣リマス、讓渡モシマス、併シ値段ダケガドウモ折合ハナイノデス、斯ウ云フ場合ニ、一方ハ七百万圓デ賣ルト言ヒ、一方ハ五百万圓ト言フ、其處ニ二百万圓ノ差ガアルカラ、是ハドウ云フモノガラウカト云フノデ委員會ニ掛ケル、掛ケテ見タ所デ委員會デハ六百万圓ガ相當ダト云フノデ六百万圓ニ裁定シテ、其協議ノ整ハナカッタ事項、金額ト云フモノニ付テ裁定ノ通知ヲ出スノダ、斯ウ私思ッテ居ル、實際ドシナ取扱ヲスルノカ知レマセヌガ、此法文ヲ讀ンデ見ルトサウ思ヘルノデス、ソレデ金額ニ不服ガアレバ百万圓ダケ供託シテ置イテ、サウシテ裁判所デ七百万圓ガ相當カ、五百万圓ガ相

當カ、六百万圓ガ相當カ裁判ハ裁判デセイ、

併シ一旦裁定ガ出タノダカラ裁判ガ進行シテ居ッテモドンノ裁定ノ效果ハ停止シナイノダカラ合併サシテシマフ、例ヘバ京成電車ガ京王ヲ合併スルト云フ場合ニ、京王ノ人ガ行ッテドンノ運轉モスルシ、其従業員ハ合併スレバ商法ノ規定ニ隨テ社員モ従業員モ合併シタ會社ヘ行キマスカラ、ソレハ京成電車ナラ京成電車ノ社員トシテ活動スルノダカラ、前ノ京成電車ト違フノダ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ッタノデスガ、ソレデハイケナイノデスカ

○勝田政府委員 是ハ紅露サンノ仰シヤッ

タノハ鐵道省ノ政府委員カラ御答申上ゲルベキデアリマスガ、幸ヒ司法省ノ方ガ見エテ居リマスカラ、司法省ノ御意見ヲ此際伺ッタ方ガ問題ガハッキリスルト考ヘマスカラ、先ヅ其點ヲ解決シテ置キタイト思ヒマス

○堀内司法書記官 ソレデハ私カラ簡單ニ

申上ゲマス、鐵道省ト内務省ノ政府委員ノ方ガ申サレタ所ト司法省ノ考トハチットモ違ッテ居ナイノデアリマシテ、全ク同一ト御承知願ヒタイト思ヒマス、其意味デモウ一遍私カラ申上ゲテ見マス、事業ノ讓渡其他ノ命令ヲ致シマス、サウシマス命令ヲ

受ケマシタ方ハ會社ナラ會社ハ少クトモ改

正商法ノ下ニ於キマシテハ、特別決議ヲ必要トシテ、特別決議ガアッタ時ニ初メテ事業讓渡ノ契約ガ出來マス、其場合ニ取締役ハ命令ヲ受ケタラ總會ヲ召集シテ議案ヲ出シテモ宜イ、併シ特別決議ヲ株主總會ガシナイト云フ場合ニハ、是ハ先程カラ申上ゲテ居リマスヤウニ實際出來ナイノデアリマス、命令ハ出マシテモ商法ノ規定ニ從ヒマシテ手續ヲ當事者ガヤラス場合或ハヤリマシテモ株主總會ノ方デ否決シテシマヒマシタ場合、サウ云フ時ニハ實際命ジタコトガ實行出來ナイ譯デゴザイマス、其點ハ先刻カラ内務省ノ方ガ申上ゲテ居ラレマスノト司法省ノ考モ全然同ジト御聽取ヲ願ヒタイト思ヒマス、所デ株主總會ガサウ云フ決議ヲシナイ、サウ云フ場合ニハドウシテモ命令ノ違反ニ事實ナッテ居ル譯デゴザイマス、ソレデ場合ニ依リマシテハ、十二條ノ制裁モ行ハレ得ルト云フ風ニ司法省モ考ヘテ居ルノデス此程度デ宜シウゴザイマスカ

○紅露委員 司法省ノ説明員ノ方ノ説明能ク分リマシタ、併シアナタノ御話ノ前提ハ、改正商法ニハサウ云フ風ニハッキリ書イテ居ルノデス、今マデハ一體取締役ガ、惡ク言ヘバ全財産ヲ搔拂ッテ逃ゲテモ其契約ハ

有效ナシデス、全財産ヲ纏メテ譲渡シタツテ判例モ商法ノ上カラモ是ハ仕方ガナイ、刑事上ノ制裁ヲ受ケルノハ別デスガ、サウ云フコトデハイカヌカラ、今度ノ改正商法デハハッキリサウ云フヤウナ會社ノ重要ナ財産ヲ處分スルコトハ株主總會ヲ開イテヤレ、ヤラナケレバ無効ダト書イタト云フコトハ、半面ニ於テ現行商法デハ何ヲヤツテモ構ハス、會社ノ解散ヲ導クヤウナ全部ノ事業ヲ譲渡シテ見タツテ現在ノ商法デハ有效トナツテ居ル、ソレハアナタノ方ノ御解釋ハ改正商法ヲ頭ニ入レテ居ラレルカラサウデセウケレドモ、改正商法ハマダ成立致シテ居ラナイノデス、少クトモ現在ノ商法ハ會社ノ全財産ヲ搔拂ツテ賣飛バシテ逃ゲタツテ是ハ有效デ判例モ認メテ居ルノデス、サウ云フ風ニ現在ノ商法及ビ判例ノ上デハ認メテ居ルノデスカラ、ソレガ假ニ會社ノ全部ヲ譲渡シテシマツテ、後日ニ至ツテ株主總會ガソレハイカヌ、ソシナ安ク賣レルカ、一千万圓デナケレバ賣レヌト云フ反對決議ヲシタ場合デモ、現在ノ商法デハ之ヲ阻止出來ヌデハアリマセヌカ、有效ナ契約ガ成立シテ居ル、有效ナ命令ガ出タカラ其命令通り契約シテ居ル、ソレナニ株主總會ガ反對ノ決議ヲシタカラト云ツテ、是ハ不都合ダ、

一方ニ於テ契約モ有效ニナリ判例モ、商法モ認メテ置キナガラ、株主總會ガ反對ノ決議ヲシタカラト云ツテ是ハ不都合ダト云フノデ免許ヲ取消ス、アナタハ本案審議ニオ當リ下サツタ方ダト思ヒマスガ、合併トカ譲渡トカ重大ナコトヲヤルナラバ宜シウゴザイマスガ、併シ甚シキニ至ツテハ連絡運輸直通運輸、尙ホ甚シキニ至ツテハ用品其他ノ共同購入ヲヤラウト思ウテ、命令ガ出テ、サウシテ其命令ニ反シタト云フヤウナ場合デサヘモ、取消セルト云フ條文ヲ置クト云フコトハ、ドウ考ヘテモ無茶デス、ダカラアナタノ御解釋ハ今出テ居ル改正商法ヲ前提トシテナラ肯定シマスガ、少クトモ現在施行サレテ居ル商法、大審院ノ判例ノ上デハ、アナタノ御解釋ハ肯定出來ヌノデスカラ問題ニナツテ來ル

○堀内司法書記官 私今申上ゲマシタノハ、少クトモ改正商法ノ上ニ於テハ特別決議ガ要ルト云フコトヲ申上ゲマシタノデ、現行法ノ下ニ於テノ解釋ハ相當困難ナ分リニクイコトニナツテ居リマス、或ハ取締役ガヤレバ有效ニナツテシマフト云フ解釋ノ方ガ、結果ハ免モアレ正シイカモ知レマセヌ、サウ云フ場合ニ取締役ガヤルノガ本來穩當デゴザイマセウガ、若シヤツテソレガ有效ニナツ

テシマヘバ、ソレハ命令ニ從フト云フコトニナツテシマフノデスカラ、制裁モ何モ出來マセヌノハ今ノ御話ノ通りデアリマス

○紅露委員 サウ云フコトニナリマスト是ハ大變ナコトニナリマス、サウ云フヤウナ御解釋ヲ司法省モ内務省モ採ツテヤルト云フコトニナリマス、重役社長ト云フ者ガ絕對ノ權力ヲ持ツテシマフ、裁定ノ效力ヲ鐵道省ノ御解釋ニ依ルト物權的效果ヲ生ジナイ、債權的效果ヲ生ジナイト云フ御解釋ノヤウデアリマシテ、結局營業讓渡ト同ジヤウナコトニナルト思ヒマスガ、サウ云フコトニナルト二條ト十二條トハトシデモナイコトニナツテ來マス、罰則ト云フノハ私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデス、假ニ大審院ノ判例ヲ見マシテモ、普通一般ノ例ヲ見マシテモ、何百万圓橫領シテ居ツテモ罰金ハ千圓カ二千圓位ノモノデ、ドンナ大キナ犯罪ヲヤツデモ處罰ハ小イノデス、所ガコレッ

クツ付ケタノダ、大シタ研究ヲシタノデハナイト鐵道省ハ言ツテ居ルガ、或ハサウカモ知レマセヌ、サウスレバ洵ニ不注意ナル條文デス、コンナ大キナ罰則ヲ、ソシナ十二條ノ簡單ナコトデ片付ケルト云フコトハ、一體司法省ハ御研究ニナツタノデスカ、ソレトモ又見逃ガシタノデスカ、其點ノ御解釋ヲ伺ツテ置キタイノデス

○堀内司法書記官 私カラサウ云フコトヲ申上ゲマスト甚ダ僭越カモ知レマセヌガ、司法省モ十分研究致シマシテ此法案ニ賛成致シタノデゴザイマス、但シ今御話ノヤウニ極ク小サイ詰ラヌコトニ從ハナイデ――相當氣ノ毒ナ事情モアリ、同情スベキ事情モアツテ從ハナイデ、内部不統一デ徹底のナコトガ出來ナカッタト云フヤウナ場合ニ、サウ重イ制裁ヲ科スルコトハ私等ノ方ハ専門デゴザイマセヌガ、主務官廳トシテ避ケルベキデハナイカ、十分其運用ハ慎ンデ行キタイト自分ハ存ジテ釋リマス

○紅露委員 ソシナ事ヲ仰シヤレバ私一ツ申シマスガ、アナタ方サウ云フヤウニ仰シヤルケレドモ是ハ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、ソレハ鐵道省モサウ仰シヤル、此處マデ連絡運輸ヲヤレト云フヤウナ細カイ事デ、重大ナコンナ處分ヲシナイト仰シヤル、ソ

シナラト言ウテ一番輕イモノハ何カト言ウ
タラ、一番輕イノダッテ免許ノ一部ノ取消デ
ハアリマセヌカ——ソレデハ大體アナタノ
御解釋ハ斯ウ云フヤウニ伺ッテ宜シイノデ
スカ、改正商法デ行ケバ、株主總會ノ決議
ヲ經ナケレバサウ云フ讓渡ノ契約ハ無効ダ
カラ心配ハナイ、併シ現在ノ商法ナラ私ノ
言フヤウコトニナル、ソレデ宜シイノデス
ネ

○堀内司法書記官

今ノ商法ノ解釋ハ相當

困難ゴザイマスケレドモ、紅露サンノ仰
シヤルヤウナ解釋モ相當理由ガアルヤウニ
思ヒマス、今ノ改正商法ノ解釋ハ皆統一シ
テ其通りニナッテ居ルトモ一寸私カラ申上
兼ネマスケレドモ、御話ノヤウナ説モ相
當理由アルヤウニ思ッテ居リマス

○紅露委員

是ハ非常ニ重大ナ事デ大問題

ニナルト思ヒマスガ、結局後デアナタカラ
デナク鐵道省ノ政府委員ノ方ニ伺ヒマス、
實ハ斯ウ云フ實例ガアルノデス、是ハ本當
ナンデス、司法省モ鐵道省モ内務省モ御研
究下スッテ宜イト思フガ、相續稅法ノ二十三
條デ始終斯ウ云フ問題ガ起キル、今現ニ大
藏當局ニ居ラレル方デスガ、私ハ陳情ヲ受
ケタカラ話シテ置イタガ、斯ウ云フ馬鹿氣
タ事ヲヤッテ居ル、ソレモ日本橋ノ眞ン中デ

ヤラレテ居ル、是ナドハ非常ニ參考ニナル、
法律ヲ拵ヘル時分ニハ實際注意シテ戴カヌ
ト困ル、是ハ村山貯水池ノ側ニ或ル醸造家
ガアル、是ガ東京電燈ノ株ヲ數百萬圓持ッテ
居ッタ、所ガ其次男坊ガ非常ニ道樂者デ、オ
父サンガ金庫ヲ開ケテドウカシテ居ル間ニ、
其株券ヲ持ッテ兜町へ來テ現物屋ニ引掛ッタ
是ハ管轄ノ久松警察ニモ告訴ガ出テ居リマ
スガ、二、三十萬圓取ラレテシマッタ、取ッ

タ奴ハ逃亡シタ、所ガ親父ガ數時間シテ見
タ所ガ金庫ガ空ッポニナッテ居ル、又アノ道
樂野郎ガヤッタニ違ヒナイト言ウタ、所ガ兎
ニ角株券ヲ皆取ラレテ居ル、是ハ大變ダト
言ッテ早速警視廳ニ行ッたら、現物屋ヲ調べ
取引員ヲ調べタケレドモ、モウ其時ハ數十
萬圓處分サレテ、本人ハ捕ッタケレドモ、ソ
シテ後ノ三百何十萬圓ノ株券ハ手ニ入ッタ
ケレドモ犯人ハ居ナイ、搔ッ拂ッテ逃ゲテシ
マッタ、私共陳情ヲ受ケタノハ既ニ犯人ガ
捕ッテ收監サレタ後ノコトデアアル、ソレカ
ラモウ一ツ申上ゲナケレバナラス、其時、
是ハ大變ダト云フノデ、日本橋ノ或ル商店
へ長女ガ來テ居ル、其處カラ三男ガ慶應
ノ理財科へ通ッテ居ルト云フノデ、ソレ等ノ
名義ニ書替ヘテ、株券ヲ日本橋ノ長女ノ嫁
ニ行ッテ居ル所へ預ケタ、サウスルト相續稅

法ノ二十三條ノ名義變更ヲシタカラ遺產相

續ヲシタモノダト云フノデ數十萬圓ノ決定
ヲサレタ、私ハ馬鹿々々シクテ問題ニナラス、
贈與ノ意思ナド全然ナイト云フノデ、告訴
狀ノ寫カラ何カラ皆附ケテ出シテ置ケト言
ウタガ到頭ソレガ決定ヲシタ、決定シタニ
付テハ東京稅務監督局ニ稟請シテ居ル、主
稅局長モ贊成シテ居ル、無論ソレモ理窟ハ
アル、ソシテコトヲ一々意思ヲ問ウテ行キ
居ッタラ相續稅ナド決定出來マセヌ、ダカラ
私ノ方ハ意思ハ問ハヌ、苟モ株主名簿ガ直
サレ、考課狀ガ直ッテ行ケバドン／＼決定
スル、ソレデヤ酷イカラ早速親父ノ名義ニ
直シマスト言ッタッテ、ソレヲ直セバ又移轉
稅デ五、六十萬圓ノ税金ヲ取ル、サウスル
ト今度ノ高イ税金デ行ケバ殆ド第一種ノ相
續稅ダッテ半分ハ取ラレル、遺產相續ナラ
半分以上取ラレル、ソレヲ又モウ一遍取ラ
レル、ソシテ馬鹿ナコトアリマスカト言ウ
タッテ、法律ニアルカラ仕様がナイ、現ニサ
ウ云フコトヲヤッテ居ル、ソレデ私仕様がナ
イカラ地方裁判所へ贈與無効確認ノ訴ヘヲ
起シタ、ソコデ判事サンガ眼ヲパチクリシ
テ居ル、此訴訟ハ兎ニ角アナタニ事情ヲ申
上ゲタケデハ、アナタハ判決ヲ書イテ呉
レマセヌ、併シ一遍呼出シテ審理シテ戴イ

タラ直グニ解決ガ付ク、判決モ二、三行デ宜
シイ、ソシテコトヲスルナラ呼出シテ和解
シテヤラウ、イヤ和解デヤ駄目デス、一遍
呼出シテ訊問シテ戴キタイ、ソレデ判決ガ
確定シタカラ贈與ノ意思ガナカッタト云フ
コトニナリ、其判決ヲ持ッテ行ッたらソレハ
結局取消シマシタガ、サウ云フヤウナモノ
デ其局ニ當ル人ハ此通りヤッデシマフノデ
ス、是ハ日本橋ノ稅務署、東京稅務監督局
デモ現ニサウ云フコトヲヤッテ居ル、是ハア
ナタ方商法ガモウ通ルダラウ、アレハ心配
ナイカラト言ウタッテ、明日解散ガアルカ
モ知レヌ、ソシテコトデコンナ法律ヲ拵ヘ
テ、市會ガ反對ノ決議ヲシタラ、是ハ罰則ダ
命令違反ダ、東京市ノ路面電車、乗合「バ
ス」モ取消スト言ウタッテ仕様がナイ、又會
社ノ重役ガ大丈夫ダ、此前重役會ヲ開イタ
ラ大體大丈夫ダッタト云フノデ契約ヲシ
テシマッタ、所ガソレハ君百萬圓ナラ賣ッ
ケレドモ、八十萬圓デヤ駄目ダト云フノデ
反對ノ決議ヲシタ、サウ云フ場合ニ命令ニ
違反シタト云フノデ、直チニ大臣ノ命令デ
ボン／＼ヤラレタンデハ堪ッタモノデハナ
イ、是ハドウシテモ鐵道省ガ率直ニ告白シ
テ居ラレルヤウニ、コンナエライ條文ニナ
ルト思ッタノデハナイ、取締ノ條文ヲソッ

持て來テ付ケ見タンダ、(笑聲)ケレドモ
ソシナラ少シ何トカシテ戴カナケレバ困ル、
私ノ今申上ゲタノハ本當デス、ソレハ主
務局長モ、東京稅務監督局長モ、日本橋ノ
稅務署長モサウ言ッテ居ル、ソシナコトヲ一々
意思ヲ問ウテ行キ居ッたら課稅出來ス、ヤッ
テシマヘト云フノデヤッタ、サウ云フ實例
モアル、法律ヲ拵ヘテシマッタ、實際實行
ノ局ニ當ル者ハ法律ノ通りニヤッテシマフ、
ソコデモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、アナタ
方サウ云フヤウニ大變力瘤ヲ入レテ居ラレ
ルケレドモ、是ハ脫法行爲ヲヤラウト思ッ
タラ幾ラモヤル道ハアル、ソレハ何カ、斯ウ
云フコトヲシタラドウシマス、其讓渡契約
ニ斯ウ一項ヲ入レタラドウシマス、ソレハ
誰ダッテ重役會ニ反對サレタラ職ニナリマ
スカラ、責任問題デスカラ……私共今マデ
公正證書ノ原稿ヲ作ッテ皆サウヤッテ居
マスガ、契約ハ致シマス、但シ後日株主總會
ノ決議ヲ經ザル時ハ無効ト致シマス云フ
一項ハ必ズ入ッテ居リマス、サウ云フ一項ヲ
定款ニ入レタラ何ニモナラヌ、モット極端ナ
コトヲ言ッたら、買收ニ應ズルノガ嫌ダト言
ウタラドウスル、此法律ノ命令前ニ定款變
更ヲサレタラドウスル、是々ノ重要ナル事
項ニ付テハ株主總會ノ同意ヲ經ナケレバ許

サスト云フ一項ヲ入レタラ何モナラヌ、是
ハ空文デスヨ、サウデヤナイデスカ、現在
ノ商法デ行クナラバ、又無論改正商法デ行
ケバサウナルト私ハ思フノデスガ、此點ヲ
一ツ御研究ヲ願ヒタイ、司法省ノ政府委員
ノ方ハ是デ宜イト思ヒマス、マア大體私ノ
解釋ノ通りデ宜イト仰シヤッテ下サルノデ
スカラ、是デ宜シウゴザイマス、ソレカラ
三號、四號ノ、先程申シマシヤウニ「事業ノ
共同經營」ソレカラ「事業ノ管理」委託又ハ受
託、コンナモノモ殆ド問題ニナラヌ問題デ
アリマシテ、「連絡上必要ナル線路其ノ他ノ
設備ノ新設、變更又ハ共用」是モ宜イト思フ
ノデアリマスガ、唯茲ニ八號ノ「其他調整上
必要ト認ムル方法」ト云フヤウナコトガ書イ
テアルノデスガ、外ハ皆サウ云フヤウナコ
トヲ書イテナイノデスガ、是ハ具體的ニ御
示シ願フト、ドンナヤウナコトヲ政府デハ
御考ニナッテ居ラレマスカ
○鈴木政府委員 是ハ「其ノ他」ト書イテア
リマスガ、大體同様ナ趣旨ノ共同宣傳、サ
ウ云フモノヲ含メテ居ルノデゴザイマス
○堤委員 議事進行ニ付テ……私ハ先程來
紅露君ノ質疑ト政府委員ノ答辯トヲ第三者
トシテ能ク聽イテ居リマシタ、吾々ニハ能
ク分ッテ居リマス、又此程度ヨリ仕方ガアル

マイト思フ、此處デ紅露君ノ該博ナル學識
ト豐富ナル經驗談ヲ聞イテ居タ日ニハ、是ハ
迎モ限リハナイ、マダ極ク一部分ノコトデ
アリマスカラ、先ヅ第三者ガ聞イテ分ル位
ノ程度ナラバ一ツ其邊デ自制ヲシテ質問ヲ
セラレルコトヲ私ハ希望スルシ、又委員長
モ、ヤハリ物ニハ程度ガアリマスカラ十分
御考ニナリマシテ、然ルベク御注意ヲナサ
レルコトガ必要ダト思フノデアリマス
○星島委員長 了承シマシタ——一寸紅露
ニ申上ゲマスガ、今ノアナタノ質問事項ニ
關聯シテ松永君ガ一寸質問タイト言フノデ
スガ、宜シウゴザイマスカ
○紅露委員 ドウゾ
○星島委員長 ソレデハ松永君
○松永委員 紅露君ノ質問ニ對スル政府ノ
御答辯デ大體分リマシタガ、私ハヤハリ紅
露君カラ繰返シ質問ナサレタ所ノ第二條ト
第十二條ノ罰則ニ關聯シタ點ニ付テ御伺シ
タイ、先程來ノ質疑應答ニ依リマス、要
スルニ此十二條ノ罰則規定ノ發動スルノハ、
本法ニ規定シタ所ノ命令ニ反シタ時デア
ルト云フコトデアアルガ、是ハ間違アリマセ
スナ、ソレデ其命令ト云フ中ニハ、第二條ノ
事項、即チ「二號乃至八號ノ事項ノ實施ヲ
命ズベシ」此命令ニ反シタ場合ニ第十二條

ノ罰則規定ノ適用ヲ見ルコトハ、是ハ間違
ナイコトデゴザイマスカ
○田尻政府委員 御意見ノ通りデアリマス
○松永委員 サウシマス御伺シタイノハ、
一體第二條第二項ノ、今申上ゲタ實施ヲ命
ズベシト云フ實施ノ内容ハドンナ内容デセ
ウカ、例ヘバ第二號ノ、事業ノ讓受又ハ讓
渡ヲシロ、或ハ第三號ノ、事業ノ共同經營
ヲシロト云フノハ單純ナ命令デゴザイマセ
ウカ、若クハ、例ヘバ、事業ノ讓受又ハ讓
渡ヲシマスケレドモ、幾ラノ代金ヲ以テ讓
渡リ渡セ、幾ラノ代金ヲ以テ讓渡リ受
ケロ、斯ウ云フ風ナ具體的ノ實施ノ命令ニ
ナルノデゴザイマセウカ、其點ヲ御伺シ
タイ
○田尻政府委員 大體第二號ノ「事業ノ讓
受又ハ讓渡」ヲ例ニ取ッテ見マスレバ、輪廓
ハ讓受、讓渡デアリマシテ主務大臣ガ委員
會ノ意見ヲ徵シテ決定シマシタ内容ハ、單
純ニ讓受、讓渡ト云フダケデハ到底事業者
ノ間ニ協定ガ出來ナイカラ、協定ノ話合ガ
出來ル程度ノコトヲ示スコトニナルデア
ルト思ヒマスガ、併シ重要ナ價格ノ點ニ付
テハ出來ルダケ事業者間ノ御打合ニ委セ
タ方ガ宜カラウカト考ヘテ居リマス
○松永委員 其點ハ重要ナ所デスガ、ソコ

ヲハッキリ、價格ガ幾ラトカ何トカ明確ニセヌデモ宜シト云フ御意向ナラバ、何ノコトハナイ、事業ノ讓受ヲシロ、或ハ事業ノ讓渡ヲシロ、是ダケノコトト承テ宜シウゴザイマスカ

○田尻政府委員 價格ノ點ハ示サナイコトニナルト思ヒマス

○松永委員 サウシマスト今度ハ第三條ニ移リマスガ、第三條ノ後段ニ依リマス「主務大臣ノ指定スル期間内ニ協定ヲ爲シ之ガ認可ヲ申請スベシ協定成立セザルトキハ主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ協議調ハザル事項ヲ裁定ス」斯ウナッテ居リマス、即チ甲會社ト乙會社、若クハ甲會社ト乙自治體、此間ニ協定ヲ致シマス、サウシテ協定ガ調ハナイト云フ場合ニハ一體ドチララ處罰スルノデスカ、十二條ノ規定デハ、命令ニ從ハナカッタ時ニハ處罰スルト云フノデセウ、而モ其處罰スルコトハ、「取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト」他人ヲシテ事業經營者ノ計算ニ於テ事業ノ管理ヲ爲サシムルコト「事業ノ全部又ハ一部ノ停止ヲ爲サシムルコト」斯ウシテ非常ナ強力ナ制裁規定ガアル、東京市ノ如キハ御承知ノ通り明治四十四年カラデスカ市營事業ヲ開始致シテ居リマシテ、其資本ノ投資總額モザット三億圓、是ガ

協定ガ調ハナカッタ云フ時ニハ其事業ノ全部又ハ一部ヲ停止スル、ソレカラ他人ヲシテ事業經營者ノ計算ニ於テ事業ノ管理ヲサセル、サウ云フコトガ一體出來ルモノデアリマセウカ、若シ假ニ出來ルトシタナラバ、一體ドチララスルノデスカ、二ツノ會社若クハ二ツノ事業者ガ互ニ、ソレハアナタ方オ役人ノ方デ思召スヤウニ、ソレデヤ百万圓ト決メロ、宜シイ、「イエス・オーライ」サウ行クモノデアリマセヌ、色々會社ニ會社ノ歴史ガアリ利害關係ガゴザイマス、ソレヲ此價格ノ協定ニ付テハ相當折衝ヲ重ネテ行カナケレバナラヌノニ、折衝ガ出來ナカッタト云フ日ニハ一體ドチララ處罰スルノデスカ、二ツトモ其事業ヲ取上ゲテシマッテ、サウシテ他ノ新ナル人ヲシテ管理セシムルノデスカ、其點ヲ伺ヒタイノデスカ

○田尻政府委員 只今ノ命令ヲ受ケタモノノ間ニ協定ガ調ハナカッタ場合ニイキナリ罰則ニ持ッテ行クノデアリマセヌデ、其場合ニハ協議ノ調ハザル事項ニ付テ主務大臣ガ裁定ヲ爲スノデアリマス、併ナガラ其裁定ガアリマシテモ、例ヘバ讓受ノ價格ニ付テ——今ノ場合ハ讓受讓渡ノ實例デアリマスカラ其場合ニ此裁定ニ對シテ不服ガアル場合ニハ通常裁判所ニ出訴スル途ヲ開イテ

居ルノデアリマス

○松永委員 其通常裁判所ニ出訴スルト云フ御説ノコトハ此案ニ書イテアリマスカラ分リマス、併ナガラ先程來紅露君ノ質問ニ對シテ御答ニナツタコトハ、要スルニ實施ヲ命ズベシ、其實施ノ命令ニ從ハナカッタ時ニ此第十二條ノ罰則規定ノ發動ガアルノダ、斯ウ云フコトヲ承ツタカラ、ドウモソレデハ其協定ノ調ハナカッタ時ハドチラニ一體罰則ヲ適用スルノカ、茲ニ非常ナ疑義ヲ懷イタ譯デアリマス

○勝田政府委員 例ヘバ事業ノ讓受讓渡其ドチラニナリマスカ兎ニ角命令ヲ致シマス、片方ハソレニ依ッテ協定ヲシヨウトスル、然ルニ相手方ハモウサウ云フコトハイヤダカラト頭カラ相談ニ乗ラナイト云フ場合ニ於キマシテハ、相談ニ乗ラナイモノガ制裁ヲ受ケル對象ニナラウト思ヒマス、兎ニ角命令ニ付キマシテハサウデアリマス、ソレデ今ノ命令デ申シマスト賣ルコトモ宜シ、買フコトモ宜シ、話ヲ進メテ行キマスト値段トカ其他ノ條件デ協定ガ調ハナイ、サウシマスルト今度ハ第二段ト致シマシテ政府方デ裁定ヲ致シマス、其裁定ニ從ッタモノハ勿論處罰ノ對象ニナリマセヌガ、其裁定ニ應

ジナイモノハ第十二條ノ適用ヲ受ケル場合

ガアルカト思ヒマス、サウ云フヤウニ御諒承願ツテ置キタイノデアリマス、尙ホ附加ヘテ、私カラ中上ゲル筋合デナイカトモ思ヒマスガ、此十二條ノ適用ニ依ッテハ、色々紅露サンカラノ詳シイ御話モアリ、又從來相當問題ニナッテ居ルノデアリマスガ、是ハ鐵道大臣ガ昨日モ仰シヤイマシタ通り、鐵道省關係ノ法規ニ、此種ノ處罰、ト申シマスルヨニハ寧ロ制裁ト申シタ方ガ宜イノデアリマスガ、制裁ガ科セラレテ居ルノデアリマス、ソレトノ權衡ヲ保持スル上カラモ斯ウ云フ規定ヲ置ク方ガ宜イノデアリカ、斯ウ云フ御趣旨ト私ハ承知致シテ居ルノデアリマス、尙ホ此制裁ノ適用ニ付キマシテハ昨日モ御話ガアツタ通りニ從來ノ鐵道關係ノ法規ニ於キマシテ斯ウ云フヤウナ制裁ガ具體的ニ發現ヲ致シマシタヤウナ事例ハ殆ドナイサウデアリマス、即チ鐵道省側ノ斯ウ云フ制裁法規ノ運用ニ付キマシテハ、今日マデ十二分ニ注意モシテ居ラレ、又業者ニ於キマシテモ斯ウ云フヤウナ法規ニ觸レナイヤウニ、十二分ノ警戒ト注意ヲ致シテ圓滿ニ今日マデ參ッテ居ル、斯様ニ私ハ承知ラスルノデアリマス、抽象的ニ、理論的ニ御考ナサイマス、如何ニモ恐シイト云フ觀念ヲ御起シニナルコトモ無理デハナイ

ト思ヒマス、寧ロ御尤デアルト申上ゲタ方が宜イカモ知レマセヌガ、情テ實際ノ問題ニナリマス、ソコニ自ラ常識ガアルノデアリマスカラ、大シタ御心配ハナイノデハナイカ、若シ斯ウシタ規定ヲ御心配ニナルナラバ、從來カラアル他ノ鐵道關係ノ法規ニ付キマシテモ、御心配ニナラナケレバ辻褄ガ合ハスト云フヤウナ氣モ致シマス、甚ダ強辯ノヤウデゴザイマスガ、吾々ハ決シテ此規定ガアルカト言ッテ、此規定ヲ無暗ニ使ハウト云フ氣ハ毛頭ナイ譯デアリマス、其事ダケハドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松永委員 御説ヘ能ク分リマシタガ、勝田政務次官ノ御意向モ能ク分リマシタ、併ナガラ勝田政務次官ガ百年モ政務次官トシテ御就任遊バスト云フコトモアリマスマイ、内務當局ニ於テモ、若クハ鐵道當局ニ於テモ、今日ノ御方々ヨリ外ノ御方々ガ何時ノ日ニ送ラストモ限リマセヌ、サウ云フ時ニ、斯ウシタ制裁規定ノアル以上ハ、之ヲ使ハスト云フコト何人ガ保證スルコトガ出來マセウカ、權衡ヲ失スルカラ、斯ウ云フ規定ヲ置イテオクノダ、要ラス規定ヲ權衡ヲ失スルカラ、法律ノ御體裁ヲ作ル爲ニ作ルノダ、ソレデハ私ハドウモ餘リニ信念ノナ

イ法律案デハナカラウカト思フ、苟クモ制裁法規デゴザイマス以上ハ、刑法ノ規定若クハ選舉法ノ罰則規定モ、本條ノ罰則規定モチットモ違ヒマセヌ、罰則ニ違反スル以上ハ甘ンジテ罰則ヲ受ケナケレバナラスト私ハ信ズルノデアリマス、ソコデ若シサウシタヤウニホンノ一寸シカ使ハヌカラ心配スルナト仰セニナル位ナラバ、斯ウ云フ規定ハ御設ケニナラヌ方ガ、寧ロ革新時代ノ法律制定ノ趣旨ニ適フノデハナイカト思フ、要ラスモノヲ何モ作ル必要ハナイ、サウ考ヘルノデアリマス、更ニ根本問題ニ付テ質問シテ見タイト思ヒマス、勝田政務次官ノ仰セニハ、要スルニ實施ヲ命令シテ、其實施ノ命令ニ從ッテ協定ガ出來ナカッタ時ニ裁定ラスル、御説ノ通りデス、二條三條ニ其通り規定シテアル、此點ナラバ何モ承ル必要ハナイ、併ナガラ命令ニ從ハナカッタ時ニ、制裁規定ガ發動スルト云フコトガ嚴トシテ十二條ニ制定サレテ居ル、此「本法ニ基キテ發スル命令又ハ事ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ」ト云フ此規定ノ命令ト云フコトニ、主務大臣ノ實施ニ付テノ命令、之ヲ包含シナイト御解釋ニナルノデアルナラバ、別問題デス、併ナガラ先程ノ紅露君ニ對スル御答辯ノ中ニハ、明ニ其命令モ包

含スル、斯ウ云フ御答辯デアリマス、隨テ私ハ申上ゲル、然ラバ協定ガ成立シナカッタ時ニ、甲乙ドッチノ會社ヲ罰則ニ當嵌メルカ、斯ウ云フ問題ガ生ジテ來ル、其點ヲ承リタイ

○勝田政府委員 先程申上ゲタコトヲ繰返シヤウニナッテ恐入ルノデアリマスガ、協定ガ出來ナカッタ場合ニハ、直グニ主務大臣ハ第二段ノ行爲ト致シマシテ裁定ヲ致スノデアリマス、裁定ガ出來マシテ、其裁定ニ從ハナカッタ場合、此第三條ノ規定ニ付テ申上ゲマス、裁定ノ出來ナカッタ場合ニ於キマシテ其裁定ニ從ハナイ者ヲ罰スル、斯ウ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松永委員 サウスルト勝田政務次官ノ御答辯ニ依レバ、即チ第二條二項ノ「同項第二號乃至第八號ノ事項ノ實施ヲ命ズベシ」此實施ノ命令ニ違反シタ時ニハ、罰則ノ發動ハナイト云フコトニ承ッテ宜シウゴザイマスネ

○田尻政府委員 第三條ノ第二項ハ、主務大臣ガ實施ヲ命令スルト云フダケノコトデアリマスガ、此命令ガ第三條ノ第二項ノ命令ヲ受ケタルトキ、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、其命令ヲ受ケナガラ、主務大臣ノ指定スベキ期間内ニ協定モ何モヤラ

ナイデ、ホツタラカシテ置クト云フヤウナ場合ニハ、是ハ全ク裁定マデモ至リマセヌデ、制裁ヲ受ケルト云フコトニナルカト思ヒマス

○松永委員 ソレデハ一體法文ノ解釋上第十二條ノ「本法ニ基キテ發スル命令」トハ一體ドレヲ指スノデアリマスガ、其命令ト云フ意味ノ中ニハ、故ラニ第二條第二項ノ後段ノ實施ヲ命令スルト云フ規定ハ包含セスト云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○田尻政府委員 此第十二條ノ「本法ニ基キテ發スル命令」ト云フモノハ、是ハ勅令トカ省令トカノ施行上ノ命令ノコトヲ意味シテ居ル譯デアリマス

○松永委員 ソレハ先キノ紅露君アタリノ御質問ニ對スル御答辯トハ、全然違ッタ御答辯ニ承ルノデゴザイマスガ、宜シウゴザイマス、サウスルト第十二條ノ「本法ニ基キテ發スル命令」ト云フモノハ、要スルニ第二條第二項後段ノ主務大臣ノ實施ノ命令、是ハ入ラナイト云フコトニ承ッテ宜イカト考ヘマス

○田尻政府委員 ソレハ第十二條ハ斯様ニ解釋致シテ居リマス、陸上交通事業經營者本法ニ違反シタル時、又ハ本法ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル時、又ハ本法ニ基キテ發

スル施行命令——省令トカ勅令トカ、サウ云フモノニ違反シタル時、此三ツノ場合ガアルト解釋致シテ居リマス、ソレダカラ只今ノ此實施命令ノ如キハ、此本法ノ處分ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタコトニナル譯デアリマス

○松永委員 サウスルト二條ノ二項後段ノ主務大臣ノ命令ハ、處分ト云フ風ニ包含スルノダト云フコトニ承リマシタガ、情テ其裁定ニ對シテ違反シタ時ニハ、是ハヤハリ十二條ノ發動ガアルノデゴザイマス、ソレヲ承リタイ

○田尻政府委員 裁定ニ服シナイト云フコトニナレバ、ヤハリ十二條ノ適用ヲ受ケルコトニナルト思ヒマス

○松永委員 一寸承リマス、裁定ハ其裁定セラレタ處分行爲ガ物權的效力ヲ發生スルノデハナイデセウカ、唯單ニ會社ヲシテ其裁定ニ服從セシムル義務ヲ負ハシムルダケノ效果ヲ發生スルノカ、ソレヲ承リタイ、ソレカラ更ニ其裁定ヲ命ゼラレル時ニ、相關係シタ二ツ若クハ二個以上ノ當業者ガ相反スルコトガアルダラウト思ヒマス、ソレハ想像サレ得ル、一ツ若クハ二ツ、ソレ以上關係シテ居ル所ノ當業者ガ違反スルコトハアリ得ルト思フ、サウ

云フ場合ニハヤハリ總テニ制裁規定ヲ適用サレルノデアリマス、ソレヲ承リタイ

○田尻政府委員 此裁定ハ業者間ニ協定シマスケレドモ、協定ガ完全ニ成立シナイ場合ニ、協議ノ整ハナカッタ事項ダケニ付テ裁定スルノデアリマシテ、其裁定ノ效果ハ債權者ダト解釋シテ居リマス、而シテ業者デ此裁定ニ服シナイ者ガ二人アレバ二人、三人アレバ三人、服シナイ者ハ全部此裁定ニ違反スル、服シナイト云フコトニナリマスレバ、ヤハリ十二條ノ適用ヲ受ケルコトト解釋致シテ居リマス

○松永委員 裁定ノ效果ガ債權的デアルトスレバ、主務大臣ノ御考ヘ方ハ、例ヘバ甲乙二ツノ會社ヲ合併セシメル、斯ウ云フ風ナ御考ノ下ニ裁定セラレルト假定スル、而シテ其二ツノ會社ガ、折衝致シマシタケレドモ、協定ガ出來ナカッタ、ソコデ已ムヲ得ズシテ、主務大臣ガ裁定セラレタ、其裁定ニモ從ハナカッタ、違反シタ、斯ウ云フ場合ヲ假定致シマスレバ、主務大臣ノ御希望ニナル所ノ其裁定處分ノ效果ヲ擧ゲ得ナイ、何處マデ行ッテモ擧ゲ得ナイト云フ結果ニナル、何故カナレバ、其時債權的效果ヲ發生スルノミデアッテ、物權的效果ガ發生シナイ、斯ウ云フコトデアリマスナラバ、十二條ノ規定

ニ依ッテ、唯單ニ處分スルヨリ外アリマセヌ、十二條ノ規定ヲ見マスト、取締役其他ノ役員ヲ解任スルコト、他人ヲシテ事業經營者ノ計算ニ於テ事業ノ管理ヲ爲サシムル、即チ他人ヲシテ管理ヲ爲サシメルコトガアリマス、事業ノ全部又ハ一部ノ停止ヲ爲サシムルコトモアリマス、併ナガラ其御目的ニナリマシタ所ノ裁定ノ方法ハ實現スルコトガ出來ナクナル虞ガアル譯デアリマス

○田尻政府委員 只今例ニ御引キナリマシタ會社設立合併等ノ場合ハ、是ハ裁定ニ迄及ビマセヌ、勸告ダケデ終リマスカラ、

命令ヲ爲シ得ル場合ノコトニ付キマシテハ、協定ガ完全ニ成立シナイノデ、一部ノ協議ガ繼ラザル場合ハ裁定ヲ致シマスルガ、其裁定ハ債權的ノ效果ヲ持ツコトニナリマスカラ、一方ニ於テ裁定ニ服シナイ場合ニハ、十二條ノ適用ハ受ケマスケレドモ、調整其モノト云フモノハ不結果ニ終ル外ナイカト思ヒマス

○松永委員 ソレハドウ云フ法規ニ依ッテサウナルノデゴザイマセウカ、此一號ノ、會社ノ設立又ハ合併、是ハ成程勸告ダケデアルコトハ承知致シテ居リマス、併ナガラ昨日私が鐵道大臣ニ對シテ質問シテ、一號ノ、會社ノ合併又ハ設立、ソレハ勸告ダケ

デ宜イト云フコトニナッテ居ル、二號ハ一號ノ會社ノ合併設立ト同ジ重要ナ役割ヲ爲ス所ノ會社ノ事業ノ讓渡又ハ讓受、其二號、即チ讓渡又ハ讓受ハ、實施ヲ命ゼラレテサウシテ裁定セラレルノニ拘ラズ、一號ノ會社ノ合併又ハ設立ハ、唯單ニ勸告ノミデ終ルト云フノハドウ云フ理窟デアラウト云フコトヲ承ッタ時ニ、鐵道大臣ノ御説明デハ、イヤソレハ第一段ガ、一號ノ場合ハ會社ノ合併又ハ設立デアル、其勸告ニ應ジナカッタ時ニハ、第二段ノ事業ノ讓受又ハ讓渡ト云フノガ發動スルノデアルカラ、チットモ不合理ナコトハナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、隨テ私ノ申上ゲル今ノ十二條ノ發動セラレル時ニ於テ、其裁定ノ效力ハ唯單ニ第二段ノ罰則ノ效果ヲ發生スルノミデ、債權的效力ノミニ過ギナイトスレバ、其主務大臣ノ目的ニ到達スルコトハ出來ナイト思フノデスガ、其點ヲ更ニ御同致シタイ

○田尻政府委員 會社ノ合併設立ニ付キマシテハ、昨日大臣ガ答辯サレマシタ通りニ法制ノ立前カラ致シマシテ、勸告ニ止メル、勸告ニ止メマスカラ、勸告ニ應ジナイ場合ハ、會社ノ合併設立シテノ事業形態ハ現レル、調整法ハ現レル譯ニ行キマセヌケレドモ、サウ云フ場合ニハ、第二段ノ

策トシテ、或ハ第二號ノ事業ノ讓受又ハ讓渡
或ハ第三號ノ事業ノ共同經營ト云フヤウナ
方法デ、第二次ノ手段ヲ用ヒテ、成ベク
第一號ノ調整法ニ近似シタヤウナ方法ヲ執
ルコトモ出來ヨウ、斯様ニ考ヘテ居ル次第
デアリマス、大臣ノ御答辯モ其意味ダツタ
ト思ヒマス

○松永委員 先程申上ゲマシタ裁定ノ效力
ガ債權ノ效果ヲ發生スルノミデアツテ、物權
ノ效果ヲ發生シナイ、斯ウ云フ御答辯ニ、
更ニ私ノ御尋致シマシタ所ノ、ソレナラバ
債權ノ效力ヲ發生スルノミデアツテ、ドウシ
テ裁定ノ效果ヲ擧ゲ得ルカ、其條文規定ハ
何處ニアルカト云フコトヲ御尋シタノデス

○田尻政府委員 裁定ノ效果ハ先程申上ゲ
マシタ通りニ、債權ノ效力ヲ持ツダケデア
リマシテ、ソレニ對シテハ一方ニ於テ制裁
規定ヲ發動スル以外ニハ方法ハナイカト思
ヒマス、或ハ非常ニ不徹底カモ知レマセヌ
ケレドモ、法制ノ立前トシテハ、其程度ニ
止メル外ハ、マア方法ハナイ、斯様ニ考ヘ
テ居リマス

○松永委員 更ニ最後ニ一點ダケ承ツテ置
キタイ、昨日大臣ノ御答辯ニナリマシタ會
社ノ合併又ハ設立ノ勸告ニ應ジナカッタ時
ニ、事業ノ讓受又ハ讓渡ヲサセル、其場合

ニ一體主務大臣ハ甲、乙、例ヘバ二ツアル
場合ニ何レヲ併合会社トシ、何レヲ被併合
會社トナル積リデアルカ、其見方ノ根據
ハ何處カラ出テ來ルカ、ソレヲ御伺シタイ
○田尻政府委員 ソレハ調整ヲ爲サントス
ル區域内ニ於キマスル事業ノ狀態等ニ依ッ
テ、一概ニハ言ヘナイカト存ジマス、主務
大臣ハ十分ニ研究考究ノ上デ、調整委員會
ノ意見ヲ徴シテ決定スルコトニ相成ルノデ
アリマス

○松永委員 更ニ同ジ條項デアリマスカラ
一言ダケ質問サシテ戴キタイ、此市ノ事業
ノ管理又ハ委託、受託、此點ニ付テ承リタ
イ、事業ノ管理、委託、又ハ受託、斯ウ云
フコトニ依ッテ本當ニ調整ノ實ガ擧ゲ得
ルノデアルカ、而シテ現在事業ヲ經營致シ
テ居リマス會社若クハ公法人ガソレニ易々
ト應ジラレルモノデアルカ、非常ナ疑念ヲ
持ツノデアリマス、恐ラクハ此法案全部ヲ
通覽致スト、此法案ノ狙ヒ所ハ主トシテ第
四項ニアルノデハナイカトスラ思ハレル、要
スルニ事業ノ管理ヲ委託スル會社ヲ一ツ作
ル、サウシテ此會社ヲシテ管理セシメ、營業
セシメル、斯ウ云フ風ナコトガ、此法案ノ
狙ヒ所デハナイカトモ考ヘラレルノデアリ
マス、サウ云フ場合ニ、是マデ營業シテ居ッ

タ即チ實權ヲ持ッテ居ッタ會社若クハ法人ト、
新ニ設立セラレル所ノ所謂受託者デス、其
受託者ト委託者ノ間ニ利益ノ配當、營業ノ
實勢等ニ付テ相當問題ガ伴フノデハナイカ
ト思フ、ト申シマスノハ、受託者ノ方ハ、
成程初メ受託ヲ致シマス時ニハ、利益ガアッ
タラ、幾ラノ委託者ニ對シテ渡スト云フ
約束ヲシマセウ、所ガ經營ヲ實際ニスル
ニ當リマシテハ、其委託者ノ方デハ、モウ
少シ上ル筈ダト云フ色眼鏡ヲ持ッテ居ル、受
託者ノ方デハ何デモサウ自分ノ方ニ直接影
響ガアルノデハナイカラ、自分ノ營業ノ利
益サヘ擧ゲレバ宜イノダト云フヤウナ頭デ、
要スルニ人ノ揮デ相撲ヲ取ッテ居ル譯デア
リマスカラ、完全ナル働キハ出來ナイと思
ヒマスガ、サウ云フ點ニ對スル見透シハ如
何デアリマスカ

○田尻政府委員 御答致シマスガ、只今御
述ベニナリマシタ第四號ヲ本法案ハ主眼ト
シテ居ル譯デモ何デモアリマセヌノデ、調
整ヲ行ハレントスル地區ノ事情ニ依ッテ、極
メテ低度ノ調整カラ極メテ高度ノ調整マデ
其事情ニ適合スルヤウニ按排適用致スコト
ニナルト思ヒマス

○松永委員 私ハ此第二條並ニ第十二條ノ
關聯問題ニ付テ、マダ澤山ノ疑問ヲ包藏シ

テ居ル者デゴザイマス、併ナガラ私ハ關聯
事項ニ對スル質問トシテ御許ヲ受ケテ質問
ヲシタ次第デアリマスルカラ、後日更ニ質
問スルコトヲ御許シ下サルト云フコトヲ條
件トシテ、此程度デ留保致シテ置キマス

○紅露委員 堤君カラ大分御叱ヲ受ケマシ
タカラ簡單ニヤリマス、マア御心配ニナラヌ
デモ十二條ホカナイノデゴザイマスカラ、
此十二箇條ノ中、二條ハ濟ンデ居リマス、十
二條ハ濟ンデ居リマス、八條モモウ質問ハ
濟ンデ居リマス、私ハ今マデノ皆サンノ質問
ト絕對ニ重複ヲ避ケマスカラ、サウ御心配
ニナラスデ宜イト思ヒマス、ソレカラ「實
施ヲ勸告シ」トアリマスガ、勸告ハ事實行
爲ト解釋シテ宜シイノデゴザイマスカ

○鈴木政府委員 吾々ハ勸告ノ斡旋のナ行
爲ダト考ヘマス、一ツノ行政行爲ニ屬スル
モノダト考ヘマス

○紅露委員 サウ致シマス、勸告ニ違反
シテモ十二條ノ處罰ハ受ケナイモノト解釋
シテ宜シウゴザイマス、ソレカラドン
急ギマスガ「第二號乃至第八號ノ事項
ノ實施ヲ命ズベシ」ト云フノデアリマスガ、
此命令ハヤハリ一ツノ行政處分ナリト見テ
宜シウゴザイマスカ

○鈴木政府委員 左様ニ考ヘテ居リマス

〔委員長退席、佐藤委員長代理著席〕

○紅露委員 ソレカラ尙ホ此十二條ニ關聯シテ御伺シタイノデスガ、寧ロ十二條ノ所定ト別個ノ命令ヲシイノデゴザイマシテ、之ニ對シテ行政訴訟ヲ許スカ許サヌカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラ裁定ノ效果ハ全ク債權的效果ガアツテ、物權的效果ガナイノダト云フコト、裁定ノ法律上ノ性質モ分リマシタガ内容ト申シマスガ、何ト申シマスカ效果ノ發生時期ハドウ云フヤウニナルノデゴザイマスガ

○鈴木政府委員 裁定ハ其裁定シタ時ニ於テ内容ハ決ルノデゴザイマスガ、效果ハ裁定ノ通知ヲ出シタ時ダト考ヘテ居リマス

○紅露委員 一寸分リ兼ネマスガ……

○鈴木政府委員 裁定ノ效力ノ發生期ヲ明示シテ處分スルノデアリマス

○紅露委員 サウ致シマス何月何日マデニ協定スベシトカ何トカ云フコトニナルノデスカ

○田尻政府委員 協定ハ第三條ノ第二項ニ書イテアルヤウニ、主務大臣ガ協定スル期間ヲ指定スル譯デス、ソレカラ裁定ニ付テハ、裁定ノ效力發生ハ、時期ヲ通知狀ニ依ツテ明示スルト云フ時ニアリマス

○紅露委員 裁定ト云フノハ大臣ガ裁定スル行政處分デゴザイマセウ、其裁定ノ内容ニ付テ何時マデ協定シロトカ何トカ云フコトハソレハ別デスケレドモ、裁定ト云フ行政處分ノ效力ハ何時發生スルノカト云フノデス

○田尻政府委員 裁定ハ最後ノ手段デゴザイマシテ、此裁定ノ效力發生ノ時期ヲ當事者ニ通知スルコトニ依ツテハッキリ分ルノデアリマス

○紅露委員 サウスルト到達主義デゴザイマスネ

○鈴木政府委員 先程私ガ申上ゲマシタヤウニ、裁定ハ裁定ノ日ヲ明記シマシテ、發送シタル日ヲ以テ效力ヲ生ズル發言主義デアリマス

○紅露委員 ソレデ二條ハモウソナコトデ宜シウゴザイマス、此實施ト云フノハドウモ一寸分ラナイノデスガ、是ハヤハリ作爲、不作爲ヲ命ズルノダ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ居リマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスガ

○鈴木政府委員 サウデゴザイマス、所謂法律行爲デヤハリ契約ヲ結ブ、作爲或ハ不作爲ノ場合ノモアリマスガ、ソレヲ命ズルコトデアリマス

○紅露委員 第三條ニ進ミマシテ——是ハ殆ド問題アリマセスガ、此協定ト云フノハ結局協議決定、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○鈴木政府委員 大體サウ御答下サツテ結構デアリマス

○紅露委員 第四條ニ移リマシテ、此「交通事業調整委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、是ハ私ノ方カラ——此勅令ヲ以テ御定メニナル組織トカ員數、權限、内容、斯ウ云フモノハ何時ノ委員會デモ、小運送ノ時デモ、遞信省ノ航路統制法ノ時デモ、百貨店ノ時デモ皆政府カラ御示願ッテ居リマスカラ、是ハ早速御決リニナツタモノガアリマシタナラバ、御示ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、御示願ヘマセウカ

○勝田政府委員 大體ノ腹案ハアルノデゴザイマスガ、マダ未定ノ部分モ相當アリマスノデ、此委員會ガ濟ミマス迄ニ、要綱ヲ差上ゲルコトガ出來ルカドウカニ付テハ、一應事務ノ方ト相談シテ見タイト思ヒマス

○紅露委員 御尤ト思ヒマス、色々御協議モゴザイマセウカラ、若シ御示願ヘルナラバ、御決リニナツタ分ダケデモ結構デゴザイマスカラ、御示願ヒタイト思ヒマス、何レソレヲ見セテ戴キマシテカラ、御協議シタ

リ御質問申上ゲタイト思ヒマス、ソレカラ第五條、是ハ昨日大體聞キマシタカラ略シマス、第六條ニ飛ビマシテ、此「勅令ニ依リ指定スルモノ」ト云フノハ、是ノ一體ドウ云フコトニナルノデゴザイマスガ、具體的ニ例ヲ擧ゲテ戴イタ方ガ一番早分リト思フノデアリマス

○鈴木政府委員 其調整セラレタ區域内ニ於キマスル一般ニ利用セラレテ居ル主ナル鐵道ガ、或ハ合併ナリ或ハ設立ナリ、或ハ共同經營ニナツタリシテ包括セラレタ其主要ナル會社ヲ勅令デ指定シヨウト斯ウ考テ居ルノデアリマス、所謂名前ヲ擧ゲマシテ……

○紅露委員 ソレカラ六條モソレデ結構、七條モ疑問ガナイト思ヒマス、八條モアリマセヌ、九條ハ一寸アリマスガ、其前ニ今思出シマシタカラモウ一遍一寸一條ニ戻リマスガ、先程御答辯モナカッタヤウデゴザイマスガ、附帶事業ト依存關係ノアルモノハ連レテ行クノダ、唯此法律デ調整出來ルノダト云フヤウナ御解釋ダケデアリマシタガ、ドウモソレハ先程ノ交通事業ノ意義カラ考ヘマスト、此一條ダケデハ、當事者ガ其協定ニ應ズレバ宜シウゴザイマスガ、裁定デモスルト云フ場合ニハモウ一ツ條文

ヲ設ケスト此一條ダケデハ、少クトモ先程政府委員ノ御説明ダケデハ、當事者ガ反對シタ場合ニ、附帶事業ハ統制ガ出來ナイヤウニ考ヘルノデアリマスガ、御解釋ハソレデ宜シイノカ、若シソレデモ出來ルノダト云フナラバドノ條文デ行クノカ、一ツ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 大體吾々ハ此條文ノ中デ、今マデノ地方鐵道ノ場合ニ於キマシテモ、附帶の事業ハ地方鐵道ノ事業ノ中ニ含マレテ居ルト解釋シテ居リマスノデ、差支ナイト考ヘテ居リマス

○紅露委員 サウスルト地方鐵道ノ第何條デソシナコトガ出來ルノデゴザイマスカ、一ツ御示ヲ願ヒタイノデスガ、此處ハハッキリシテ置ク必要ガアル、先程堤君ニ大分オ叱リテ受ケテ、忘レテシマツテ、先ヘ飛ンデ行ツテシマッタノデスガ(笑聲)ドウモ私ノ考デハ出來ナイヤウニ思フノデゴザイマス、地方鐵道ナラバ鐵道法ダケデ結構デゴザイマス、私モ一ツ研究シテ見マスカラ――

○鈴木政府委員 地方鐵道法ノ第三十條ニ依ッテ政府ガ買收スル場合ニ於キマシテ、其附帶の事業ハ地方鐵道ノ中ニ含マレテ居ルトシテ、是ハ慣例デ取扱ッテ居リマス

○紅露委員 サウシマス地方鐵道事業、

軌道事業、自動車運輸事業ヲ言フト云フ意味デ、準用ト云フ文字ヲ書カヌデモ宜シウゴザイマスカ

○鈴木政府委員 吾々ハ結構ダト考ヘテ居リマス

○紅露委員 ソレカラモウ一ツ一條デ一寸伺ッテ置キタイノハ、昨日モドナタカ一寸觸レタヤウデシタガ、ハッキリシナカタヤウデアリマスガ、大臣ガ國有鐵道法ニ別ニ規定ガナイノニ省線電車モ此事業法ニ參加サセルノダ、又單線及ビ軍事上必要ノナイ路線ハ之ニ參加シテモ宜イノダト云フコトヲ言ッテ居ラレタヤウデスガ、別ニ國有鐵道法ニモソシナ規定モ無イシ、此條文ニモ無イノデスガ、唯大臣ノ權限ダケデ出來ルト云フ御解釋デゴザイマスカ、ソレトモ私共分リマセヌガ、何カ國有鐵道法ニ條文ガアリマシタラ、御示ヲ願ヘマスレバ、私モ研究シテ見タイト思ッテ居リマス

○田尻政府委員 國有鐵道ヲ此調整ニ參加セシメル場合ハ、鐵道大臣ノ權限内ニ於テ出來ルト解釋致シテ居ル譯デアリマス

○紅露委員 ソレハ官制ノ上カラデアリマスカ、ソレトモ何カ國有鐵道法ニ條文ガアルノデゴザイマスカ

○田尻政府委員 ソレハ積極的ニサウ云フ

規定ハ設ケテアリマセスケレドモ、國有鐵道法ニ抵觸シナイ範圍ニ於テハ出來ルモノダト解釋致シテ居リマス

○紅露委員 官制ニモ依ルノデナク、國有鐵道法ニモ規定ガナクテ、國家ノ財産ヲ勝手ニ處分ガ出來ルト云フノハ、一寸受取レナイノデスガ、其根據サヘ示シテ戴ケレバ宜シイノデス、國有鐵道法――詰リ私設鐵道ヲ國家ガ買收スルノデサヘモ、國有鐵道法ニ規定ガアッテデナケレバ出來ヌ、國有鐵道法ニ規定モナイ、官制ニモ定メテナイノニ、公共上必要ダカラト云フノデヤッテ行ケルト云フコトハ、私ハイカスト思フノデスガ、其條文トカ何トカ、マア兎ニ角其法の根據ヲ御示願ヘレバ私モ研究シテ見タイト思ヒマス

○田尻政府委員 ソレハ國有鐵道ガ參加スルト致シマシテモ、參加ノ方法ガ色々アリマスノデ、現行法ヲ改正シナケレバナラヌモノモアリマスシ、又極ク輕度ノ調整デアレバ、現在ノ儘デモ宜イト解釋シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○淺沼委員 昨日大臣ノ答辯ヲ聽イテ居タ所ガ積極的ニ參加スルト云フ御答辯デ、今田尻サンノ言ハレタヤウナ非常ニ消極的ナ意味デ、統制ニハ色々統制ガアッテ、サ

ウシテ統制ノ中デモドウ云フヤウナ統制ノ方法デ參加スルカ分ラヌト云フコトニナルト、昨日ノ大臣ノ答辯ハ非常ニ薄弱ナヤウニ聞エルノデアリマス、殊ニ東京方面ニ於ケル統制ノ問題ヲ考ヘル場合ニ於テ、山ノ手線ヲ度外視シテ統制ノ問題ヲ考ヘテ見テモ、是ハ本當ノ統制ニナラヌト思ヒマス、現ニ御茶ノ水兩國間ヲ繋グ省線ガ色々意味デ出來タノデアリマセウガ、アレガ出來タ爲ニ東京市ノ受ケル被害ト云フモノハ、最近平均一年百万圓位デアルト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、此事ニ付テハ東京市ノ方カラ五十万圓位鐵道省ノ方デ補償シテ呉レスカト云フコトヲ、鐵道省ノ方ニモ東京市ノ豫算ノ上ニ組ンデ申出タコトガアルト思ヒマス、隨テ其點ガ非常ニ明確ニナラナイト、此統制ヲヤル場合ニ於テモ、統制ト云フコトガ本當ノ意味ノ統制ニナラナイ、非常ニ稀薄ナモノニナッテ來ルト思フ、先程カラ色々質問ヲ聽イテ居リマス、案自體ガ非常ニ頼リナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ無イヨリモ有ツタ方ガ宜イノデアリマシテ、複雑ナモノヲ簡單ニシテ行クト云フコトハ結構デアリマシテ、必シモ是ハ反對スルノデハアリマセヌガ、ヤハリ統制ノ對象ト云フモノハ明白ニ――昨日ハ積

極的ニ參加サレト言ツノデア、此意味ト今ノ意味トハ大分違ヒマスカラ、言フカラニハ法の根據ガナケレバナラスト思ヒマス

○田尻政府委員 大臣ガ積極的ニ參加スルト申サレマシタノハ……

〔佐藤委員長代理退席、委員長著席〕

國有鐵道ト致シマシテハ、ヤハリ法律規定ノ下ニ管理サレテ居ル譯デアリマスカラ、其法律規定ノ範圍内ニ於テ、調整ノ必要ニ應ジテ積極的ニ參加スルト云フ意味ニ答辯サレタモノト、解釋致スノデアリマシテ、或ハ此法案ハ此儘ニシテ置イテ、サウシテ國有鐵道關係ノ法律ヲ更ニ改正シテ、サウシテ參加スルト云フ必要モ起ツテ來ルカト思ヒマス

○淺沼委員 サウスルト法律ノ範圍内ト云フト、今當局ノ方デ分ツテ居ル法律ノ範圍内ト云フノハドウ云フ程度デスカ

○鈴木政府委員 詰リ國有鐵道ガ參加致シマスノハ、國有鐵道ガ今調整ヲシヨウト云フ考ヲ持ツテ居ルカラニハ、其調整ガ完成スルヤウニ、出來ルダケ骨ヲ折ツテ國有鐵道ガ現在ノ法規ニ於テ許サレタ範圍内ニ於テ出テ行ク、ソレデ誠意ヲ以テヤツテ行クト云フコトヲ大臣ハ申サレタノデアラウト思フノデアリマス、サウ致シマシテ、ソレデヤド

ウ云フ範圍デ入ッテ行クカト云フコトナノデゴザイマスガ、所謂國有鐵道ノ財産ヲ提供スルトカ何トカト云フコトハ、今ノ國有財産法ガアリマスカラ、若シサウ云フヤウナ必要ガアルト云フナラバ、其財産法ト云フモノヲ變ヘナケレバナラスト思ヒマスルガ、吾々ノ考デハ、山手線ニ於キマシテモ、現行ノ法規ニ於テ參加致シマシテ、其目的ヲ達スル方法ガ幾ラデモアリ得ルト考ヘテ居リマス、少シ専門ニ互リマシテ、失禮カモ存ジマセヌガ、山手線ガ市内交通ヲヤツテ居リマスルコトハ、十分皆様ノ御承知ノ通リデアリマス、又東京市ノ市内交通ノ完成スル上ニ於テ、山手線ガ重要ナル要素ダト云フコトハ、吾々モ皆様ト同意見ナノデ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、吾々ハ出來ルダケ參加シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、山手線ハ又一方ニ於キマシテ、所謂幹線ノ役目ヲ可ナリシテ居ルノデアリマス、殊ニ御考ヘ下レバ、分ルヤウニ、上野或ハ東京或ハ新宿ト云フ驛ヲ御考下サレバ、長距離列車其他ニ於テ、可ナリ錯綜シテ居ル、サウ云フヤウナ長距離ノ列車ニ妨ゲナイ範圍ニ於テ、吾々ハ幾ラデモ、此東京市内ノ交通ノ運輸調整ヲ完カラシムル方法ガ出來ルト思フ、サウ云フ意味ニ於テ大臣ハキツト參加ス

ルト仰シヤツノデアラウト思ヒマス

○淺沼委員 例ヘバドウ云フ方法カ、具體的ニ示シテ貰ヒタイ

○鈴木政府委員 具體的ニ申セト言ハレマシテモ、ソレハ東京ノ交通調整ヲドウスルカト云フコトニ依ツデモ、決ルノデアリマスカラ、例ヘバ今具體的ニドウ云フ方法ガアリ得ルカト言ハレマシテモ、或ハ運賃「プー

ル」モアリマセウシ、或ハ色々契約ニ依ツテモヤラレマセウシ、可ナリ私ハ目的ヲ達スル方法ガアリ得ルト思ヒマス

○清水委員 關聯シテ許シテ戴キタイ、其質問ハ私が最初ニ致シマシタ

○星島委員長 許シマス——清水君

○清水委員 サウ云フ答辯ガアルカモ知レスト豫期シテ一番最初ニ大臣ニ其質問ヲシタノデアリマス、ソレデ大臣ガ參加スルト言ハレタ、私ハ昨日モ東京ニ付テ言フナラバ、大體市有ヲ理想トシテ、經營ハ民有トシタ方が大體私個人ノ意見トシテハ、ソレガ一番宜イト思フ、サウ云フ場合ニハ、山手線ヲ拂下ゲナケレバナラス、其時ノ大臣ノ答辯トシテハ、場合ニ依ツテハ、民有國營デモ宜シイシ、又民有民營デモ宜シイ、斯ウ云フコト迄答辯シテ居ルノデ、其意味ハ拂下シテモ宜シイト云フコトヲ答辯シテ居ラマ

ル、ソレナラバ、ナゼオ前其時ニ法律論ヲ突込

マナカツカト言ハレルカモ知レマセヌガ、大臣ニ法律論ヲ突込んで行クト、他ノ答辯

ノ邪魔ニナル、ソレヲヤルト昨日一日位掛ル、初メカラ此法律案ニ一番希望スル點ハソレ

デア、ソレデハ何ニモナラス、胡麻化シデア

ル、サウ云フ勸告デ利クナラバ、何モ問題ハ

無い、一大決心ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ、昨日大臣ニモ尋ネタラ一大決心ヲ持ツテ居

ルト言ハレル、一大決心ヲ持ツテ居ルト云ヘ

バ、國有モ拂下ゲルト云フ場合モ想像シナ

ケレバナラス、サウシナケレバ、本當ニ調

整ガ取レルモノデハナイ、ソコデ追ツテ參加

スルト云フ法律案ヲ出スト私ハ解釋シテ居

ルガ、若シソレガ違フナラバ、大臣ニ來テ

貫ツテ答辯シテ戴キタイ、ソレデナケレバ、

私共ハ此案ニ納得出來ナイ

○田尻政府委員 只今昨日ノ大臣ノ御答辯

ニ付テ更ニ御質疑ガアリマシタガ、先程モ大

臣ノ昨日ノ御答辯ニ付テ私共ノ解釋シテ居

ル所ヲ申上ゲマシタ、東京市内或ハ大阪市

内ヲ調整區域トシテ調整スルニ付テハ、色々

ノ方法ガ考ヘラレマスノデ、ソレニ付テ

ハ全ク鐵道省トシテハ、其區域ニ最モ適應

ヲシテ調整ノ實效ヲ擧ゲ得ルヤウニ考究ス

ルト云フコトデアリマシテ、其場合ニ鐵道

省ノ参加ヲ必要トスルコトニ相成リマスレバ、無論鐵道省モ参加スル、其参加ノ程度ハ茲ニ掲ゲテアルヤウナモノデアルト思ヒマスガ、ソレニ付テハ現在ノ儘デ行ケルモノモアリマスシ、更ニ別ニ法律ヲ改正スルトカ云フヤウナ方法ヲ以テ参加シナケレバナラヌ場合モアルト思フノデアリマテ、大臣ガ積極的ニ必要ナ場合ニハ参加スルト言ハレタコトニ付テハ、先程カラノ私共ノ答辯ト格別矛盾ハシテ居ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○道家委員 關聯シテ質問致シタイ——私今途中ニ參リマシタノデ能ク拜聽シマセヌデシタガ、此東京市ノ交通ニ最モ重要ナルモノハ統制デアルト思フ、統制ニ必要ナコトハ省線ガ此統制ニ参加スルト云フコトデ、第二條ノ四以下ノ事業管理ノ委託、又ハ受託、斯ウ云フヤウナコトデ、本當ニ他ノ會社ト同ジヤウニ参加ヲセザレト云フコトガ最モ根本問題ト思フ、又從來省線ガアル爲ニ、露骨ニ言ヒマス、隨分制限ヲサレタ、市ガ賃銀ノ改正ヲスルニシマシテモ、路線ノコトニシマシテモ、亦今ノ地下鐵道ナドモ市ト鐵道省トノ眞中ニ入ッテ、工事ノコトニ付テモ色々困ッテ居ル、東京市カラハ御茶ノ水マデ乗入レタ場合ニモ補償ヲ

シテ呉レト云フヤウナコト迄言ッテ居ルヤウナ譯デ、市ノ交通經濟ハ省線ト非常ナ密接ナ關係ヲ持ッテ居ル、一面カラ言ヘバ震災ノ爲ニ非常ナ負債モ出來タガ、一面カラ言ヘバ省線ノ發達ト云フコトニ依ッテ東京市ノ交通ハ非常ナ影響ヲ受ケテ居ル、併シ是ハ幾ラ影響ヲ受ケテモ、市民ノ爲ニナルナラバ洵ニ結構ナコトデ、忍ブベキ事デアルト思フ、所ガ統制ガ取レテ居ラナイガ爲ニ、市民モ隨分不便ヲ感ジテ居ルト思フ、隨分不合理ナ點モ澤山アルト思フ、ソコデドウシテモ他ノ會社若クハ市ト同様ニ、此統制ノ中ニ改正スベキモノハ改正ヲシテ入ラレルコトヲ希望スルノデスガ、ソレハ同等ノ「ウエート」、重サヲ以テ参加ナルト云フ御決意ガアリマスカ、モウ一遍ハッキリ承リタイ

○田尻政府委員 調整ニ付テ東京ヲ例ニ取ッテ御話ニナリマシタガ、東京デ調整スルニ致シマシテモ、ドウ云フ風ナ方法デ調整スルカ、企業形態ヲドコニ持ッテ行クカ、企業主體ヲドコニ持ッテ行クカ、色々御意見等ガアルト思フノデアリマシテ、鐵道省ト致シマシテ参加スルト致シマスレバ、最モ東京市ノ交通事業調整ノ目的ヲ達スルノニ適應致シマスルヤウニ、而モ國有鐵道ノ使命

等ニ抵觸シナイ限り適當ナ方法ヲ以テ参加スル積リデゴザイマス

○道家委員 適當ナ程度ト言ヒマス、單ニ運賃トカ或ハ連絡トカ云フ程度デ御参加ニナルノデスカ、他ノ企業ト同ジヤウナ程度ニ於テ、總テノ從來ノ色々法規其他モ改正シテ御参加ニナル御決意デセウカ、私ハドウシテモ此鐵道省ノ省線ト云フモノハ、大東京ニナッテ來レバ益、東京ノ交通統制ト云フモノニ付テハ重キヲ爲ス、寧ロソレガ半分デアッテ、後ノ半分ノモノハ他ノ會社其他ノ合同シタモノデアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、モウ一遍承リタイ

○田尻政府委員 省線ガ参加スルト致シマシテ、其参加ノ程度ニ付キマシテハ、只今何モ腹案ヲ持ッテ居リマセヌ、調整ノ工合如何ニ依ッテ決定サレルコトト思ヒマス

○道家委員 サウ云フ漠タル御考デ此案ガ出來タトスレバ、ドウモ不可解ナンデス、省線ハドウ云フ程度デ参加シテサウシテドウスル、市電ハ如何ナル程度ノ参加デアアル、サウシテ何處ニ主體ヲ置クカト云フヤウナ案ガナケレバ、斯ウ云フ法律ハ出來ナイ、極端ニ申上ダレバ、唯眞似ラシテ條文ダケヲ御拵ヘニナル、サウ解釋スルヨリ外ニナイト思フ、腹案ト云フモノガナケレバ、斯

ウ云フ法律ハ私ニハ出來ナイト思フ、又此法律ダケヲ見マシテモ、是ハ殆ド批判ノ餘地ハナイ、何處ニ主體ヲ置クカ、會社ガヤルト云フ外何モナイ、而モ、此第二條ヲ見ルト非常ナ廣範圍ナモノガアッテ、サウシテ十分ナ腹案ガナケレバ、市トノ權限ノ問題デ「トラブル」ヲ起ス、服サナケレバ此法規デ處分ヲスル、斯ウ云フヤウナコトデスカラ、非常ナ是ハ「トラブル」ヲ起スモノデアルノデ、ドウモ其點ガ理解サレナイノデスガ、左様ナ漠タル觀念ノ下ニ是ハ御制定ニナツモノト解釋シテ宜シウゴザイマス

○田尻政府委員 政府ト致シマシテハ本案ガ成立致シマスレバ、其成立ノ上デ關係方面ト十分ニ協議ヲ致シマシテ、又各方面ノ意見等モ斟酌致シマシテ、此第二條ノ手續ニ依ッテ決定致スコトニナルノデアリマス

○道家委員 只今ノ御説明ニ依ルト、私ハ或ハ是ハ鐵道省ガ御入リニナッテ主ニナッテオヤリニナルノデアアルガ知ラントモ思ッテナデス、サウデナケレバ市ガ中心ニナッテオヤリニナルノデヤナイカト思ッタ、所ガ法案ヲ見マス、私營會社ガ主ニナルヤウニ思ハレマス、私營會社ガ大分苦シクナツタノデ色々案ガ出デ參リマスガ、サウ云フ風デドウモ能ク分ラナイノデスガ、市ヲ主ト

シテオヤリニナルノデセウカ、會社デセウカ、鐵道省ヲ主タル統制會社ニ爲サルノデセウカ

○田尻政府委員 此法律ハ全國的ニ何處ヘデモ必要ナル場合ニ適用發動サレル法律デアリマシテ、必シモ東京市ダケヲ目的トシテ居ル譯デハナイノデアリマス、更ニ六大都市ダケヲ目的トシテ居ルノデハナイノデアリマシテ、全般的ニ鐵道省ガ參加スル必要ノナイ處モアリマセウシ、或ハ市ヲ主體トシテヤラナケレバナラス場合モアリマセウシ、又會社ノ設立ニ依ッテ調整スルト云フ場合モ出來ルカモ知レナイノデアリマス、一概ニハ申シ難イト思フノデアリマス

○星島委員長 道家君ニ一寸御諒解ヲ得タイノデスガ、昨日來アナタハ御缺席デアリマシタガ、今ノヤウナ點ハ十分論議サレテ居リマスカラ、速記録ヲ御熟讀ノ上、アナタハ關聯事項デ、主タル質問ハ紅露君ニ許サレテ居ルノデアリマスカラ、成ベク簡單ニ御願シタイト思ヒマス

○道家委員 承知致シマシタ、此法案ハ各地ノ狀況ニ依ッテ或ル時ハ市ガ主ニナリ、或ル時ハ會社ガ主ニナルト云フ法案デスカ

○田尻政府委員 其調整ヲ必要トスル地域ノ交通事情ニ依ッテ、調整ノ目的ヲ最モ能ク

達成スルヤウニ致シタイト思フノデアリマスルカラ、地域々々ニ依ッテ自ラ異ルコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマス

○道家委員 サウシマス、交通事業ノヤウナ公益事業ニ對シテ政府ハ何等方針ガナイ、其地域々々ニ於テ或ル時ニハ私會社ヲ中心トシ、或ル時ニハ公營ヲ主トスル、斯ウ云フ風ニ解釋スルト、ドウモ時代ニ逆行スルヤウニ思ハレマスガ、過日モ私ハ電力國家管理ニ對シテ、豫算總會デ首相ニ質問致シマシタ、公益事業ノ瓦斯等ノ供給事業是等ハドウスルカト聽クト市營ガ宜イ思フ、斯ウ云フコトヲ言ハレル、又各國モ交通事業ハ市營デ行キツ、アルガ、市營ヲヤルニハ色々ノ弊害ガアルト云フノデ、ソコデ東京市ダケヲ別ニ御除キニナルノデスカ、全國市營デハ宜クナイカラ皆會社ニスルノカ、政府ノ方針ガハッキリシテ居ナイヤウニ思フ、交通事業ノ如キモノハ公益事業デアツテ、其根本ガ惡ケレバ内務省ガ制度ヲ改正シテ爲サルノガ適當ダト思フガ、其所ト狀況ニ依ッテ御變ヘニナルト云フノデスカ、モウ一遍御答ヲ願ヒマス

○田尻政府委員 交通事業ハ公共性ヲ持ッテ居ルト云フ性質カラ、公營事業トシテ市ニ經營サシタ方ガ宜イノヂヤナイカト云フ

御意見ノヤウデアリマスガ、ソレニ付テハ昨日勝田君ガ御同様ノ質問ニ對シテ御答辯ヲ爲サツテ居ッタヤウデアリマスガ、假令サウデアアルニ致シマシテモ、現在ノ各種ノ實情ト致シマシテハ、市營、民營ノ交通事業、更ニ東京市ノ如キハ省線モソレニ加ハツテ色々錯雜シテ居ッテ、サウシテ今日調整ノ必要ヲ痛感シテ、斯ウ云フ法案モ立案サレタヤウナ次第デアリマスガ、ヤハリ各種ノ交通事業ノ沿革等モアリマシテ、各市同一、各地同一トモ考ヘラレマセス、ヤハリ先程申シマシタヤウナ方針デ進ミタイト思ヒマス

○山田委員 關聯シマシテ一寸御伺致シマス、政府委員ノ答辯ハ、此法案ハ大東京市ヲ中心トシテヤッタモノデハナイノダ、是ハ日本全國到ル所ニ於テ統制ノ必要ガアルカラヤルノダ、斯ウ云フ御説デアリマスガ、裏カラ考ヘテ見ルト、其御説ハ全然嘘ノヤウニ私ハ思フ、日本全國ノ何處ニ一體交通事業ヲ統制シナケレバナラスト云フ極メテ複雑ナル狀況ニ置カレテ居ル都市、場所ガアルカ、今ノ日本ノ交通事業ハ統制ドコロデハナイ、寧ロドン／＼積極的ニヤラネバナラス所ガ多イト私ハ思フ、唯全國ヲ通ジテ見テ、統制ヲセネバナラスト云フ場所等

ヲ考ヘテ見ルト——是ハ事實問題ニナリマスガ、先ヅ六大都市デアリマスケレドモ、大阪アタリハ略軌道ニ乘ッテ參ッテ居ル、其主ナル眼目ハ東京ヲ指イテアルベキモノデハナイ、政務次官ハサウ仰シヤルガ、私ハ全國聯合會長トシテ各方面ヲ實際見、又其實情ヲ見テ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ何ト言ヒマスガ、顧ミテ他ヲ言フヤウナコトデアツテハ、私ハ議事ハ進行シナイト思フ、モット正直ニ答辯シテ貰ッテ、本案提案ノ目的ハ、答ニハサウ言ハレルケレドモ、實ハ大東京デアリ、或ハ大阪デアリ、或ハ其他ノ六大都市デアルト云フコトハ、是ハ常識上考ヘテ分ッテ居ルコトデアル、一體其外ノ都市ニ何處ニ統制ノ必要ガアルカ、アル場所ハナイヂヤアリマセスカ、ソレヲ一ツ承リタイ

ソレカラ十二條ノ發動ノ問題デ、法律上先程カラ色々意見ヲ聽イテ居ルノデスガ、命令ニ服從セザル場合ニ處分スル、是ガ實際出來ルカ出來ナイカト云フコトガ問題ダト私ハ考ヘル、其一番喧シイ問題ハ、事業ノ全部若クハ一部ノ停止ヲヤル、一體交通機關ノ此中ヘ入ッテ來ルモノハ、大抵大キナ交通機關ガ入ッテ參ルト思フ、其大キナ交通機關ガ政府ノ命令ニ服セナイカラ云ウ

テ一部ノ業務ノ停止等ヲヤレバ、是ハ大多數ノ市民ノ足ヲ奪フノデ、重大ナ社會問題ガ起キテ來ル、例ヘバ東京ニ於テモ、東京ノ統制ノ重大ナ範圍ニナルモノハ青「バス」デアリ、高速度デアリ、地下鐵デアリ、東京市電デアリ、東京市ノ「バス」デアル、其他四十數路線デアリマスガ、何レモ茲ニ言フコトヲ聽カナイト云フ場合ニ、其一部ガ停止サレタ場合ニハ、是ハ東京市ノ社會上ニ於ケル重大ナ問題デアル、斯ウ云フコトガ一體出來ルカ出來ナイカト云フナラバ、法律ト云フ問題ヲ離レテ考ヘテ見ル時ニ、私ハ出來ナイト思ヒマス、出來ナイコトヲ、而モ法律上幾多ノ疑點ノアルコトヲ茲ニ出シテ、一體政府ハ確信ノアル仕事ヲ提案シテ審議ニ掛ケテ居ル積リデアルカ、或ハ確信ハナイケレドモマア是デ通シテ行ケバ何トカナルト云フ積リデヤツテ居ルノデアルカ、例ヘバ公益事業ノ本質論ニ於テモ、是ハ法律命令ニ於テ決ツテ居ル、公益事業ト云フモノハ、ソレハ原則トシテ市町村ガヤルト云フコトハ決ツテ居ル、併シ是ハ東京ノヤウニ非常ニ輻湊シテ居ル場所ハ諸般ノ事情ガアルカラ、是ハ市町村デヤルト云フコトノミデハイケナイカト云フノデ、茲ニ本案ヲ提出シタ根本趣旨ハアルノデアルト思フノデアル

ケレドモ、サウ云フ決ツテ居ル所ノ議論ヲ特色ヤツテ居リ、更ニ實行ノ出來ナイコトヲモ實行出來ルヤウナ「カムフラージュ」ヲシテ更ニ全國到ル處ニ之ヲ用ヒルノダト言フニ至ツテハ、是ハ噴飯ニ堪ヘナイコトダト僕ハ思フ、斯ウ云フコトニ付テ卒直ニ委員ノ納得ノ出來ルヤウニ、關聯シテ居ルノデアリマシテ、極メテ簡單デアリマスケレドモ、答辯願ヒタイト思フ

○田尻政府委員 先程ノ私ノ答辯ガ不徹底デアツテ、サウ云フ疑惑ヲ御與ヘシタト云フコトハ洵ニ恐縮デアリマスルガ、私ハ此交通調整ノ立法ヲスルニ付キマシテモ、東京市ナラ東京市、六大都市ナラ六大都市ダケニ限ツタ特殊立法ヲスル方法モアリマセウケレドモ、此法案ハサウ云フ風ナ限定的ナモノデナク、實際今後五年十年先ニ、又六大都市以外ニモ此調整ノ必要ヲ生ズル場所ガナイトモ限リマセヌノデ、サウ云フ場合ニハ全國何處ニデモ發動シ得ルヤウナ立法ノ仕方ヲ致シテ譯デアリマシテ、昨日モ淺沼君ノ御質問ニ御答致シマシタヤウニ、東京ヲヤルノダ、大阪ヲヤルノダト云フコトヲ具體的ニ茲ニ政府ガ決定シテシマツテ居ル譯デハナクテ、サウ云フ六大都市ノ如キハ先ヅ此法律ガ成立シタ場合ニハ最初ニ適

用サレルコトハ豫想サレマスルケレドモ、具體的ニハ關係方面ト能ク協議シテ決定スルコトニナル、斯様ナ趣旨デ申上ゲテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ第十二條ノコトデゴザイマスルガ、今ノヤウニ、例ニ御取リニナツタ事業ノ全部又ハ一部ヲ停止スレバ、一般公衆ニ迷惑ヲ及ボスデハナイカ、サウ云フコトハ事實出來ナイノデハナイカト云フコトデアリマシテ、多クノ場合ニ於テハサウ云フコトニナルカモ知レマセヌガ、此法文ヲ實際適用スル場合ニハ、無論常識的ニ、而モ監督ノ責任ヲ持ツテ居ル主務大臣トシテハ最モ慎重ニ考慮シタ上デヤルコトデゴザイマシテ、必シモ一律ニ法規違反ニ對シテ處分ヲシナケレバナラスト云フモノデハナクテ、處分ヲ爲スコトヲ得ルト云フ權能ヲ與ヘテ居ルダケデゴザイマスカラ、實際ニ於テハ先程勝田政府委員カラ申上ゲマシタヤウニ、實害ハ起ルトハアルマイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ(笑聲)私質問ニ對スル答辯ガ實ハナイノデアリマス——ソレデハモウ一遍、御忘れニナツタラウト思ヒマスカラ繰返シマスガ、實ハ大分先ノ方ニ進行シテ居リマシタノデスガ、思ヒ出シマシテ又一條ヘ逆戻リシマ

シタノデス、チヨビットデスカラ御勘辨願ヒマス、國有鐵道モ參加サセルト云フヤウニ鐵道大臣ガ言ツテ居ラレル、洵ニ結構ナコトダト私モ思フノデスガ、省營「バス」モ參加スルコトハ結構デスガ、唯サウ云フヤウナ省線電車トカ國有鐵道ヲ參加サセルトシタラ、ドウモ私ハ此法律ダケデハイカヌノデハナイカト思フ、若シ是デ行ケルト云フノナラ、モウ一ツ條文ヲ設ケナケレバナラスト思フシ、ソレデナクテモヤレルノダトスレバ、國有鐵道法ニ依ルノカ、何ニ依ルノカ、兎ニ角御説明願ヒタイト云フ質問ヲ申上ゲタノデスガ、田尻次官ノ御話デハ、ソレハ參加スルノダ、參加スルノダガ、今法律ノ根據等ハドウダガ、改正スル場合モアルシ改正シナイ場合モアル、私ハドウモソレハ承服出來ヌト思フ、政府ハ此法案ヲ拵ヘル時ニハサウ云フヤウナ御考ハナカッタ、所ガ段々本會議ヤ委員會デ皆ガ質問シテ居ルノデ、大臣モ決意サレテ、參加シヨウト云フ位ナ御決心ニナツタノダラウト思フ、何トナレバ、若シ本當ニ政府ガ決意シテ國有鐵道中心デ一ツ統制シテヤラウト云フノナラバ、今次官ノ仰セラレル如ク、改正ノ必要アリトスレバ、何ガ故ニ同時ニ御提案ニナラヌノデアリマスガ、改正ノ必要アリト認メナガラ

シタノデス、チヨビットデスカラ御勘辨願ヒマス、國有鐵道モ參加サセルト云フヤウニ鐵道大臣ガ言ツテ居ラレル、洵ニ結構ナコトダト私モ思フノデスガ、省營「バス」モ參加スルコトハ結構デスガ、唯サウ云フヤウナ省線電車トカ國有鐵道ヲ參加サセルトシタラ、ドウモ私ハ此法律ダケデハイカヌノデハナイカト思フ、若シ是デ行ケルト云フノナラ、モウ一ツ條文ヲ設ケナケレバナラスト思フシ、ソレデナクテモヤレルノダトスレバ、國有鐵道法ニ依ルノカ、何ニ依ルノカ、兎ニ角御説明願ヒタイト云フ質問ヲ申上ゲタノデスガ、田尻次官ノ御話デハ、ソレハ參加スルノダ、參加スルノダガ、今法律ノ根據等ハドウダガ、改正スル場合モアルシ改正シナイ場合モアル、私ハドウモソレハ承服出來ヌト思フ、政府ハ此法案ヲ拵ヘル時ニハサウ云フヤウナ御考ハナカッタ、所ガ段々本會議ヤ委員會デ皆ガ質問シテ居ルノデ、大臣モ決意サレテ、參加シヨウト云フ位ナ御決心ニナツタノダラウト思フ、何トナレバ、若シ本當ニ政府ガ決意シテ國有鐵道中心デ一ツ統制シテヤラウト云フノナラバ、今次官ノ仰セラレル如ク、改正ノ必要アリトスレバ、何ガ故ニ同時ニ御提案ニナラヌノデアリマスガ、改正ノ必要アリト認メナガラ

提案モセズ、將來改正スルカモ知レヌ、ソ
ンナ無責任ナコトデ此大キナ劃期的法案ガ
實行出來ルモノデハナイ、私ハ最初カラ言ッ
テ居ル、此法案ハ弱クテ仕方ガナイ、第一

此法案ノ眼目トモ言フベキ會社ノ合併又ハ
設立、事業ノ讓受又ハ讓渡ト云フコトハ事
實出來ハセヌ、政府委員ノ説明ヲ聽イテモ、
改正商法ナラ出來ルカモ知ラヌガ、結局ハ
アナタノ解釋ト同ジダ、ソナ弱イ法案ヲ
出シテ來テ、仕方ガナイと思フ、隨テ政府
ハ此法案ヲ御提案ニナル時分ニハ少クトモ
ソレハ參加シテ宜イ位ナ御考ハアツタカモ
知ラヌケレドモ、今次官ノ御聲明ノ如クニ、

國有鐵道法ヲ改正シ又其他關係法ヲ改正シ
テマデ一ツ國家ガ乘出シテヤラウト云フヤ
ウナ御意思ハナカッタト私ハ思フノデスガ、
ソレナラソレデモ宜シイノデス、法案立案
當時ニハサウ云フヤウナ御考デアツタガ、委
員會ノ空氣ヲ見、色々論議檢討シテ居ル中
ニ、是ハヤッタ方ガ宜イト大臣ガ決心サレ
タカラ宜シイ、私ノ質問ノ本論ニ歸リマシ
テ、サウ云フ點ヲ、一體改正ノ要ガアルト
言フノダッタラ、ドウ云フ點ガ一體改正シナ
ケレバナラヌノカ、改正シナクトモ出來ル
ト云フノナラドウ云フ點ガ出來ルノカ、大
體ソレガ伺ヘレバ政府ノ決意ガ奈邊ニアル

カト云フコトヲ伺ヒタイト云フコトヲ申上
ゲテ居ル中ニ關聯質問ニナツタノデアリマス
ガ、一ツハッキリシテ御答辯ヲ願ヒタイ

○鈴木政府委員 現在ニ於キマシテモ例ヘ
バ管理ノ委託ノヤウナ場合ハ鐵道省デヤル
所ガアルと思フノデアリマス、ソレデアリ
マスルカラ第一條ノ第一項ノ第一號カラ第
八號マデ全部出來ルカト仰シヤレバ、中
中現行法規デ困難ナ所モアリマスケレドモ、
所謂調整ノ目的ヲ達スル上ニ十分役立テル
ヤウナコトガ現在ノ法規ニ於テモ出來ルト
云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス

○紅露委員 ソレデスカラ、改正シナケレ
バナラスト次官ガ御言明ニナツタノダカラ、
改正ヲ要スル法律ハ何處カ、改正シナケレ
バ國有鐵道、省營「バス」其他ノモノガ參加出
來ナイト仰シヤルノダカラ、ソレハ何處カト
言フノデス、ソレカラ現在ノ法律デモ出來
ルト云フノダカラソレナラ其法律の根據ヲ
示シテ戴キタイト言フノデアリマス、法文ノ
根據サヘ仰シヤッテ、戴ケバモウ一言デ分ル
ノデス

○鈴木政府委員 若シ今鐵道省ノ幹線ヲ入
レル場合ニ於キマシテハ國有鐵道法ノ第一
條ヲ改正シナケレバナラスト思フノデアリ
マス

○紅露委員 幹線ハ御入レニナラスト云フ
コトヲ大臣ハ本會議デモ、コチラデモ言ッテ
居ラレマスカラ、其御説明ニハ及ビマセヌ、
幹線及ビ軍事上必要ダと思フモノハ入レヌ
方針ダト仰シヤッテ居リマスカラ、其點ノ御
説明ニハ及バナインデアリマス

○鈴木政府委員 地方鐵道ト幹線ノ區別ナ
ノデゴザイマスルガ、所謂地方ノ運輸ヲ目
的トシテ居ルヤウニ見エルモノモ、國有鐵
道ニ於キマシテハ可ナリ幹線的ナコトヲ
ヤッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマス
カラ一部デハ是ハ地方鐵道ダト御考ヘ下サ
イマシテモ幹線鐵道ノ場合ガ非常ニ多イ、
サウ云フ場合ニ於キマシテハ國有鐵道法ノ
一條ヲ改正シナケレバナラスト考ヘルノデ
アリマス、サウ云フ譯デスガ、併ナガラ紅
露サンモ仰シヤッテ居ラレマスガ、例ヘバ
運輸上設備ノ變更デストカ、或ハ運賃又ハ
料金ノ制定、或ハ委託管理等ト云フモノ、
サウ云フモノハ出來ルノデゴザイマシテ、
サウ云フコトデ以テ吾々ハ能ク調整ノ目的
ヲ達スル、十分ナ效果ノ舉ル方法ガアリ得
ル、又爲シ得ルモノダト考ヘテ居ルノデア
リマス

○紅露委員 方法ヲ伺ッテ居ルノデハナイ
ノデアリマス、第何條ヲ改正シナケレバナ

ラヌノカ、今アナタガ仰シヤラヌデモ地方
鐵道法、或ハ軌道法、ソナモノヲ讀ンデ
見レバ現在ノ地方鐵道法、或ハ軌道法デモ、
或ハ自動車交通事業法デモ、色々出來ルモ
ノハアリマス、無理ニコシナ法律ヲ作ラス
デモ出來ルノデス、ソナコトヲ伺ッテ居
ルノデハナイノデス、昨日大臣ハ積極的ニ
參加スルノダト言ハレタ、積極的ニ參加ス
ルニハドウシテモ法律ヲ改正シナケレバナ
ラヌ、其法律ヲ改正スルモノハ何處ダ、ト
言ヘバ、次官ノ今仰シヤルニハ、幹線ダ、
幹線ヲ入レルニハ一條ヲ改正シナケレバナ
ラスト仰シヤルケレドモ、本會議デモ委員
會デモ、大臣ハ幹線ハ入レタノダ、又幹線
ニアラズト雖モ軍事上必要ナモノハ入レヌ
ノダ、ソレハハッキリシテ居ルノダカラ其
以外ノ線路ニ違ヒナイ、ダカラ其以外ノ線
路ヲ入レルニ付テハ次官ハ改正ノ必要アリ、
又改正シナクテモ入レラレルモノガアル
ト云フノダカラ、其法的根據、法文第何
條ヲ改正スル必要ガアル、又何法律ノ何條
ヲ改正セヌデモ是ダケノコトハ出來ルノダ
トハッキリ御研究ニナツタモノガアレバ御示
シ願ヒタイシ、又實際此法律ヲ拵ヘル時ハ
ソレ程考ヘテ居ナカッタノダ、是カラヤル
ノダト云フノナラバ、山田君ガ仰シヤル

通りニハッキリ仰シヤッタ方が宜カラウ、ソ
ンナ何モ「カムフラージュ」スル必要ハナ
イ、ハッキリ願ヒタイ

○田尻政府委員 先程私が答辯致シマシタ
コトデ、私ハ鐵道省ガ参加スル場合ニハ必
ズ法律ノ改正ヲ要スルトハッキリ斷言シタ
譯デハナクシテ、此参加ノ方法ニモ色々方
法ガアル、ソレデモノニ依ッテハ現在ノ儘
デ、法律ヲ改正シナイデ参加ノ出來ルモノ
モアラウシ、或ハ法律ノ改正ヲシナケレバ
ナラスモノモアルデアラウト、斯ウ云フコ
トヲ漠然ト申上ゲタ譯デアリマシテ、此方
法ニ付テハ斯ウ云フ法律ノ第何條ヲ斯ウ改
正スルノダト云フマデノ具體的ノ研究ハ致
シテ居リマセヌ

○紅露委員 サウ云フ風ニ研究シテ居ナイ
ノダトハッキリ仰シヤッテ戴ケバモウソレデ
宜シイノデアリマス、法律的ノ研究ハ出來
テ居ナイト承知致シマシタ、ドウカ御研究
ヲ願ヒマシテ、一ツ成ベク國有鐵道、省營
「バス」其他モ参加セラレルヤウニ希望致シ
マス、ソレカラ九條モ殆ド同ジコトダと思
ヒマス

十條デゴザイマスガ、是ハ昨日モ一寸委
員會デ伺ッタノデゴザイマスガ「第二條第一
項第二號ノ讓受ノ價額、同項第三號ノ共同

經營ニ於ケル收得若ハ負擔ノ金額」ト云フ
ヤウナ金額ノ争ガアレバ「裁定ノ通知ヲ受
ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴ス
ルコトヲ得」斯ウアルノデアリマスガ、此
處デ一寸最初ニ伺ッテ置キタイノハ此法案
デ見ルト云フト、先程ハ裁定ノ效力ノ發生
ハ發信主義ダト言ッテ居ラレマシタガ、此處
デハ通知ヲ受ケタル日ダト云フコトニシテア
ルガ、是ハ矛盾シハシマセヌカ

○鈴木政府委員 此問題ハ期間ノ算定デゴ
ザイマスカラシテ、片一方ハ通知ヲ受ケタ
日ヨリト書イテアリマシテモ矛盾ハシテ居
ナイと思ヒマス

○紅露委員 サウ云フ御解釋デゴザイマス
レバソレデ結構デゴザイマス、ソレカラ此
處デ一寸疑問ガ起キマスノハ「二條ニハ」事
業ノ讓受又ハ讓渡」ト書イテアリマシテ、十
條ノ方デハ讓受ケタ人間デナケレバ訴訟ガ
出來ナイヤウニ書イテアルノデスガ、是ハ
兩方出來ルノデゴザイマスガ、出來ルトス
レバ一寸此法文ノ書キ方デハオカシイノデ
ス、ドウ云フヤウニナッテ居リマスカ

○勝田政府委員 是ハ兩方含シデ居ルノデ
アリマシテ、賣買價額ト云フ風ニ御解釋ニ
ナッテ是ハ差支ゴザイマセヌカ

○紅露委員 サウスルト具體的ニ例ヲ舉ゲ

マス、甲ガ讓渡デ乙ガ讓受、讓渡ノ方ハ
百五十万圓デナケレバ賣ラヌ、讓受ノ方ハ
百万圓ナラ買フ、ソレデ金額ニ争ガアッテ裁
定ガ百二十万圓ニナッタト云フ場合ニハ、讓
渡人ノ方ハ百五十万圓デナケレバ賣ラヌト
云フノデスカラ、裁定ガ百二十万圓デアッ
所デソレニ對シテ百五十万圓寄越セト云フ
訴訟ヲ起シテモ宜シイノデスネ

○勝田政府委員 是ハ當事者雙方間ニ於キ
マシテ、雙方ニ不服ガアレバ雙方カラ起セ
ルダラウト思フノデス、兎ニ角不服ノアル
者ガ起セル、斯ウ御解釋ニナッテ差支ナイノ
デアリマス

○紅露委員 今ノヤウナ場合ニ一方ハ百万
圓ナラ買フト云フ、一方ハ百五十万圓デナ
ケレバ賣ラヌト云フ、ソレデ調ハヌカラ裁
定デ百二十万圓ト云フコトニナリマス、サ
ウスルト賣ル方ハ百五十万圓デナケレバ賣
ラヌト決議シテ居ルノニ裁定ガ百二十万圓
デハ困ル、況ヤ買フ方ハ百万圓ト云フノダ
カラ五十万圓ダケ不服ダ、ト言ウテ訴訟ヲ
起シテ宜シイノデスネ

○勝田政府委員 其場合ハ恐ラク雙方ニ不
服ガアルコトニナルト思ヒマス、片一方ハ
百五十万圓デナケレバ賣ラヌ、片一方ハ百
万圓デナケレバ買ハヌ、ソレデ裁定ガ百二

十萬圓ト云フコトニナレバ、恐ラク雙方ニ
不服ガアルト思ヒマス、サウスレバ雙方共
訴訟ヲ起スコトガ出來ル、斯ウ云フコトニ
ナルト思ヒマス

○紅露委員 能ク分リマシタ、サウスルト
十一條ノ方ニ持ッテ行ッテ「裁定ニ基ク讓受
價額ト自己ノ見積價額トノ差額ニ相當スル
金錢ヲ供託スル」ト斯ウアルノデアリマス、
百万圓デナケレバ買ハヌゾ、百五十万圓デ
ナケレバ賣ラヌゾ、裁定ガ百二十万圓ト云
ッタラ、自己ノ見積價額ト讓受價額ノ差額
ダト云フノダカラ、二十万圓供託スレバ宜
シイノデスネ

○勝田政府委員 無論差額ダケデアリマス、
取引ガ例ヘバ百万圓ト申シマシテ、百二十
万圓ト云フコトニナレバ、二十万圓差ガ出
來ルノデアリマスガ、其差額ダケ供託スレ
バ宜イノデアリマス、金額ノ供託ヲ必要ト
シナイノデアリマス

○紅露委員 サウスルト政府デハ百五十万
圓デナケレバ賣ラヌト云フ奴モ相當理由ガ
アルト云フコトデ、訴訟ヲ起サセテ置イテ、
買ハナイ奴ハ値切ル奴ダカラ百万圓ト言ハ
シテ置イテ、サウシテ二十万圓ダケ供託サ
セテ置イテ、アトノ三十万圓ハドウスルノ
デスカ、兎ニ角裁定ノ效力ハ、出訴シタ所

デ、ドン／＼進行シテ行クノダカラ、コッチノ讓受會社ノ者ガ來テ、毎日運賃ヲ取ッテ行クダラウシ、金モ取ッテシマフダラウ、片方ハ金ハドン／＼取ラレルワ、設備ハ皆向フヘ裁定ノ效果ト同時ニ取ラレテシマツテ、サウシテ一方ハタツタ二十萬圓ノ供託ヲシテ訴訟ヲスルノデスカ、ソレハ一寸不公平デハアリマセヌカ

○勝田政府委員 是ハ一方的ノ規定ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ讓受ケタ方ニ對シマシテハ供託ヲ命ジテ居リマセヌガ、讓渡シノ方ハ金ヲ持ッテ行ッテシマフノデアリマスカラ、兎ニ角仕事ヲ止メテシマフ、サウ云フ者ニウツカリ金ヲ持タスト、何處ヘ行ッテシマフカ分リマセヌカラ、差額ダケハ供託シテ拂ハナクテモ宜イ、斯ウ云フ規定ナノデアリマス、讓受ノ方ハアナタノ仰シヤルヤウニ、仕事ヲドン／＼ヤッテ居リマスカラ、供託シテモ大シテ負擔デハナイ、斯ウ云フ所カラ此規定ガ出來テ居ルノデアリマス

○紅露委員 私誤解シテ居リマシタガ、百萬圓ト云フ金ハ拂ハヌデ宜シイノデスカ
○勝田政府委員 百二十萬圓ト賣ル方ガ言ッテ居ル際ニ、裁定ガ百萬圓ト云フコトニナリマスレバ、買方ガ八十萬圓ヲ主張スルト

スレバ、買方ハ八十萬圓ダケ拂ッテ、アト二十萬圓ダケヲ供託スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、賣ル方ガ百二十萬圓ト云ッテ居ルト、二十萬圓ダケハ俺ノ方ニモ供託シテ呉レト言フデアラウガ、ソレハ要ラナイノデアリマス

○紅露委員 サウ云フ意味デハナイノデス、兎ニ角買フト云フノデスカラ、百萬圓ト云フ雙方ノ協定ガ出來テ居ル金ガアリマス、仕事ハフンダクラレル、毎日ノ運賃ハ向フヘ取ラレテシマフ、買ツタ方ハ持ッテ逃ゲルカモ知レナイト云ツテ、其百萬圓ノ金ヲ渡サナイノデスカ

○勝田政府委員 是ハ法文ニ明ニ其差額ト書イテアリマスカラ、是ハ問題ノナイ金ハ渡シテシマフノデアリマス、問題ノアル金ダケニ付テ供託ノ規定ガ働クノデアリマス
○紅露委員 大體分リマシタ、十一條ハ又後デ少シ伺フコトガアリマスカ、十條デ伺ヒタイノハ、私訴ダケヲ許シテ置イテ、ドウシテ行政訴訟ハ裁定ニ對シテ御許シニナラナイノデスカ、一方ハ百萬圓ト云フシ、一方ハ百五十萬圓ト云フ、金額ダケハ此處ヘ現ハレテ居リマスケレドモ、コッチノ路線ハ困ル、是ダケナラ参加スルケレドモ、是ハ困ルトカ、色々附帶事業モ連レテ行ク

ト云フノデスカラ、ソコニ色々ナ摩擦相剋ガ起ルト思ヒマスガ、金額ノ點ダケ私訴ヲ起シテ、外ノ條項ニ對シテハ私訴ヲ許サレヌシ、行政訴訟モ御許シニナツテ居リマセヌガ、其御許シニナラナイ根據ヲ御示シ願ヒタイノデス

○勝田委員 是ハ或ハ議論ガ岐レルカモ知レマセヌガ、金額ニ付テハ公用徴收ノ規定ニハ御承知ノ通り民事訴訟ヲ許シテ居リマス、又公用徴收ノ規定ニハ金額以外ノ決定ニ對シテ行政訴訟ヲ許シテ居リマス、紅露サシノ御質問ハ公用徴收ノ規定ニ行政訴訟、民事訴訟ヲ許シテ居ルノニ、之ニ行政訴訟、民事訴訟ヲ許サナイノハドウ云フ譯デアルカト云フ御質問ダラウト思ヒマスガ、ドウモ金錢以外ノモノニ付テ行政訴訟ヲ許シテ、事案ノ確定ヲ何時マデモハッキリサセスト云フコトデゴザイマスト、今後此仕事ノ經營ヲスル者ハ、又擴張モシナケレバナリマセヌ、色々ナコトヲシナケレバナリマセヌノデ、事態ガハッキリ決マラナイト云フコトハ、仕事ノ上ニ非常ナ不安ヲ與ヘ、デアリマスカラ此路線ハイカヌ、アノ路線ハイカヌト云ツテ、後デ仕事自體ニ變更ヲ加ヘラレルヤウナ判決ガアリマシテハ、不安デ實際ノ仕事ヲスル者ガ仕事ガ出

來ナイ、ダカラ之ヲ金錢ダケニ付テ是ダケノ救済方法ヲ講ズレバ、仕事ノ性質上十分デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、況ヤ交通調整委員會ト云フヤウナ權威ノアル機關ガ、只今仰セニナリマシタコトニ付キマシテ色々心配ヲシテ決メルノデアリマスカラ、ソコ迄不服ノ途ヲ開ク必要ハナイ、併ナガラ金錢ノ決定ニ對シテ迄調整委員會ノ調整ニ服セシムルト云フコトニナツテハ氣ノ毒ダト云フコトカラ、此程度ノ規定ニ致シタノデアリマス

○紅露委員 サウスルト先刻ノアナタノ御説明ト矛盾シテ参リマス、アナタハ十二條ノ時ニ斯ウ云フ反駁の御答辯ガアツタ、此十二條ノ條文ハ他ニ澤山例ガアルデハナイカ、外ニアルノニ、是ダケニ付テ不服ヲ言フナラ、ナゼ外ノモノニ對シテ今マデ不服ヲ言ハナカッタ、此十二條ノ條文ハ外カラ持ッテ來タ罰則デハナイカ、然ルニオ前等委員ノ者ハ、他ノ現存シテ居ル法文ニ對シテハ何等ノ異議ヲ挾マズ、何等ノ疑問ヲ持タズシテ、此條文ニ對シテノミ不服ヲ言フコトハイカヌデハナイカト云フ反駁の御答辯ガアツタ、其アナタノ御答辯ヲ此處ヘ持ッテ來ルナラバ、此法文ニ行政訴訟ヲ許サナイナラバ、ナゼ公用徴收其他ノモノモ行政訴

訟ヤ私訴ヲ許サスト云フコトニ御改正ニナ
ラヌノデスカ、アナタノ仰セノ如ク、事業
ガ進行シナクテ困ル、裁定ノ效果ヲ完全ナ
ラシムルノダト云フ筆法カラ行ケバ、公用
徴收デモ何デモ同ジデス、公用徴收ノ如キ
ハ是ヨリモット必要ヲ感ズルカモ知レナイ、
是以上ニ必要ヲ感ジテ居ル條文ニチヤント
アルノニ、之ニ御許シニナラス、サウスル
トサッキノ御答辯カラ言フト洵ニ矛盾シタ
御答辯ニナル、若シアナタノ持論ヲ玆ニ貫
イテ行クナラバ、私ハ此法案ガ出ルト共
ニ、公用徴收其他ノ總テノ規定ハ、行政訴
訟モ裁判モ許サスト云フヤウニ全部改正シ
ナケレバナラスト思フノデアリマスガ、其
點ハ内務省ハドンナ御見解ヲ持ッテ居ラシ
ヤルノカ、將來サウ云フモノハドシ／＼行
政訴訟モ裁判モ禁ジテシマフノデスカ、其
方針ヲ伺ヒタイ

○勝田政府委員 ソレハ紅露君ト私ト結局
意見ノ相違ニナルカと思ヒマス、從來統制
的ノ規定ニ付キマシテハ、此法律ノ程度ノ
救済ヲ以テ十分デアル、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、公用徴收ノ場合ト此調整法
ノ場合ト自ラ事態ガ違フノデアリマスカラ、
公用徴收ニサウ云フ規定ガアルカラ、之ニ
モサウ云フ規定ヲ置カナケレバナラスト云

フベキモノデハナカラウ、私ガ公用徴收ノ
例ヲ引キマシタノハ、此規定ノ説明ヲ便利
ニスル爲ニ引イタノデアリマシテ、是ガ必シ
モ同様デアルト云フ趣旨デハゴザイマセ
ヌ、ソレカラ十二條ノ説明ヲ致シマス時ニ、
他ニモ斯ウ云フ規定ガアルカラ、之ニアッ
テモ構ハヌデハナイカト云フコトハ、即チ
鐵道關係ノ法規ニ斯ウ云フ規定ガアル、ソ
レガ餘リ濫用サレテ居ラス、斯ウ云フ趣旨
ニ於テ申シマシタノデ、別ニ此規定ハ從來
無カッタ規定デナク、他ニ類似ノ法律ニ相
當アッタ規定デアルカラ、サウ大シテ御心
配ニナラナクテモ宜イデヤナイカ、斯ウ云
フ趣旨デ申上ゲタノデアリマス

○紅露委員 其點ハ結局内務省ノ御見解ト
私ノ見解ノ相違ト云フコトニナリマスカラ、
ソレハソレニシテ置キマスガ、ドウモ私ハ私
訴ヲ許スノニ行政訴訟ヲ許サスト云フコト
ハ一寸オカシイト思フ、此點ハ内務省デモ
一ツ御研究願ッタ方宜クナイカと思フノ
デアリマス、併シ大體其點ハソレデ措キマ
ス、ソレカラ今ノ御説明デ一寸承服出來ナ
イノハ、金額ノ點デ、サウ云フヤウナ事ヲ
心配掛ケルノハ可哀相ダ、外ノ事ハ何ボ心
配掛ケテモ宜イノダト云フヤウナ風ニ受取
レルノデスカ、私ハ金額ナント云フコトハ

サウ大シテ心配スル必要ハナイと思フ、大
抵一方ガ百万圓ト言ヘバ一方ハ百五十萬圓
ト言フ、ソコデ鐵道大臣ナリ主務大臣ナリ
ガ、百二十五萬圓ナラ百二十五萬圓ト言ヘ
バ、世ノ中ノ事ハ大抵ソシナ所デ落著ク、
ソレヨリモ寧ロ外ノ事項ニ付テ私訴ナンカ
許サヌデ、行政訴訟法ヲ許スナリ、何等カ
ノ方法ヲ執ルコトガ當ヲ得タモノデアラ
ウ、サウ云フト結局又見解ノ相違ト云フコ
トニナルカモ知レマセヌガ、金額ノ争ト云
フモノハ私共二十四五年モ辯護士ヲシテ居
リマスガ、大抵ソシナニ差ハナイモノデゴ
ザイマス、所謂傍目八目デ大抵片ガ付ク、
金額ヨリモ寧ロ外ノ點デ争ニナル、是ハ一
ツ根本認識ヲ御變ヘニナッテ戴イテ、他ノ
モノニモ寧ロ私訴ヲ許シテ戴ク方宜クナ
イカ、私共モ私訴ヲ二十年カ扱ッテ居リ
マス體験カラ考ヘマシテ、サウ云フヤウニ
考ヘマス

○勝田政府委員 御答致シマス、色々紅露
君ノ御話ガゴザイマスガ、ヤハリ私等ト致
シマシテハ此程度デ宜イノデハナイカと思
ヒマス、出來ルコトナラバ總テノ事ヲハッキ
リ決メテシマヒタイノデアリマスガ、斯ウ云
フコトハ宜シクナイ、金額ニ付キマシテ斯
ウ云フ規定ヲ設ケマシタノハ、御承知ノ通

リニ此規定ハ第十條ニ書イテアリマス通り
ニ、裁定ノ效力ヲ停止シナイコトニナッテ
居ル、救済ハ救済トシテ裁定ハ效力ヲ停止
シナクトモ、ドン／＼進ンデ行ク、隨デ
買収トカト云フヤウナ仕事ハ、裁判ノ如
何ニ拘ラズ進ンデ行クノデアリマス、金額
ニ付キマシテハ、片方デ仕事ガ進ンデ參リ
マシテモ是ハ金デ解決ガ出來ル問題デアリ
マスカラ、仕事其モノニ大ナル變革ヲ與ヘ
ル、恐怖ヲ與ヘルト云フコトハゴザイマセ
ヌ、併ナガラ其他ノ問題ニ付テ、一々苦情
ヲ言ハヌト云フコトニナルト、執行ヲ停止
スルノモ宜シウゴザイマセウ、或ハ又執行
ヲ停止シテ行政裁判所ノ判決ガ確定シタ後
デ讓渡ラスルトカ、共同經營ラスルトカ云
フコトデアレバ宜シイノデゴザイマスガ、
サウ何時マデモ待ッテハ居ラレナイ、ソコ
デ先ヅ仕事ヲ始めサセナケレバナラス、斯
ウ云フ事ガ肝腎デアリマスカラ、十條ノ規
定ノ停止ノ效力ヲ生ゼシメナイ、斯ウ云フ
コトニシテアリマス、之ヲ御覽下サイマス
ト金ノ方ハ今言ッヤウニ金デ解決ガ出來
ルノデアリマスカラ、仕事ニハ何モ影響ガ
ゴザイマセヌ、唯會社カラ何万ト云フ金ヲ
拂ヘバ済ム、併ナガラソレ以外ノ仕事ノ形
態ヲ判決ノ結果カラ變ヘラレルト云フコト

ニナリマス、總テノ事ガ根柢カラ引續返ッ
テシマフ、二年三年ヤツテ居ッタ仕事ガ收拾
ガ付カナクナル、サウ云フ意味ニ於キマシ
テ救済規定ヲ金額ダケニ限ッタノデアリマ
ス、アトハ公正ナル調停委員會ノ裁決ニ俟
ツ、是ガ寧ロ實際的デハナイカ、斯ウ云フ
所カラ此規定ガ出來テ居ルノデアリマス

○紅露委員 ソレモ意見ノ相違ニナリマス
カラソレ位ニシテ置キマス、ソレカラモウ
一ツ伺ヒタイノデスガ、次官カラモ御話ガ
アリマシタガ、「第二條第二項ノ命令及第三
條第二項ノ裁定ノ效力ハ停止セズ」所ガ是ハ
二條ノモ三條ノモ、ドツチモ同ジ效力ト思
フノデアリマスガ、先程一寸伺ヒマス、
裁定ハ唯債權的效果ヲ生ズルノダ、假リニ
讓渡ガアツテモ、物權的效果ハ、ソレカラ
契約シタリ色々物權行爲ヲヤルノダト云フ
ヤウナコトニ解釋シテ宜シイト思フノデア
リマス、サウスルト斯ウ云フ矛盾ガ出來テ
來ルト思フ、裁定ガアツタ、サウシテ金額
ニ付テハ裁判ガドシ／＼進行シテ居ル、一
方ハ裁定ノ效力ヲ生ゼズト云フノダカラ、
讓渡ヲ命ジタト致シマス、今ノ司法省ノ
説明員ノ話デハ、裁定ト云フノハ唯債權的
效果ダケデオシマヒニナッテ、アトハ全部商
法、民法ノ規定ニ依ッテ行クノダト云フコ

トデナル、サウナルト裁定ノ效力ヲ停止セ
ズト言ッタッテドウ云フコトニナルノデス
カ、債權的效果ダケナラシテ置イテ、アト
ハ民法、商法ノ規定ニ依ッテ行クト云
フコトニナルト、裁定ノ效果ト云フモノハ
洵ニ薄弱ナモノデアアル、私ハ先程カラ喧カ
マシイコトヲ言ッテ居ッテ又矛盾シタヤウナ
質問ヲシマスケレドモ、御解釋ノ如何ニ
依ッテハ十二條ナンカラ發動スル時期ハナ
イノデヤナイカ、ソレトモ裁定ノ效果ハモッ
ト強イノダ、民法、商法ニ違反シテ居ッテ
モ構ハナイノダ、裁定ノ效果——裁定ト云
フ命令ニ反シタノダカラ、ドシ／＼十二條
デヤツテ行ケルノダト云フ御解釋ヲ執レバ
別デスガ、甚ダ失禮ダガ一例ヲ申上ゲマス
レバ、裁定ノ通知ガアツタ、所ガ改正商法
デハ——又改正商法ノコトニナルガ——新
商法デハ株主總會ノ決議ニ反シテハ、重役
ハ何ニモ出來ナイト云フコトニ變ヘタノデ
ス、契約ヲシテ來テ居ル、ソレニ付テモ
ウ外ノモノハ全部認可ヲ與ヘテ、金額ダ
ケノ争ヒダカラト、ピシヤツト裁定シタ、
ドウセ改正商法ハ議會ヲ通リマセウガ、其
實施後ニ重役會ガ反對ノ決議ヲシテシマッ
タラ、是ハ失禮デゴザイマスケレドモ裁定
ノ效力ハ停ッテシマフ、ナゼカト云フト重

役ガソナコトヲヤツタッテ今マデヤツタコ
トハ皆無効デアアル、株主總會ノ決議デ止メ
ラレテシマフ、アナタノ方デハ裁定ノ效力
ヲ停止セズ、此十二條ノ罰則デ處罰スルト
斯ウ行クデセウ、サウスルト冗談言ッチャ
イケナイ、裁判ノ方デサウ言ッタッテ商法ノ
規定ガ改正ニナッテ株主總會ノ決議ガアル
カラ、裁定ニ違反シタッテ商法違反ニハナ
ラナイ、一方命令ニ從ヘバ商法違反ニナ
ル、商法ニ從ヘバ裁定ニ違反スルト云フコ
トニナル、裁定ト云フモノハ債權的效果ダ
ケ發生シテ、物權的效果ガ發生シナイデ仕
事ヲヤレト云ッタッテヤレマセヌヨ

○勝田政府委員 裁定ノ效力ヲ停止セズト
云フコトハ、第十條ノ第二項「前項ノ訴訟
ハ第二條第二項ノ命令及第三條第二項ノ裁
定ノ效力ヲ停止セズ」トアツテ、斯ウ云フ訴
訟ノ起ツタ場合ニ於テモ裁定ノ效力ハ停止
スルモノデハナイ、仕事ハ進メテ行クノ
ダ、斯ウ云フ迄ノコトデゴザイマス

○紅露委員 ソレデ伺ッテ居ルノデハナイ
ノデス、訴訟ガ起ッテサヘモ裁定ノ效力ガド
シ／＼行クノデセウ、訴訟ガ起ラナケレバ
無論問題ハナイデセウ、サウスルト裁定ノ
效果デ、裁定即チ物權的效果ガ生ジテ、サ
ウシテ法律的效果トシテ當然所有權モ何モ

移ッテシマフノハソレハ宜シイ、所ガ政府委
員ノ御説明ニ依ルト、營業讓渡ト同ジデ裁
定ノ效果トシテハ債權的效果ガ生ジナイノ
ダ所有權ノ移轉トカ色々ナコトヲヤツテ、物
權的效果トシテハ何等效力ヲ生ジナイ、所
ガ今度ノ改正商法ハ是ハ議會ヲ通リマス
ガ、今度ノ商法ニ依ルトソナ契約ヲシテ
置イタ所ガ、株主總會ガ反對ノ決議ヲシテ
シマヘバ重役ハ何モ出來ナイト云フコトニ
シテシマッタ、株主總會デ反對ノ決議ヲサ
レテシマッタラ、重役ハ何モ出來マスマイ、
サウスルト、債權的效果ハ生ジテ居ナイ、
物權的效果モ生ジナイデセウ、サウスレバ
ソレハ不都合ダカラト言ッテ罰則ヲ適用シ
ヨウト思ッテモ、商法ノ適用モ何モ出來ナ
イヤウニナッテシマッテ、重役ハ何モ出來マ
セヌ、サウスルト裁定ノ效果ハ途中デ止ッテ
シマッテ、何モ出來ナイコトニナルガ、是
ハドウ云フ風ナ御考デ解決シテ行カレマ
スカ

○勝田政府委員 實ハ私ハ第十條ニ絡ンデ
アナタガ御質問ニナッテ居ルト思ッテ言ッ
テ居ルノデス、是ハ第十條ヲ離レテ、寧ロ第
十二條ト第一條ニ付テノ問題デスト仰セノ
通りニナルト思ヒマス、債權的效果ガ發生
致シマシテ、ソレカラ其結果ト致シマシテ

物權的效果ガ續イテ發生シテ、物ガ圓滿ニ纏マルト云フコトガ希望ナンデス、併シ今仰シヤッタウナコトニナツテ參リマシテ、是ハ或ハ其債權的效果ガ發生スルカシナイカト云フコトモ法律的二ハ問題ダト思フ、アナタノ仰シヤルヤウナコトデアリマシタナラバ、サウナツテ來マスと恐ラク命令ニ從ハナイト云フ以外ニ、實質的ノ法律效果ヲ發生セヌ、是ハ已ムヲ得ヌノデアリマス、ソレガ弱イト仰シヤレバソレハ仰セノ通リト申スヨリ仕方ガゴザイマセヌ

○紅露委員 サウスルト一體委員會ニ掛ケテ大臣ガ裁定シテ、サウシテコンナ大騒ギヲシテ法律ヲ拵ヘテ、其内ニ株主總會デスポット反對決議ヲサレタラ皆滅茶々々ニ壞レテシマフノデス、ソシテ法律ナラ私共ハ噴飯ニ堪ヘナイノデス、ソシテコトナラソレハ裁定ノ效果ヲモット強メルカ何カシナケレバナラス、ソシテ御解釋デ法律ヲ拵ヘラレタラ零デス、ソシテコトヲ言ツテ居タラ、債權的效果ヲ發生シテ居ルノニ、國稅徵收法——會社ハ税金ナンカ幾ラモ滞ッテ居リマスカラ、差押ノ處分ヲ受ケナナレバナライ、ソシテ時ニ是ハ何ニモナラナクナツテシマフノデハ困リマス、ソシテコトデハ是ハ空文デス

○勝田政府委員 紅露君ノ仰シヤル點ハ、理論的ニハサウ云フコトニナリマス、私モ其意味ニ於テ理論的ニハアナタノ仰シヤルコトヲ承服シタノデアリマス、併ナガラサウ云フ場合ニ於テハ第十二條ヲ發動スル餘地モゴザイマスシ、又多クノ場合ニ於キマシテハ、サウ云フコトニハナルマイト考ヘテ居リマス、併シ理論的ニ考ヘレバ紅露君ノ仰シヤル場合モアリ得ルノデアリマス

○紅露委員 理論デナイノデスヨ、實際ニドン／＼起ッテ來ルノデス、例ヘバ良イ會社ガ合併サレルナラ宜シウゴザイマス、所ガ惡イ會社ガドン／＼合併サレル、事ニ依ルト債權ノ回收ガ圖ラレスト云フノデ、債權者ガ裁定後ニ強制執行ヲシタラドウナルノデス、ソレハ幾ラモアリマスヨ

○清水委員 議事進行ニ付テ——今紅露君ノ質問ヲ聽イテ居リマス御尤ノ點モ相當アリマスシ、又政府委員ノ御答辯必シモソレニ副ウテ居ナイモノモアリマスカラ、是ノ立案ノ時ニ十分携ッテ居ラレル鐵道事務次官ガ此處ニ居ラレマスカラ、説明員トシテ説明シテ貰ッタラドウカト思ヒマス、事務次官ハ鐵道省ニ於ケル法規ノ權威者デアリマシテ、法制局長官ニ持ッテモ結構動マル法制通デ居ラシヤルカラ、其方ニ説

明シテ貰ッタラ吾々ノ頭ニ入り易イヤウニ思ヒマス、勿論勝田君ナドハ辯護士ヲ商賣ニシテ居ラレテ、頭モ良イカラ御分リデセウケレドモ、立案者デナイノデスカラ十分ニ説明ガ出來難イ所ガアルト思フ、是ハ諒トシナケレバナラス、デスカラ立案者ノオ方ニ説明ヲシテ貰ッタラ、私共ハ納得シ易イト思フカラ、説明員トシテ事務次官カラ説明ヲ御願シタイト思ヒマス

○星島委員長 紅露君ニ伺ヒマス、大體今日ハ五時頃デ終リタイト思ッタノデスガ、アナタノ方ガ極ク簡單デアレバモウ少シ續ケマスガ、サウデナケレバ幸ヒ明日モ此部屋ヲ取りマシタカラ、今日ハ此程度デ止メテ明日ヤリタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○紅露委員 ソレデハ私ハ留保シテ置キマス

○永江委員 議事進行ニ付テ申上ゲマス、私ハ初メカラ伺ッテ居リマスガ、委員諸君ガ後カラ後カラ勝手ニ來テ、サウシテ自分ノ聞キタイコトダケ聞イテ歸ッテシマフ、大體本日討議サレタコトヲ最初カラ聞イテ居リマス、同ジコトヲ何遍モ繰返シテ居アル、ソレデ約六割位ハ前ノ人ガ聞イタコトヲ又新シク聞イテ居ル、斯ウ云フコトデハ如何ニ慎重審議ト云ウデモ、表面ハ慎重審

議デアリマシテモ、同ジコトヲ何遍モ聞イテ居リマス、時々來テ御坐リニナツテ、自分ノ聞キタイコトダケ聞イテ御歸リニナリマスカラ宜イノデスガ、默ッテ聞イテ居ル私共ハ甚ダ迷惑デアリマス、ソシテ慎重審議ハナイト思ヒマス、是カラハサウ云フ時ハ私共ハ大イニ彌次ヲ飛バシマスカラ、其積リデ御願致シマス、サウ云フコトヲ議事進行デ申上ゲマス

○星島委員長 成ベクサウ云フコトノナイヤウニ願ヒマス——今勝田政府委員ヨリ、速記ヲ止メテ懇談シタイト云フ御申出ガアリマスカラ速記ヲ止メマス

〔速記中止〕

○星島委員長 ソレデハ本日ハ此程度デ散會致シマシテ、明日午後一時ヨリ此委員室デ開キマス、尙ホ後デ十分御懇談ヲ願ヒマス、是ニテ散會致シマス

午後五時三十分散會